

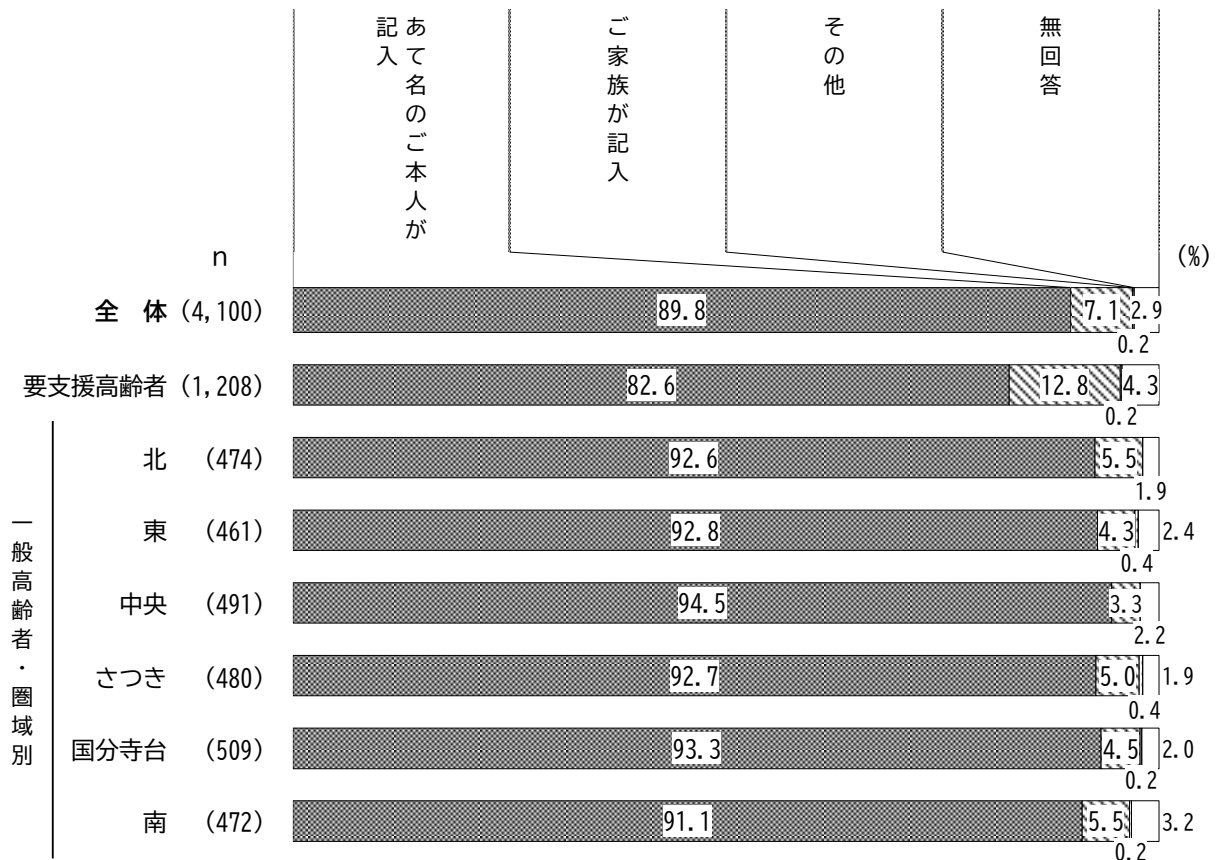
第3章 分析編（①介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査）

調査票の回答者

(1) 回答者

<回答者／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

一般高齢者では「あて名のご本人が記入」がすべての圏域で90%以上であるのに対し、要支援高齢者では82.6%で一般高齢者に比べて割合が低い。

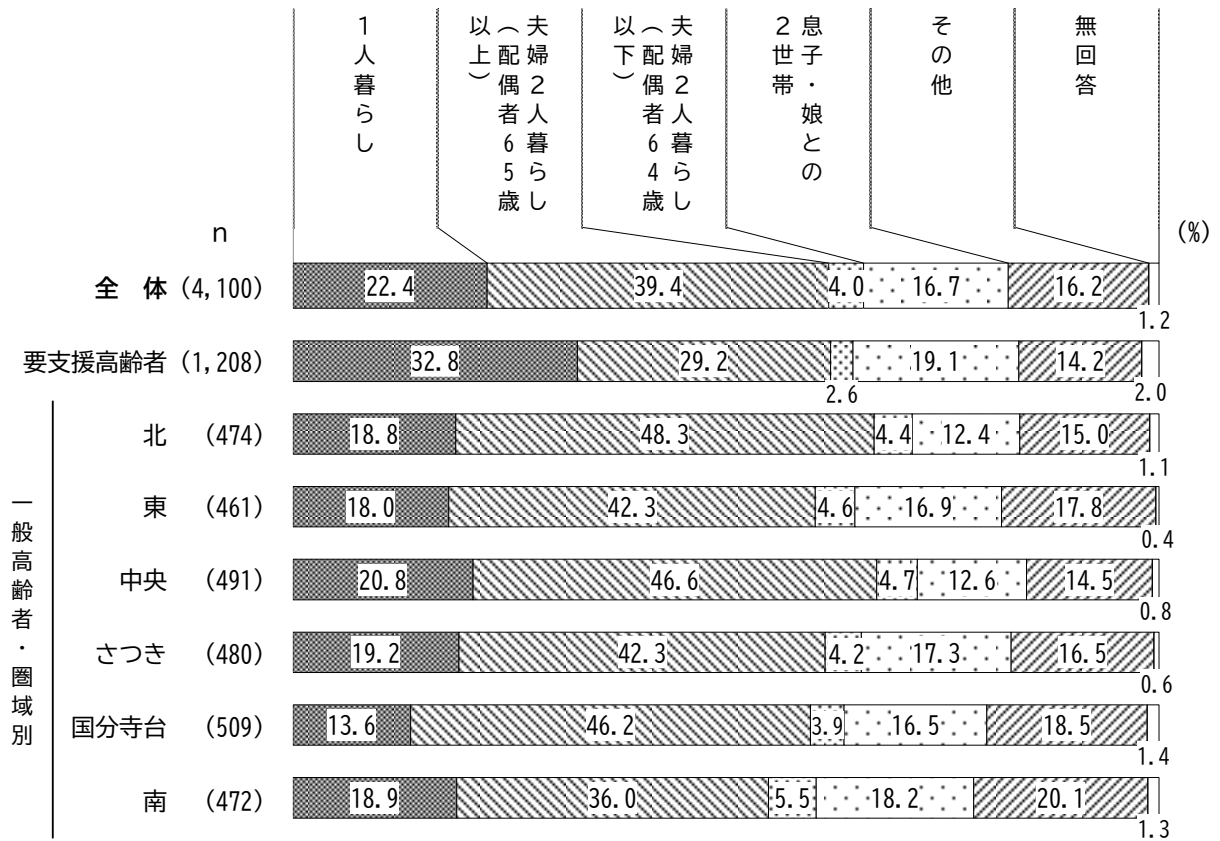


1. ご家族や生活状況

(1) 家族構成

<家族構成／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

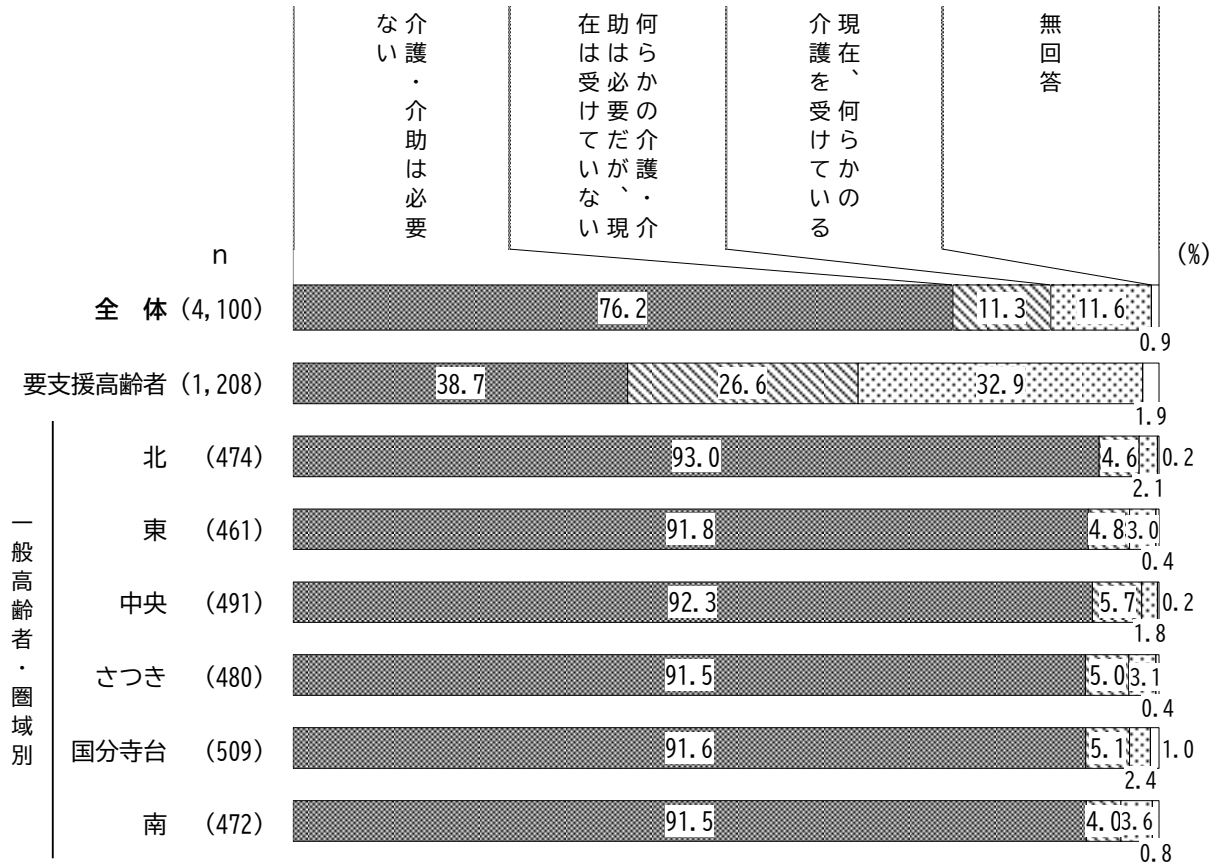
要支援高齢者では「1人暮らし」が最も多いが、一般高齢者ではすべての圏域で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多い。



(2) 介護・介助の必要性

<介護・介助の必要性／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

一般高齢者では「介護・介助は必要ない」がすべての圏域で90%以上であるのに対し、要支援高齢者では38.7%と低い。要支援高齢者では「現在、何らかの介護を受けている」が32.9%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が26.6%となっている。



(3) 介護・介助が必要になった主な原因

【(2) 介護・介助の必要性で、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」
「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ回答】

<介護・介助が必要になった主な原因／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「高齢による衰弱」「骨折・転倒」が20%以上となっている。一般高齢者を圏域別にみると、北では「心臓病」、東、中央、さつきでは「高齢による衰弱」、国分寺台では「骨折・転倒」、南では「がん（悪性新生物）」が最も多くなっている。

<介護・介助が必要になった主な原因／年齢別>

年齢別にみると、65～69歳、70～74歳では「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」、75～79歳、80～84歳では「骨折・転倒」、85～89歳、90歳以上では「高齢による衰弱」が最も多くなっている。

		調査数 (n)	高齢による衰弱	骨折・転倒	心臓病	糖尿病	関節の病気 (リウマチ等)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	脊椎損傷	視覚・聴覚障害	がん (悪性新生物)	認知症 (アルツハイマー病等)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	パーキンソン病	腎疾患 (透析)	その他	不明	無回答
単位：%																		
全体		936	57.3	27.6	22.9	20.5	20.0	18.0	17.5	16.3	12.1	11.6	10.3	9.1	3.8	2.7	2.4	2.4
要支援高齢者		718	24.5	21.4	12.3	9.9	11.4	10.7	10.7	8.9	5.7	4.5	6.1	2.8	2.4	16.2	0.6	9.1
一般高齢者・圏域別	北	32	12.5	12.5	25.0	12.5	15.6	12.5	-	6.3	9.4	6.3	6.3	-	-	28.1	-	9.4
	東	36	16.7	8.3	11.1	13.9	2.8	11.1	8.3	8.3	11.1	16.7	2.8	2.8	-	11.1	-	25.0
	中央	37	27.0	21.6	5.4	13.5	5.4	10.8	2.7	5.4	21.6	13.5	2.7	2.7	-	24.3	2.7	8.1
	さつき	39	23.1	12.8	15.4	12.8	10.3	2.6	15.4	12.8	5.1	7.7	10.3	5.1	-	17.9	-	7.7
	国分寺台	38	18.4	28.9	7.9	18.4	5.3	7.9	13.2	13.2	13.2	13.2	5.3	-	-	7.9	-	5.3
	南	36	16.7	16.7	8.3	11.1	8.3	5.6	2.8	2.8	19.4	13.9	2.8	-	2.8	16.7	2.8	5.6
年齢別	65～69歳	22	9.1	13.6	18.2	9.1	4.5	22.7	4.5	4.5	13.6	4.5	-	-	9.1	31.8	-	-
	70～74歳	75	13.3	10.7	16.0	10.7	10.7	17.3	9.3	4.0	13.3	5.3	10.7	4.0	1.3	16.0	1.3	8.0
	75～79歳	153	10.5	20.3	11.1	11.8	9.8	10.5	3.9	7.2	11.1	5.9	8.5	7.2	1.3	18.3	0.7	7.2
	80～84歳	277	17.3	22.4	10.5	13.0	11.9	12.6	14.1	10.5	6.9	7.6	4.7	2.2	2.9	17.7	1.1	7.9
	85～89歳	266	28.6	22.9	10.2	9.8	10.5	5.6	10.5	9.8	6.8	6.8	5.3	1.5	1.1	15.0	-	12.8
	90歳以上	143	46.2	18.2	17.5	7.7	9.8	7.7	8.4	8.4	2.1	3.5	4.9	-	1.4	12.6	0.7	9.8

(4) 主な介護・介助者

【(2) 介護・介助の必要性で、「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

<主な介護・介助者／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「娘」が最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」、「配偶者（夫・妻）」となっている。

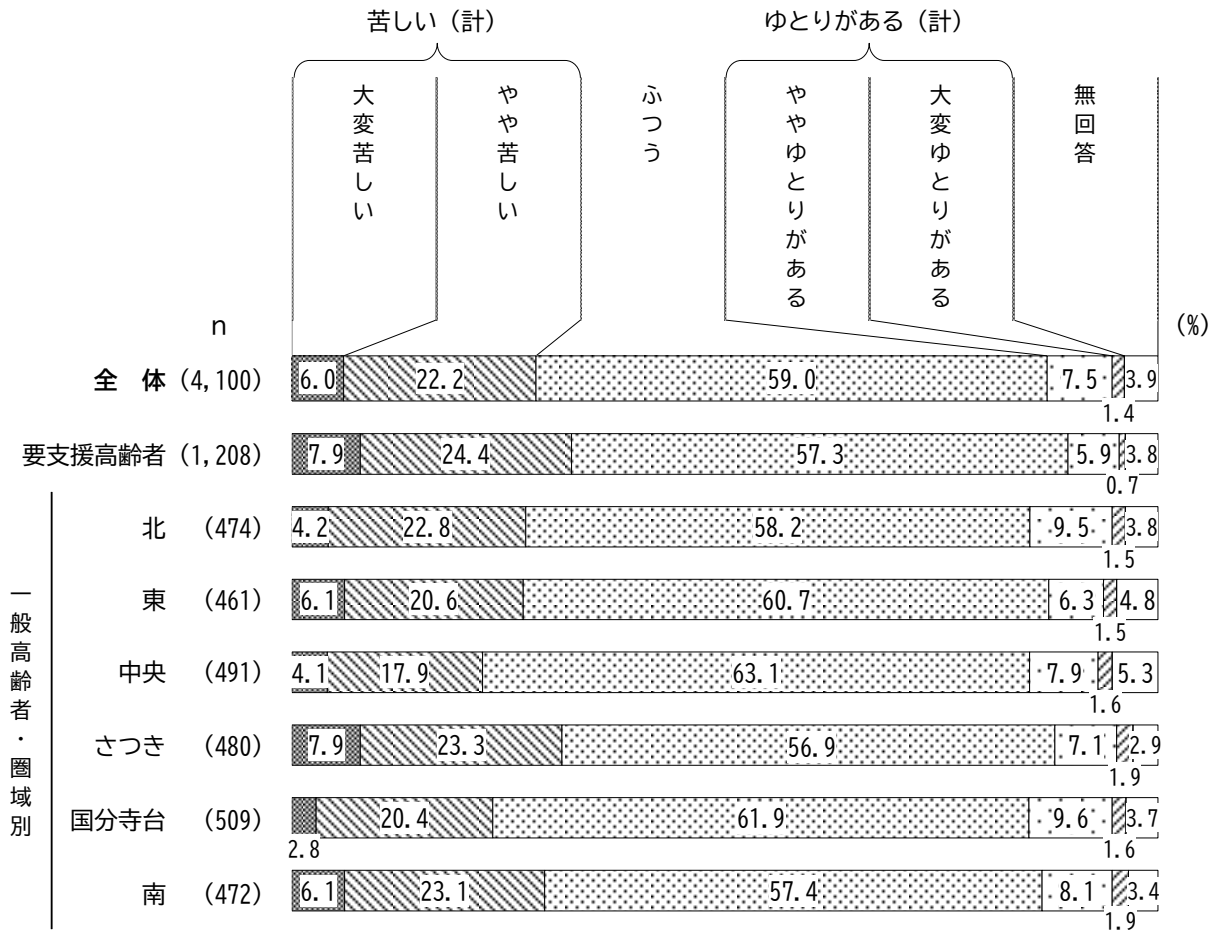
※一般高齢者の圏域別は調査数が少ないためコメントしない。

		調査数 (n)	配偶者 (夫・妻)	娘	介護サービスのヘルパー	息子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
単位：%											
全体		474	30.6	28.9	25.9	17.7	9.3	3.2	1.3	13.9	5.3
要支援高齢者		397	28.5	30.7	28.7	18.1	9.3	3.3	1.3	12.6	5.3
一般高齢者・圏域別	北	10	50.0	10.0	-	10.0	10.0	-	-	30.0	-
	東	14	50.0	21.4	21.4	-	-	-	7.1	21.4	-
	中央	9	44.4	-	-	22.2	-	-	-	33.3	-
	さつき	15	26.7	26.7	20.0	20.0	13.3	-	-	20.0	-
	国分寺台	12	66.7	41.7	8.3	33.3	16.7	8.3	-	8.3	-
	南	17	23.5	11.8	11.8	11.8	11.8	5.9	-	17.6	23.5

(5) 暮らし向き

<暮らし向き／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

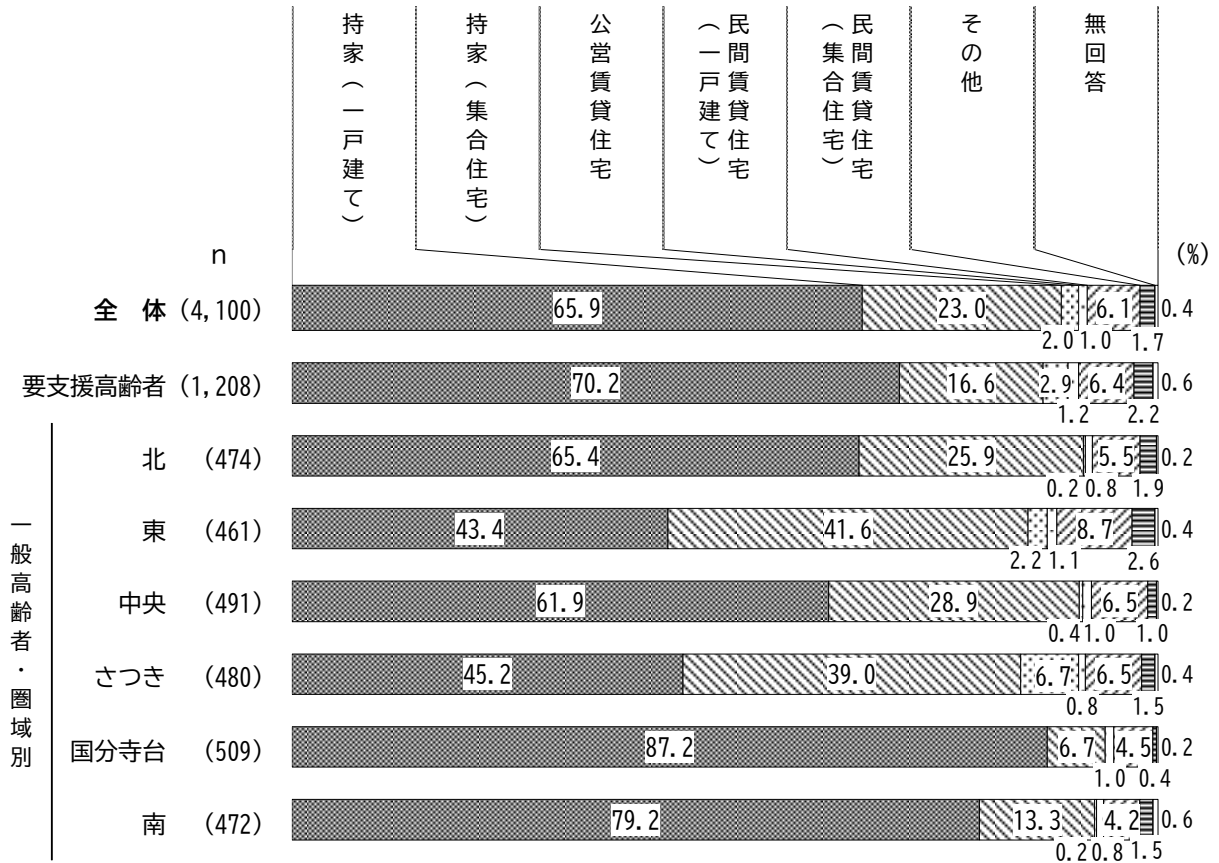
要支援高齢者では『苦しい』が32.3%、「ふつう」が57.3%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、さつきで『苦しい』が31.2%と他の圏域に比べてやや高くなっている。東、中央、国分寺台では「ふつう」が60%台で他の圏域に比べてやや高い。



(6) 住居形態

<住居形態／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「持家（一戸建て）」が70.2%、「持家（集合住宅）」が16.6%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、「持家（一戸建て）」は国分寺台で87.2%、南で79.2%と他の圏域に比べて高い。また、「持家（集合住宅）」は東で41.6%、さつきで39.0%と他の圏域に比べて高い。

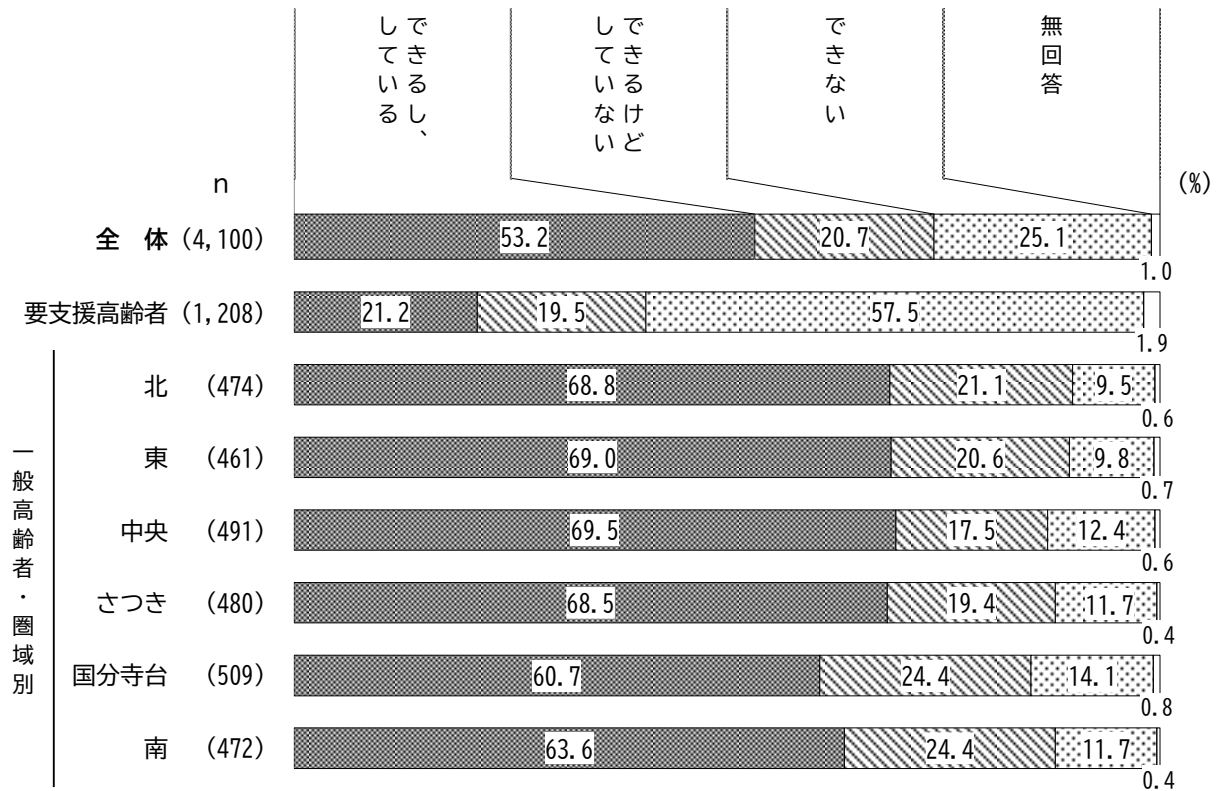


2. からだを動かすこと

(1) 階段の昇降

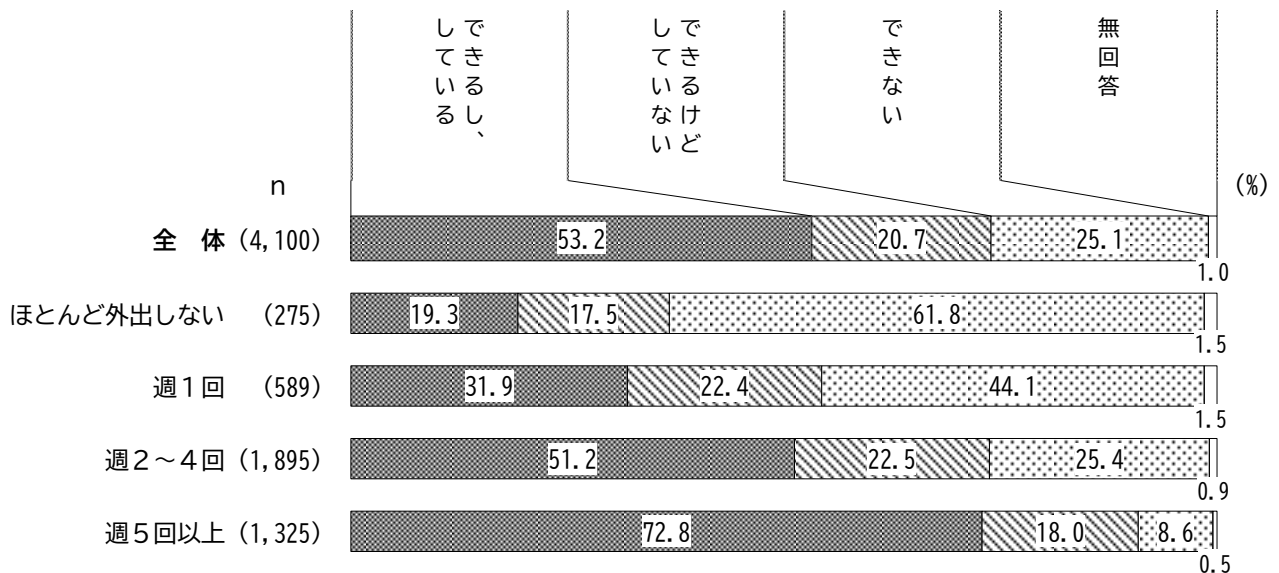
<階段の昇降／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「できない」が57.5%と半数以上を占めている。一般高齢者を圏域別にみると、すべての圏域で「できるし、している」が60%を超えている。国分寺台、南では「できるけどしていない」が24.4%と他の圏域に比べてやや高い。



<階段の昇降／外出頻度別>

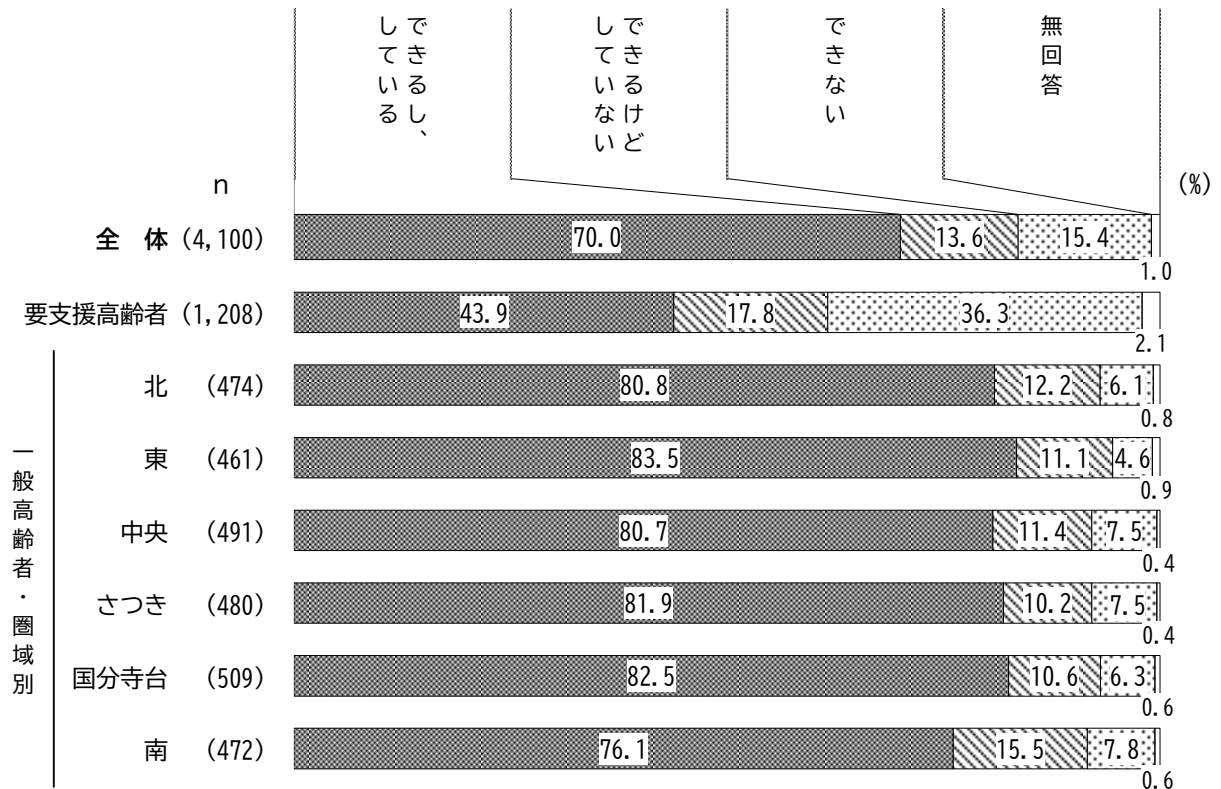
外出頻度別にみると、外出頻度が少なくなるほど「できない」の割合が高くなり、ほとんど外出しないでは61.8%となっている。



(2) 椅子からの立ち上がり

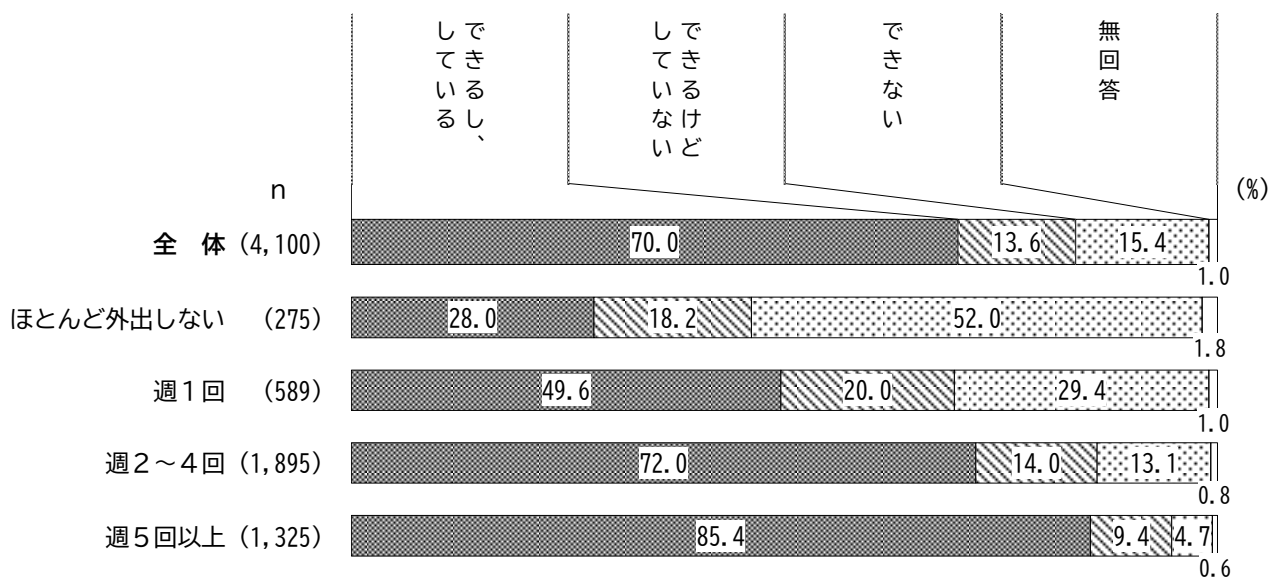
<椅子からの立ち上がり／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「できるし、している」が43.9%、「できない」が36.3%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、南以外の圏域で「できるし、している」が80%台で、南では76.1%となっている。



<椅子からの立ち上がり／外出頻度別>

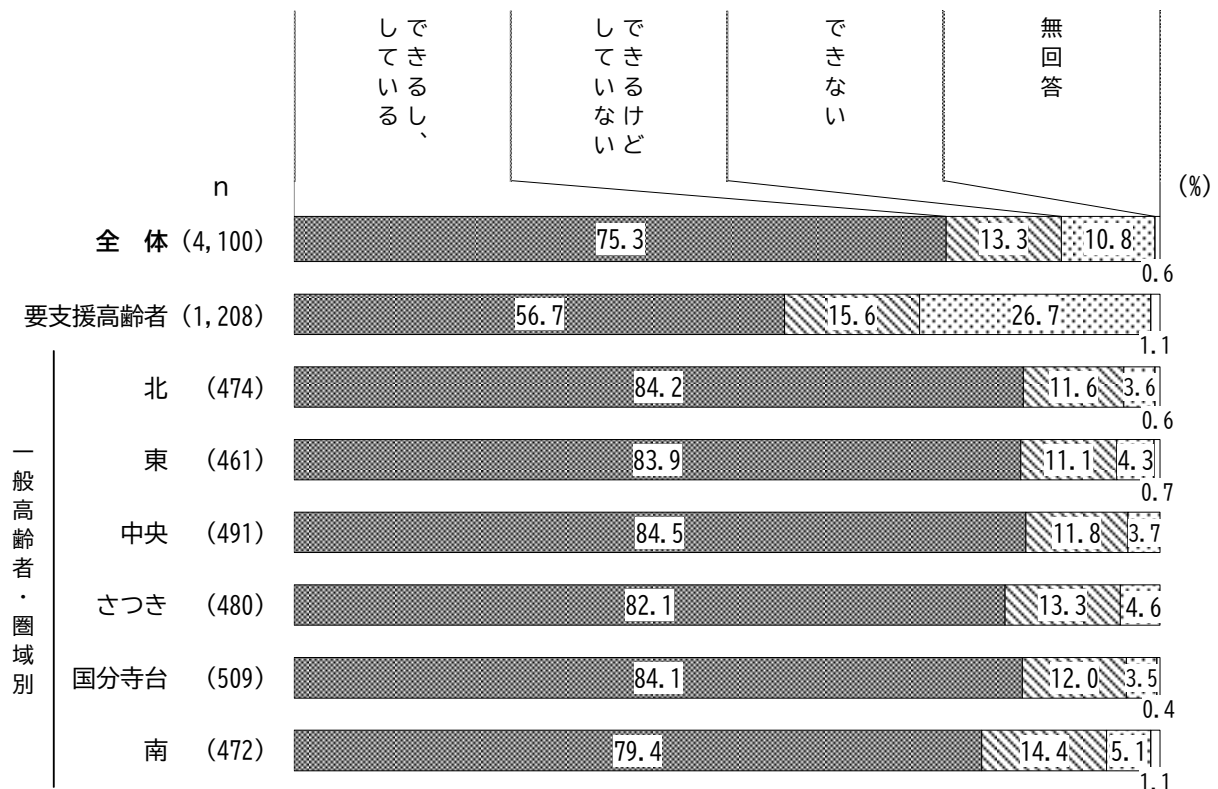
外出頻度別にみると、外出頻度が少なくなるほど「できない」の割合が高くなり、ほとんど外出しないでは52.0%となっている。



(3) 15分間の歩行

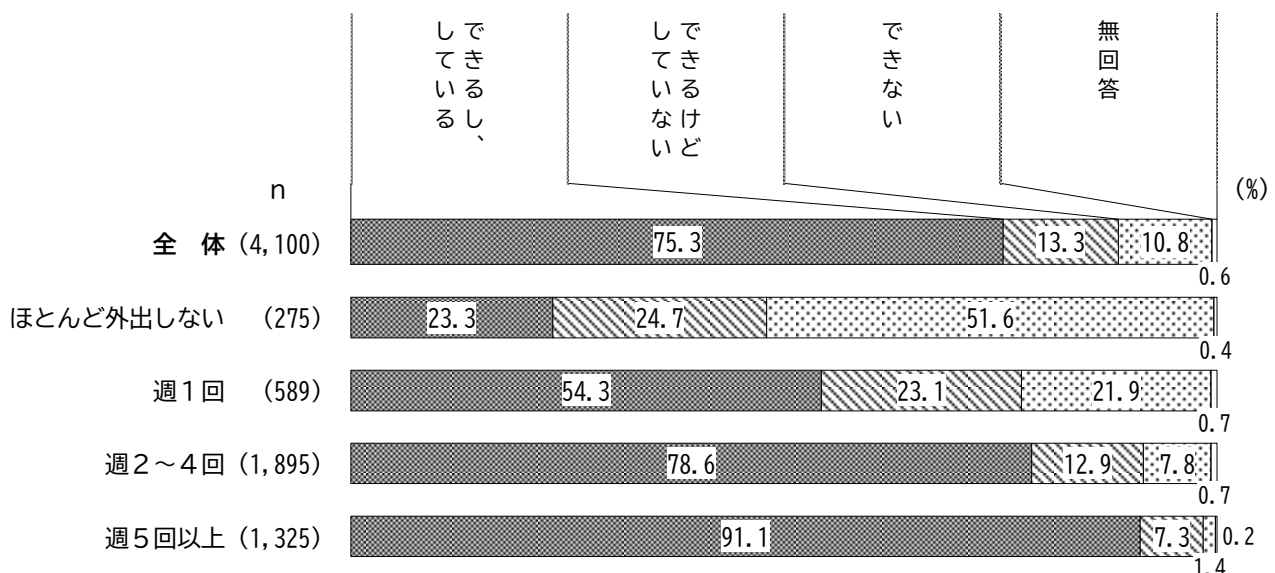
<15分間の歩行／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「できるし、している」が56.7%、「できない」が26.7%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、南以外の圏域で「できるし、している」が80%台で、南では79.4%となっている。



<15分間の歩行／外出頻度別>

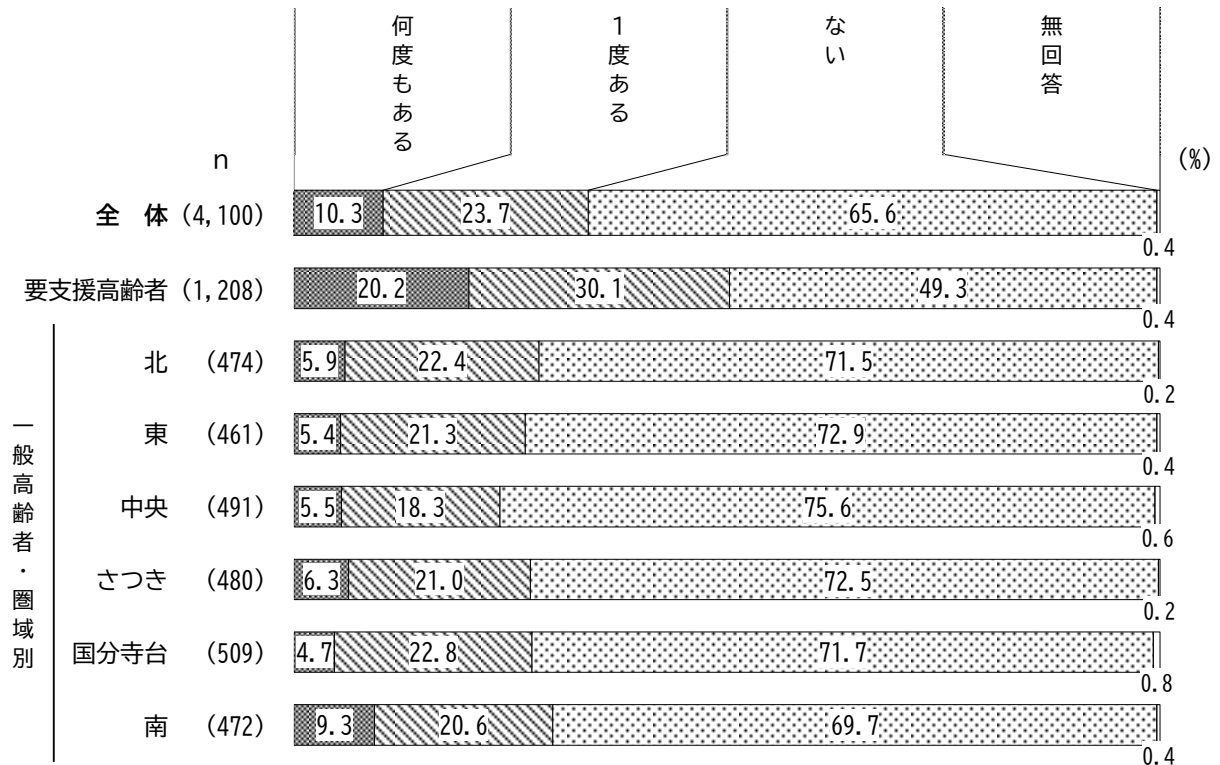
外出頻度別にみると、外出頻度が少なくなるほど「できない」の割合が高くなり、ほとんど外出しないでは51.6%となっている。



(4) 転倒の有無

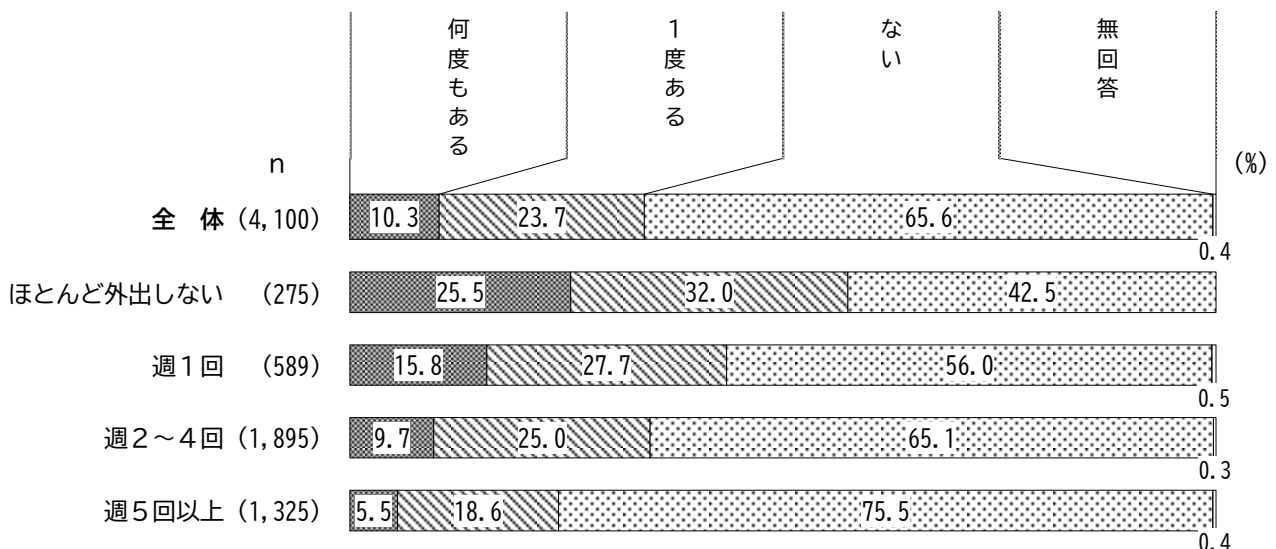
<転倒の有無/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「何度もある」と「1度ある」を合計した割合は50.3%、「ない」が49.3%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、南以外の圏域で「ない」が70%台で、南では69.7%となっている。



<転倒の有無/外出頻度別>

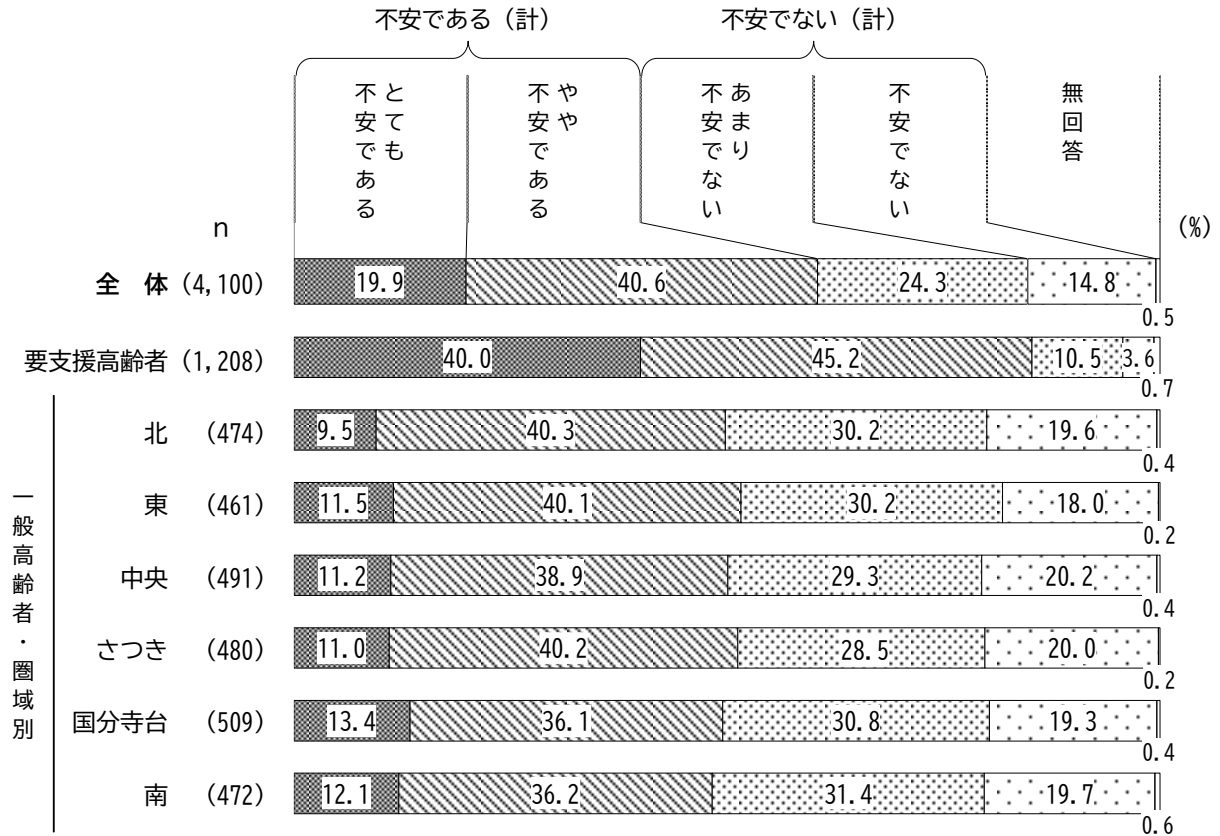
外出頻度別にみると、外出頻度が少なくなるほど「何度もある」と「1度ある」を合計した割合が高くなり、ほとんど外出しないでは57.5%となっている。



(5) 転倒に対する不安

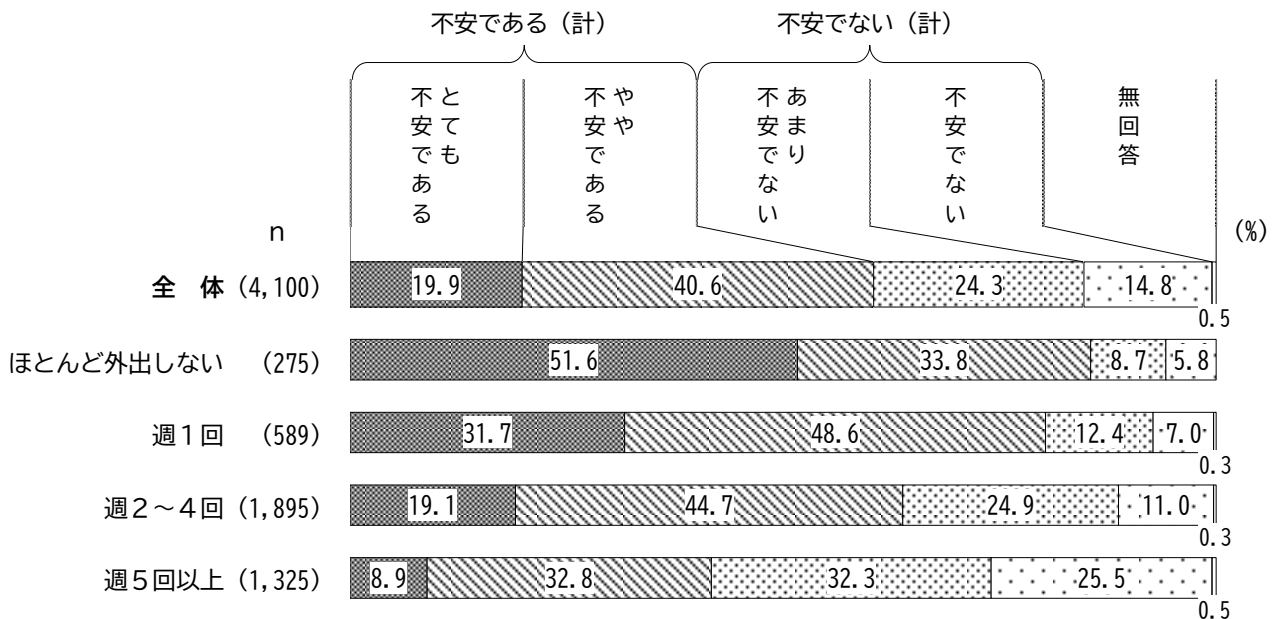
<転倒に対する不安/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では『不安である(計)』が85.2%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、『不安である(計)』は半数前後となっており、要支援高齢者よりも低い。



<転倒に対する不安/外出頻度別>

外出頻度別にみると、外出頻度が少ないほど『不安である(計)』の割合が高くなり、ほとんど外出しないでは85.4%となっている。



<運動器の機能低下リスク>

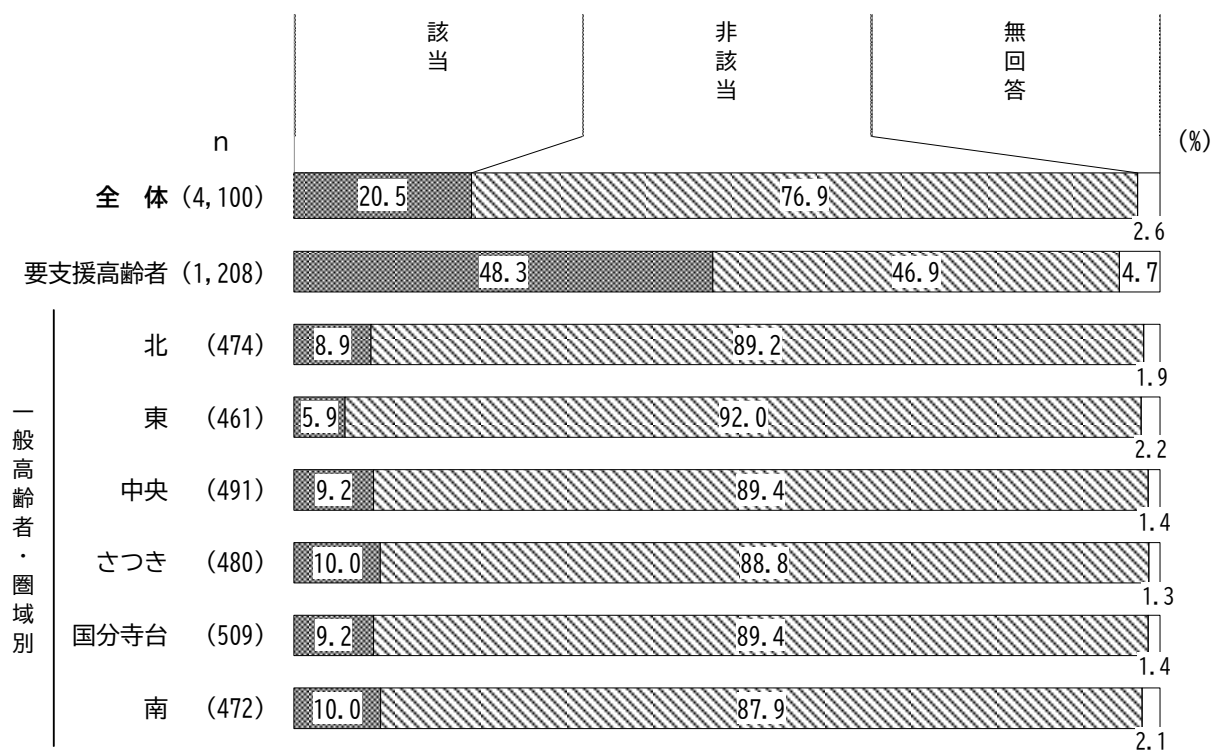
下記の5項目中、3項目以上に該当する場合、『運動器機能が低下している高齢者』(運動器の機能低下リスクあり)としています。

- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない
- ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない
- ・15分位続けて歩くことができない
- ・過去1年間に転んだ経験が、何度もある、あるいは、1度ある
- ・転倒に対して、とても不安である、あるいは、やや不安である

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月）

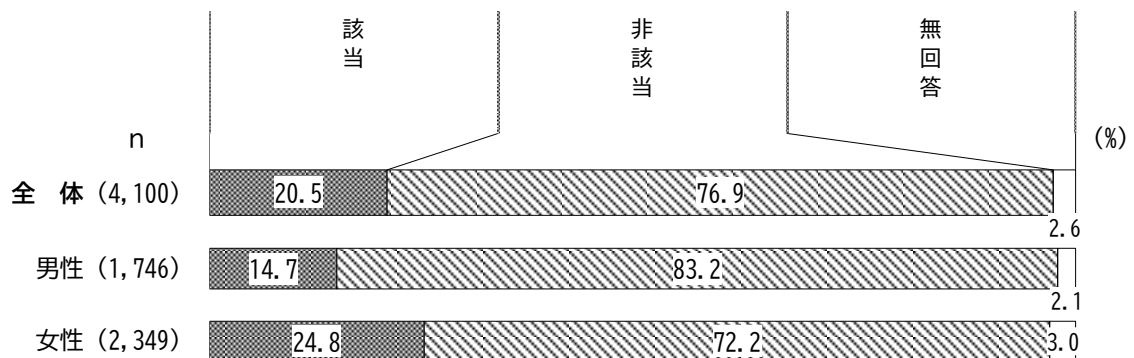
<運動器の機能低下リスク/全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「該当」が48.3%で、一般高齢者よりも割合が高い。一般高齢者を圏域別にみると、東では「該当」が5.9%で他の圏域に比べて割合が低い。



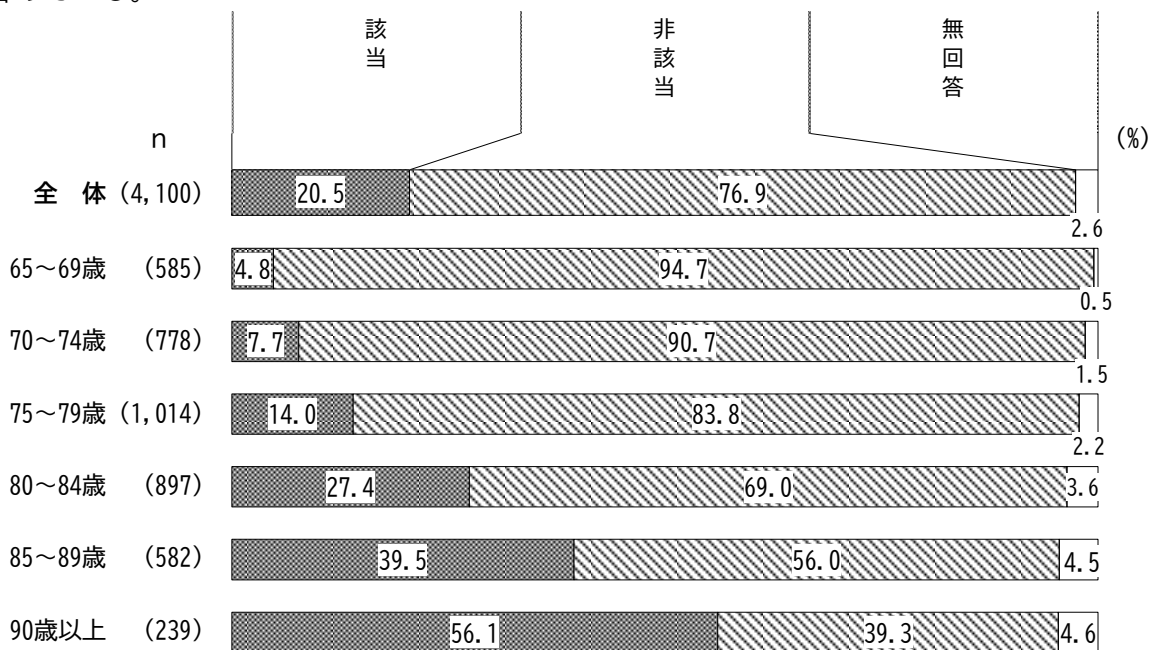
<運動器の機能低下リスク/性別>

性別にみると、女性では「該当」が24.8%で男性よりも10.1ポイント高い。運動機能にリスクを抱える人は女性の方が多くてわかる。



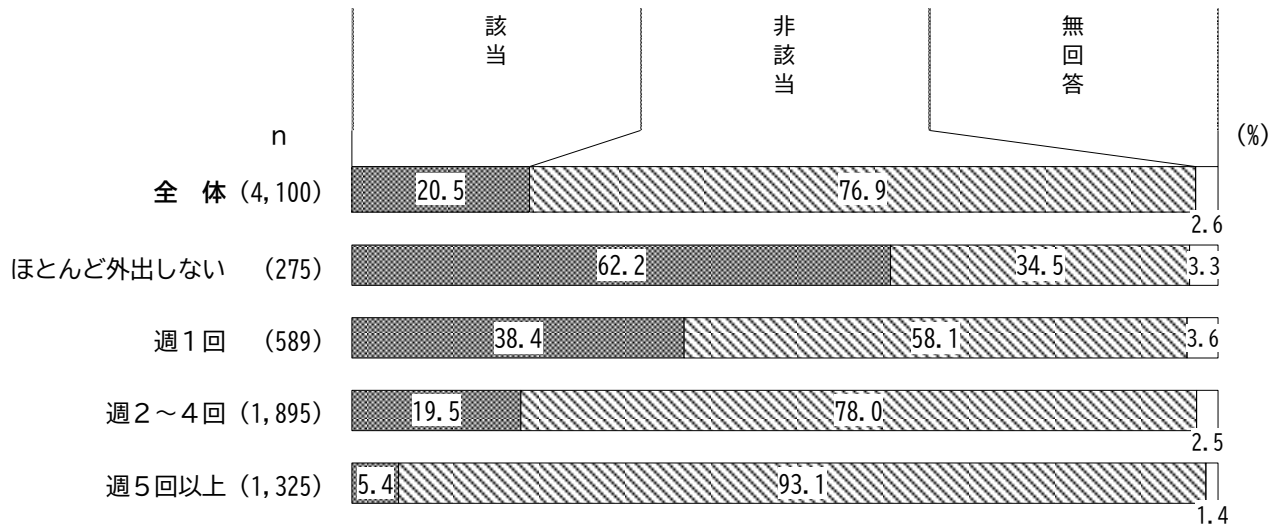
<運動器の機能低下リスク/年齢別>

年齢別にみると、年齢が上がるほど「該当」の割合が高くなり、90歳以上では56.1%と半数以上を占めている。



<運動器の機能低下リスク／外出頻度別>

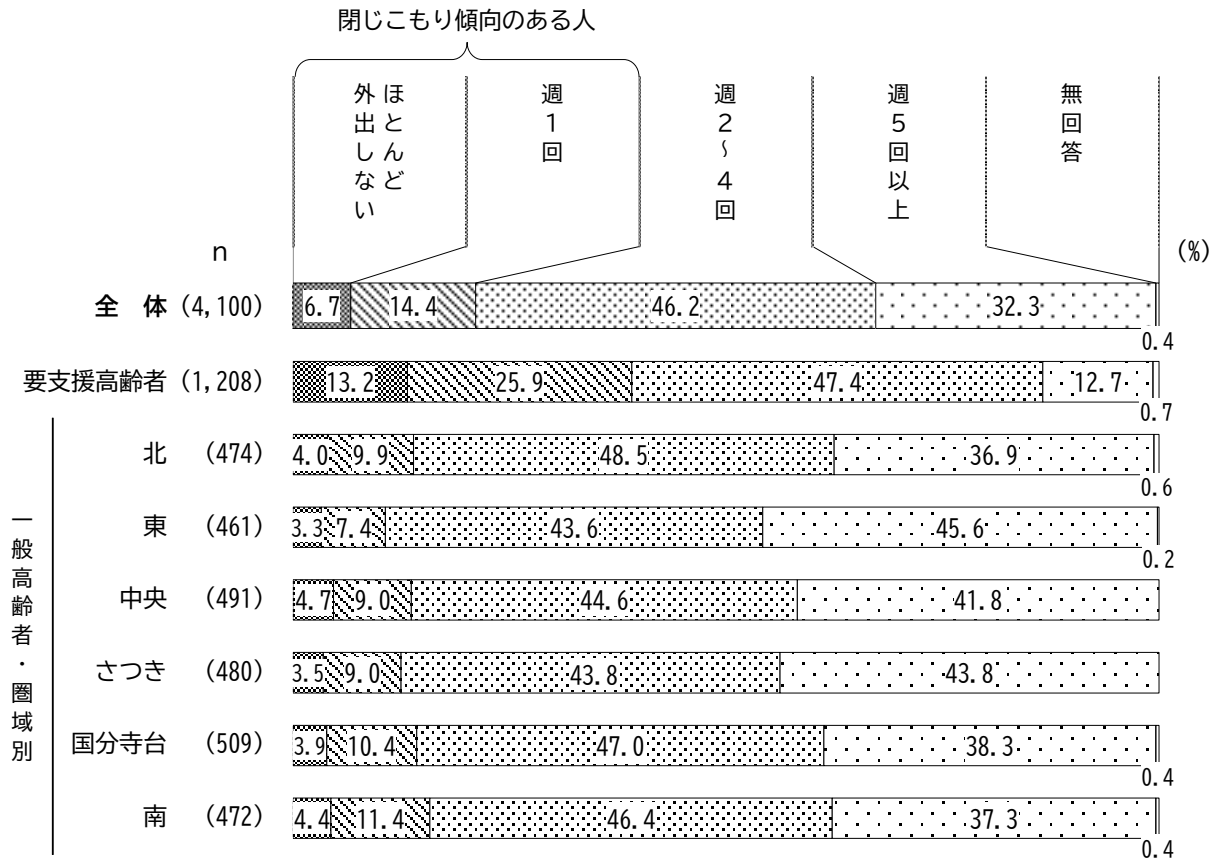
外出頻度別にみると、外出頻度が少ないほど「該当」の割合が高くなり、ほとんど外出しないでは62.2%と6割を超えている。



(6) 外出頻度

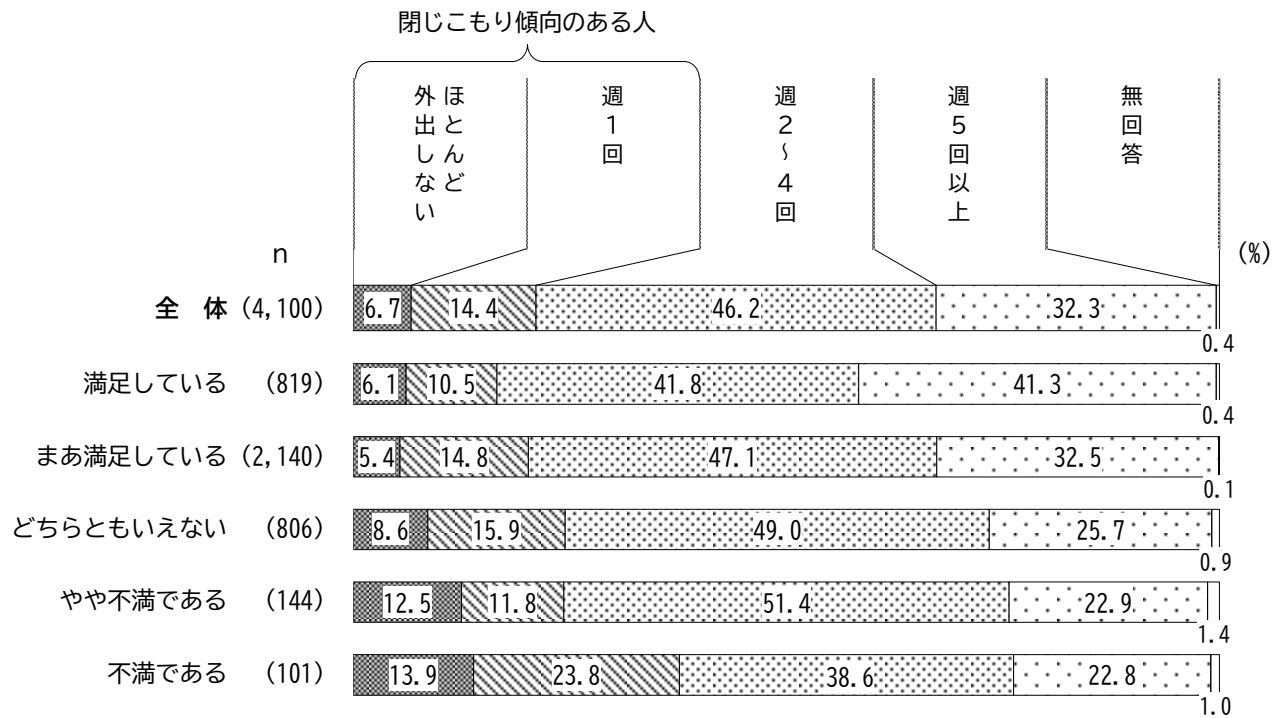
<外出頻度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では『閉じこもり傾向のある人』が39.1%であるのに対し、一般高齢者ではすべての圏域で10%台となっており、要支援高齢者の方が割合が高くなっている。



<外出頻度／現在の生活の満足度別>

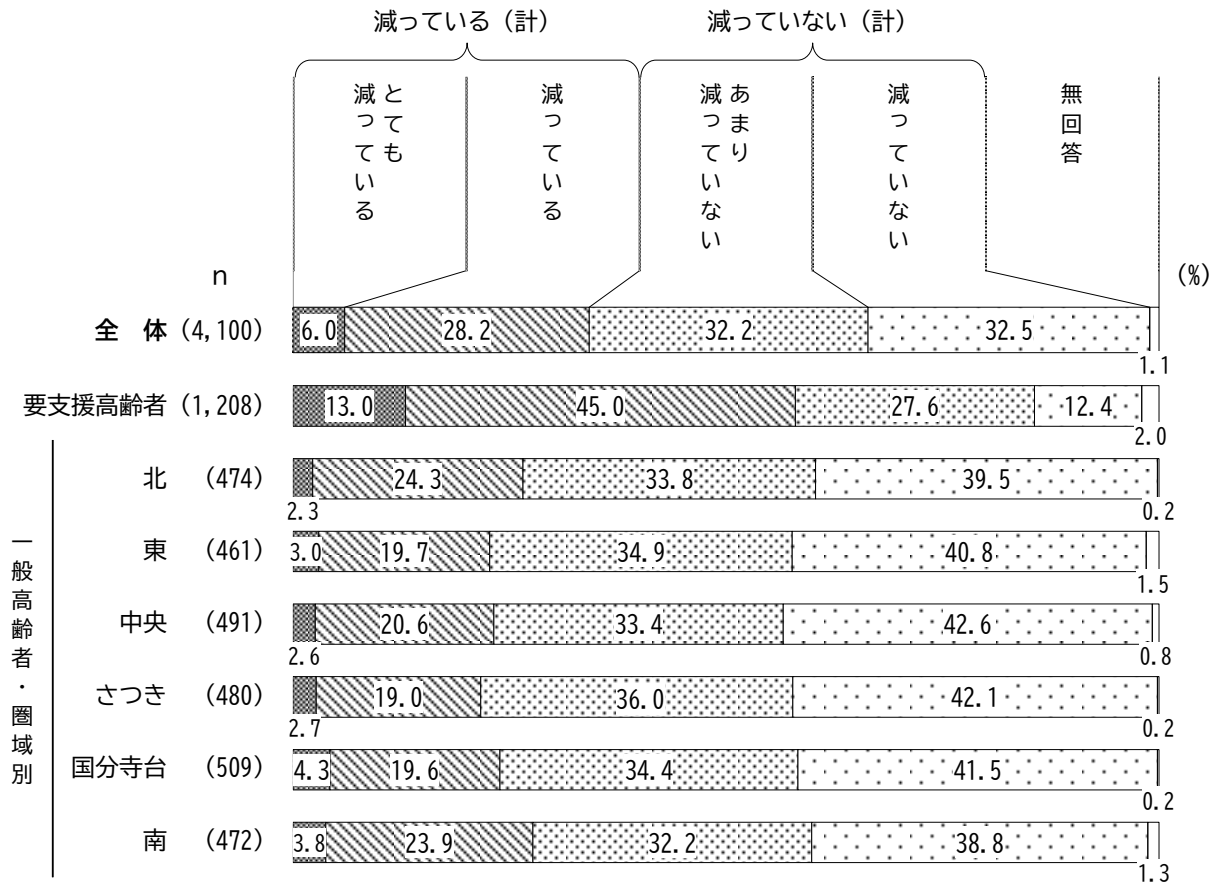
現在の生活の満足度別にみると、生活への満足度が低いほど『閉じこもり傾向のある人』の割合が高くなる。



(7) 外出回数の減少

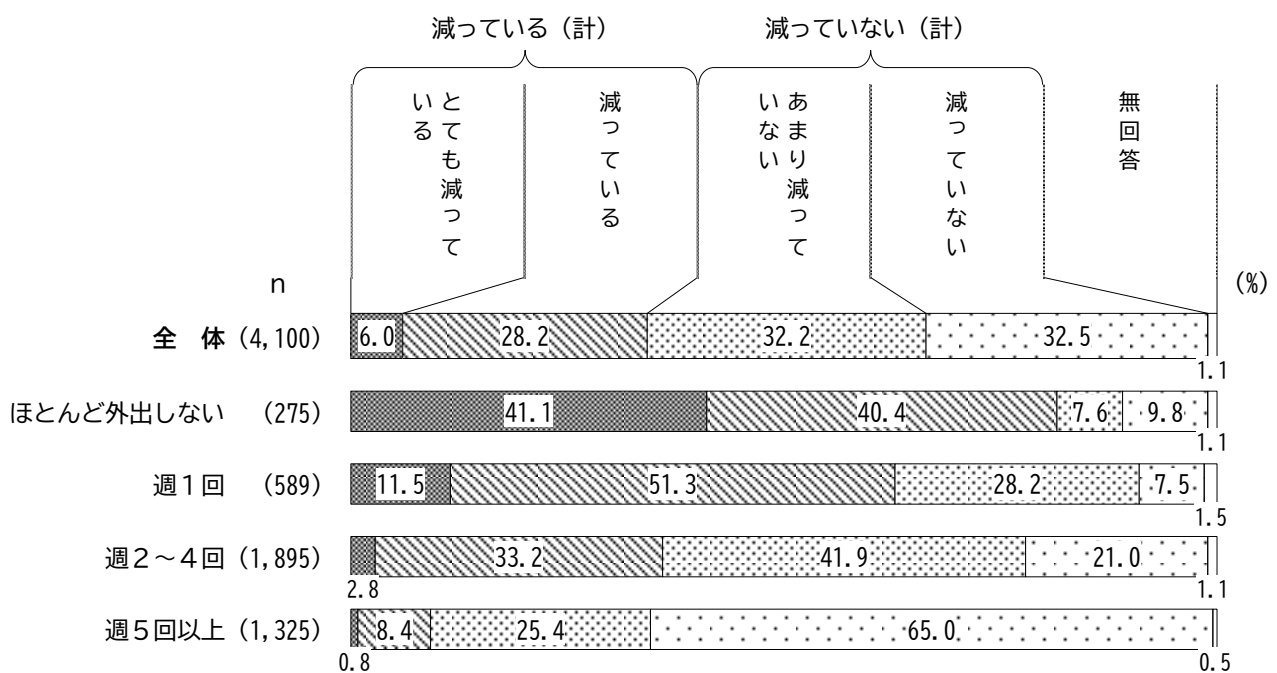
<外出回数の減少/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では『減っている(計)』が58.0%と半数以上を占めている。一般高齢者はすべての圏域で『減っていない(計)』が70%台となっている。



<外出回数の減少/外出頻度別>

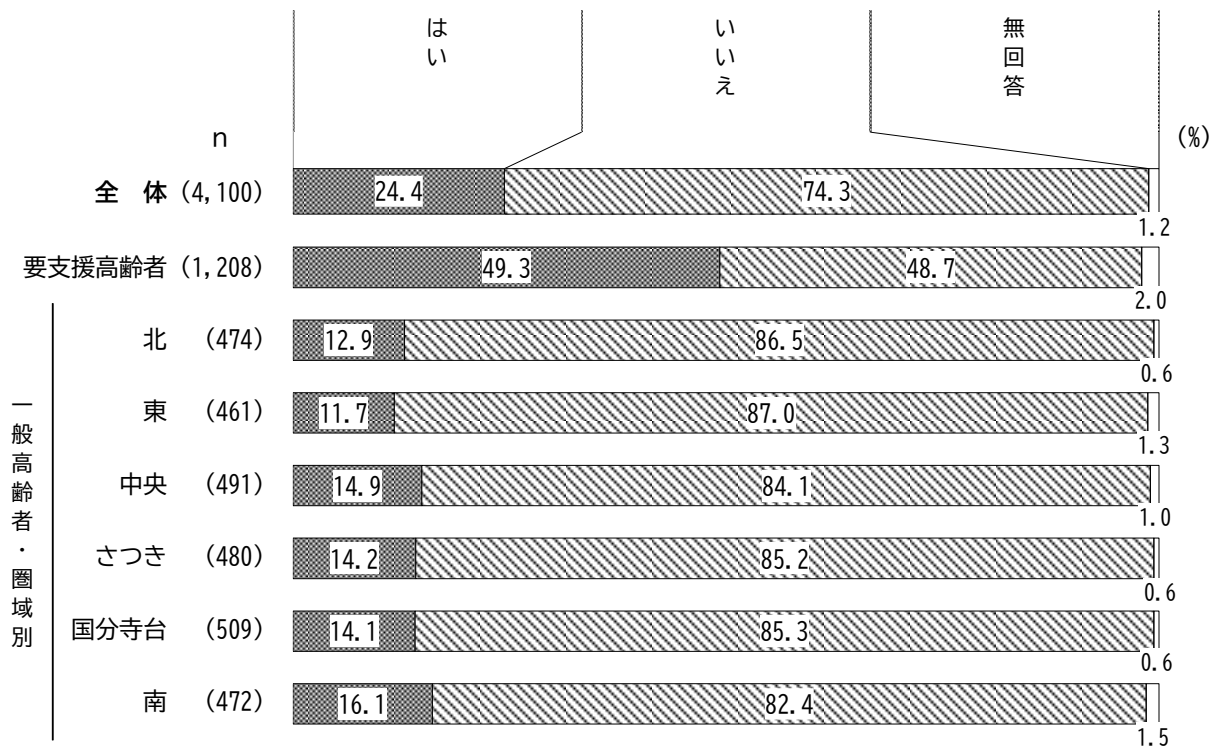
外出頻度別にみると、外出頻度が少なくなるにつれて『減っている(計)』の割合が高くなり、ほとんど外出しないでは81.5%となっている。



(8) 外出控え

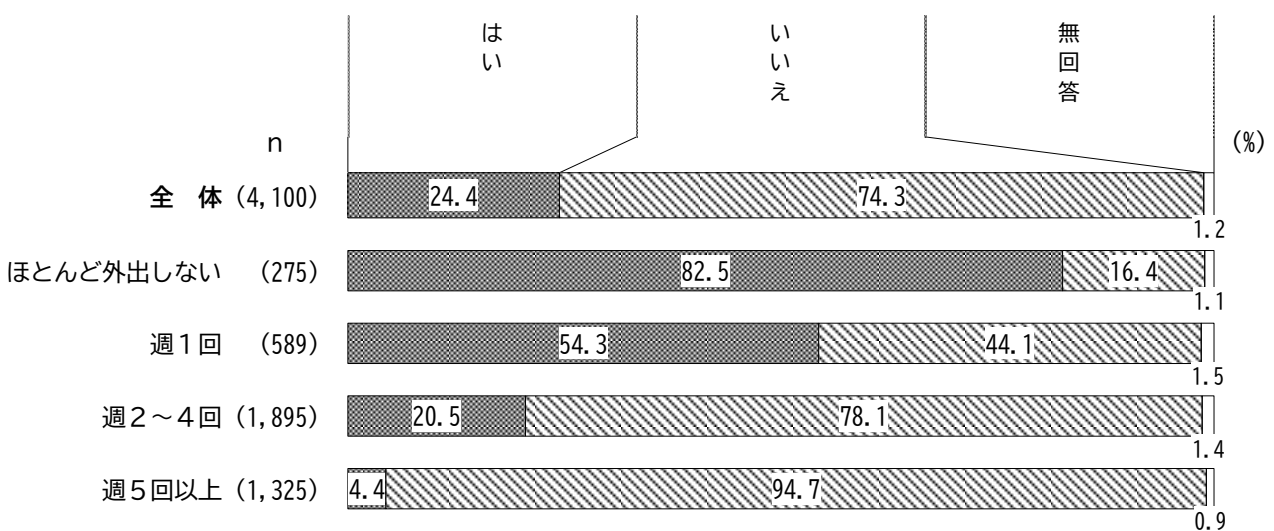
<外出控え／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「はい」が49.3%、一般高齢者ではすべての圏域で「はい」が10%台となっており、要支援高齢者と一般高齢者では30ポイント以上の差がある。



<外出控え／外出頻度別>

外出頻度別にみると、外出頻度が少なくなるほど「はい」の割合が高くなり、ほとんど外出しないで82.5%となっている。



(9) 外出を控えている理由

【(8) 外出控えて「はい」(外出を控えている)の方のみ】

<外出を控えている理由／全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「足腰などの痛み」、「交通手段がない」が一般高齢者に比べて高くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、東では「トイレの心配(失禁など)」、北、東、国分寺台では「外での楽しみがない」が20%台と他の圏域や要支援高齢者よりも高くなっている。

<外出を控えている理由／年齢別>

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「足腰などの痛み」「トイレの心配(失禁など)」「交通手段がない」「耳の障がい(聞こえの問題など)」の割合がおおむね高くなり、年齢が下がるにつれて「病気」、「経済的に出られない」の割合が高くなっている。

		調査数(n)	足腰などの痛み	トイレの心配(失禁など)	交通手段がない	病気	外での楽しみがない	耳の障がい(聞こえの問題など)	経済的に出られない	目の障がい	障がい(脳卒中の後遺症など)	その他	無回答
単位：%													
全体		1,001	58.7	19.5	19.4	15.0	14.5	9.3	8.4	5.2	3.7	13.8	2.4
要支援高齢者		596	65.8	22.3	23.0	16.1	11.6	11.4	5.7	6.7	4.9	10.7	2.0
一般高齢者・圏域別	北	61	44.3	9.8	16.4	6.6	23.0	9.8	14.8	-	-	19.7	3.3
	東	54	44.4	24.1	11.1	22.2	24.1	3.7	11.1	5.6	3.7	13.0	1.9
	中央	73	45.2	16.4	12.3	9.6	17.8	9.6	6.8	2.7	4.1	23.3	1.4
	さつき	68	55.9	13.2	11.8	14.7	13.2	5.9	17.6	4.4	1.5	16.2	4.4
	国分寺台	72	54.2	12.5	11.1	16.7	20.8	4.2	6.9	2.8	2.8	18.1	5.6
	南	76	46.1	15.8	21.1	11.8	15.8	3.9	17.1	2.6	-	17.1	1.3
年齢別	65～69歳	48	29.2	6.3	6.3	27.1	12.5	2.1	20.8	2.1	2.1	29.2	2.1
	70～74歳	95	47.4	15.8	12.6	22.1	21.1	1.1	16.8	3.2	4.2	14.7	3.2
	75～79歳	187	58.3	17.6	17.6	18.2	16.6	3.7	11.8	8.0	3.2	16.6	1.6
	80～84歳	273	60.4	17.6	20.5	13.2	11.4	10.3	7.3	3.7	5.1	11.7	2.9
	85～89歳	251	66.9	24.3	25.1	12.7	12.4	10.8	5.2	6.0	4.4	10.0	2.0
	90歳以上	146	59.6	23.3	18.5	9.6	17.8	19.9	2.1	5.5	0.7	14.4	2.7

<外出を控えている理由／外出頻度別>

外出頻度別にみると、週2～4回以下では「足腰などの痛み」の割合が高い。また、外出頻度が少なくなるにつれて「交通手段がない」、「耳の障がい（聞こえの問題など）」の割合が高くなる。

		調査数 (n)	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	交通手段がない	病気	外での楽しみがない	耳の障がい (聞こえの問題など)	経済的に出られない	目の障がい	障がい (脳卒中の後遺症など)	その他	無回答
単位：%													
全体		1,001	58.7	19.5	19.4	15.0	14.5	9.3	8.4	5.2	3.7	13.8	2.4
外出頻度別	ほとんど外出しない	227	54.6	21.6	20.7	22.5	16.7	11.9	5.7	5.3	5.7	12.8	2.2
	週1回	320	65.3	20.9	21.6	13.1	14.1	9.7	8.1	4.7	3.8	11.6	1.6
	週2～4回	389	58.9	16.7	18.8	11.1	13.9	8.2	10.0	5.7	2.8	15.7	2.8
	週5回以上	58	36.2	19.0	6.9	20.7	13.8	3.4	10.3	5.2	1.7	19.0	5.2

(10) 外出する際の移動手段

<外出する際の移動手段／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「徒歩」が56.2%で最も多く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」が35.7%、「タクシー」が35.2%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、「徒歩」が東、中央で80%台、北、さつき、国分寺台で70%台、南では60%台となっており要支援高齢者よりも割合が高い。また、東では「電車」、北、南では「自動車（自分で運転）」、国分寺台では「路線バス」、さつきでは「自転車」が他の圏域に比べて高くなっている。

<外出する際の移動手段／外出頻度別>

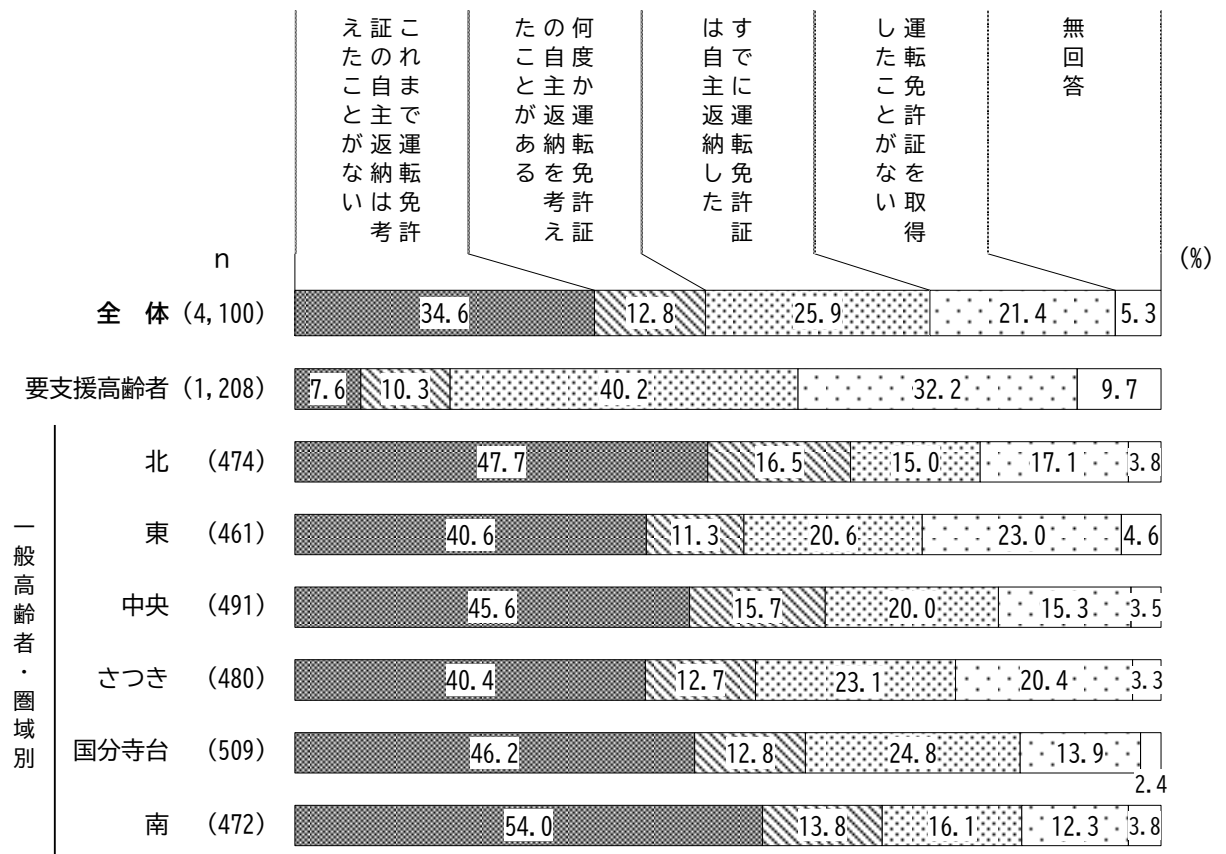
外出頻度別にみると、ほとんど外出しないでは「自動車（人に乗せてもらう）」が49.8%で最も多く、次いで「徒歩」が33.1%、「タクシー」が26.9%となっている。「徒歩」「電車」「自動車（自分で運転）」「自転車」は、外出頻度が多くなるにつれて割合が高くなっている。

単位：%		調査数（n）	徒歩	電車	自動車（自分で運転）	路線バス	自動車（人に乗せてもらう）	自転車	タクシー	病院や施設のバス	歩行器・シルバーカー	バイク	車いす	電動車いす（カート）	その他	無回答
全体		4,100	69.1	38.5	35.9	33.0	26.1	17.3	16.9	8.1	2.8	2.6	0.5	0.3	2.8	1.2
要支援高齢者		1,208	56.2	24.7	10.3	33.9	35.7	8.8	35.2	17.8	8.8	1.1	1.0	0.8	4.9	1.6
一般高齢者・圏域別	北	474	74.9	43.9	51.5	31.2	22.2	18.1	11.6	5.3	0.4	4.4	0.2	-	2.5	0.2
	東	461	81.1	57.7	38.4	21.0	18.9	15.8	5.9	5.6	0.2	2.4	0.2	-	1.5	2.2
	中央	491	82.7	44.2	43.8	31.4	20.4	16.5	10.8	3.7	0.6	3.9	0.2	-	1.4	1.6
	さつき	480	76.3	49.8	40.6	20.2	23.1	39.8	13.3	3.3	0.2	2.1	0.4	0.2	2.7	0.6
	国分寺台	509	71.3	36.7	46.6	55.8	25.5	15.7	8.4	4.9	-	2.4	0.2	0.2	1.8	0.6
	南	472	60.2	34.1	58.1	33.9	22.7	19.7	5.7	1.9	0.6	4.0	0.6	0.4	1.9	1.3
外出頻度別	ほとんど外出しない	275	33.1	6.5	9.8	14.5	49.8	4.0	26.9	6.9	8.0	1.1	3.6	0.7	3.6	1.5
	週1回	589	51.6	27.0	17.5	35.5	35.7	12.1	29.4	11.7	7.1	1.0	0.3	0.5	4.8	1.5
	週2～4回	1,895	73.4	40.8	35.0	37.8	26.9	16.5	17.9	10.2	2.4	2.2	0.4	0.3	2.7	1.1
	週5回以上	1,325	78.5	47.2	50.8	28.9	15.8	23.7	7.8	3.9	0.4	4.1	0.1	0.2	2.0	1.1

(11) 運転免許証の自主返納

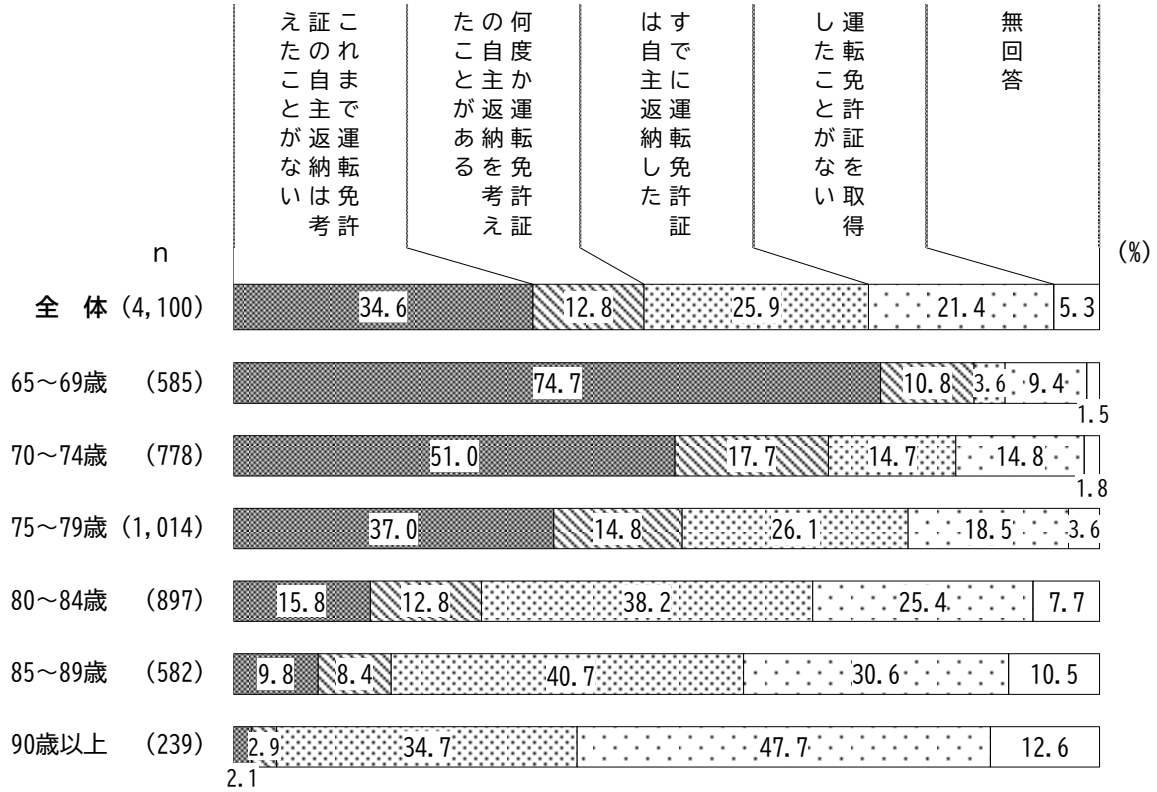
<運転免許証の自主返納／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「すでに運転免許証は自主返納した」が40.2%となっており、一般高齢者よりも割合が高い。一般高齢者を圏域別にみると、南では「これまで運転免許証の自主返納は考えたことがない」が54.0%で他の圏域に比べて高い。また、東、中央、さつき、国分寺台では「すでに運転免許証は自主返納した」が20%台となっている。



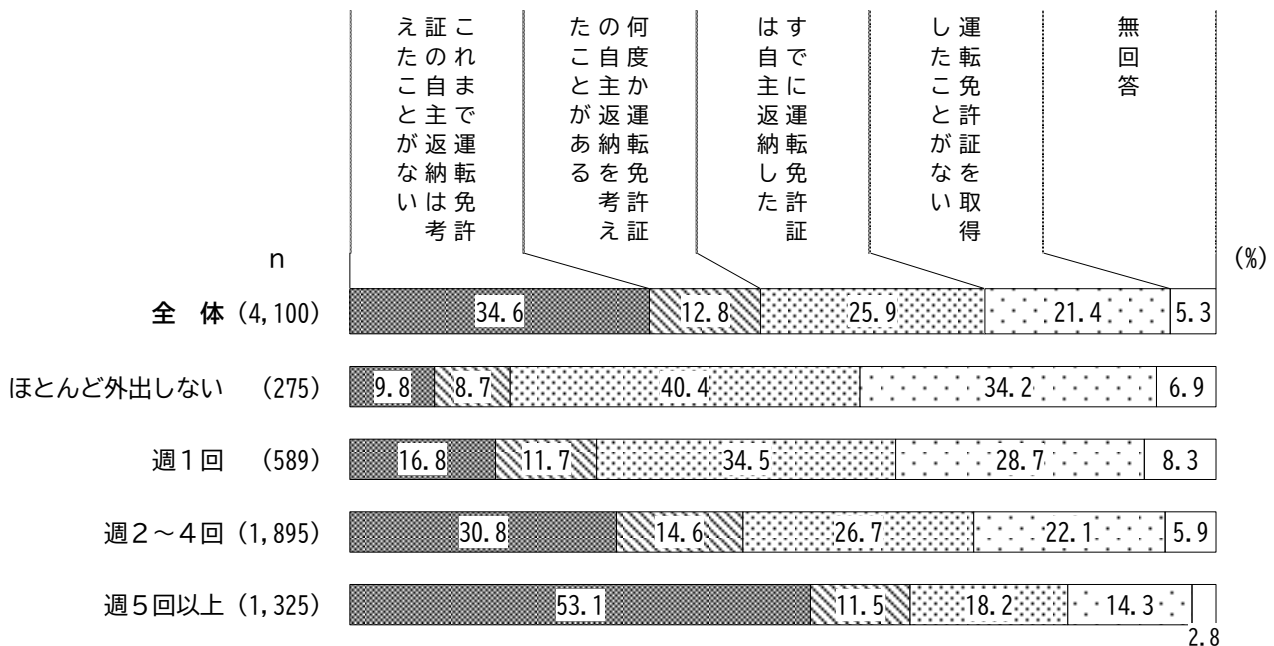
<運転免許証の自主返納/年齢別>

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「すでに運転免許証は自主返納した」「運転免許証を取得したことがない」の割合がおおむね高くなるのに対し、年齢が下がるにつれて「これまで運転免許証の自主返納は考えたことがない」の割合が高く、65～69歳では74.7%となっている。



<運転免許証の自主返納/外出頻度別>

外出頻度別にみると、外出頻度が少なくなるにつれて「すでに運転免許証は自主返納した」「運転免許証を取得したことがない」の割合が高くなっている。一方、外出頻度が多くなるにつれて「これまで運転免許証の自主返納は考えたことがない」の割合が高くなり、週5回以上では53.1%と半数を占めている。



(12) 運転免許証返納後に必要と思う支援

<運転免許証返納後に必要と思う支援/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「交通手段に関する支援の充実(乗合タクシー、コミュニティバス、タクシーの割引等)」が56.3%で最も多くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、いずれの圏域も「交通手段に関する支援の充実(乗合タクシー、コミュニティバス、タクシーの割引等)」が60~70%台となっている。また、国分寺台、南では「交通機関(電車、路線バス)の拡充」が50%を超えて他の圏域や要支援高齢者よりも高くなっている。

<運転免許証返納後に必要と思う支援/外出頻度別>

外出頻度別にみると、「交通手段に関する支援の充実(乗合タクシー、コミュニティバス、タクシーの割引等)」はどの外出頻度でも50~60%台と最も多い。また、週5回以上と週2~4回では「交通機関(電車、路線バス)の拡充」がともに40%を超えている。

		調査数(n)	バス(乗合タクシー、コミュニティバス、タクシーの割引等)	交通手段に関する支援の充実	交通機関(電車、路線バス)の拡充	移動販売・宅配サービス等買物の充実	商品・サービス(交通手段に関する支援・買物の特典)	その他	必要だと思う支援はない	無回答
単位:%										
全体		4,100	64.3	42.1	29.7	16.7	3.0	4.7	18.0	
要支援高齢者		1,208	56.3	30.9	24.0	12.3	3.8	3.3	29.5	
一般高齢者・圏域別	北	474	70.5	44.1	33.1	18.6	1.1	4.4	14.3	
	東	461	60.3	42.1	26.9	18.2	1.1	8.2	17.6	
	中央	491	66.0	42.8	29.9	21.8	3.3	7.3	12.4	
	さつき	480	69.0	43.3	36.0	20.0	3.5	5.6	12.3	
	国分寺台	509	73.1	56.2	35.8	17.1	3.1	3.7	10.0	
	南	472	66.5	50.8	30.7	15.7	3.8	2.5	13.6	
外出頻度別	ほとんど外出しない	275	53.1	22.9	26.5	13.1	1.8	5.5	28.4	
	週1回	589	61.0	34.6	26.3	13.9	4.6	3.2	23.6	
	週2~4回	1,895	65.8	43.5	30.0	16.3	2.6	3.5	18.6	
	週5回以上	1,325	66.3	47.5	31.8	19.5	3.1	6.9	12.5	

(13) 市内の主な外出先

<市内の主な外出先／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「病院」が86.2%で最も多く、次いで「スーパーマーケット」が64.7%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、いずれの圏域も「スーパーマーケット」が70～80%台、「病院」が60～70%台、「ショッピングセンター」が50～60%台となっている。

<市内の主な外出先／外出頻度別>

外出頻度別にみると、ほとんど外出しないでは「病院」が79.3%で最も多く、次いで「スーパーマーケット」が38.9%、「コンビニ」「ドラッグストア」がともに20%台となっている。また、外出頻度が少なくなるにつれて「病院」の割合がおおむね高くなる。

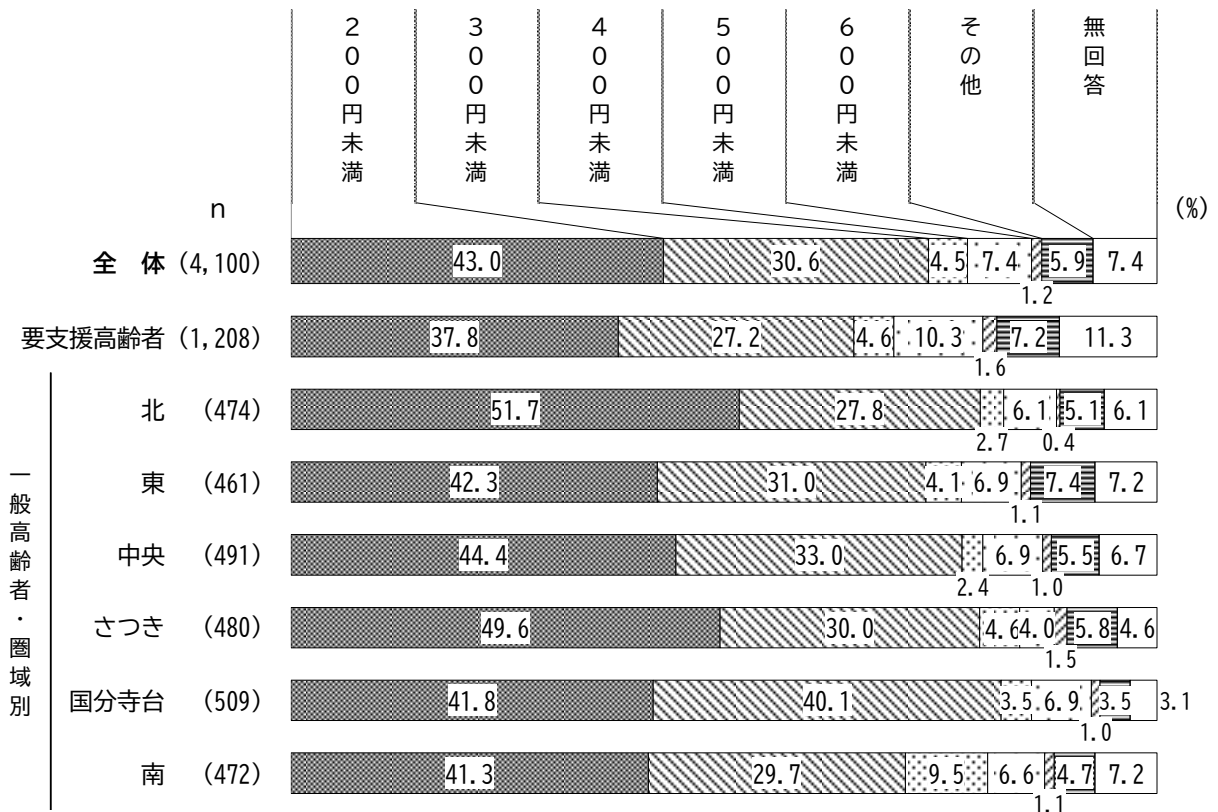
		調査数 (n)	スーパーマーケット	病院	ショッピングセンター	ドラッグストア	コンビニ	海老名駅	市役所	海老名駅以外の駅	運動施設（ビナスポ、海老名運動公園など）	自治会館、コミュニティセンター	図書館	その他	無回答
単位：%															
全体		4,100	76.8	73.0	53.0	48.1	43.3	37.2	20.2	17.9	15.6	15.4	11.8	8.7	1.3
要支援高齢者		1,208	64.7	86.2	35.7	37.4	38.9	27.7	21.9	12.4	7.9	15.6	6.5	7.3	2.1
一般高齢者・圏域別	北	474	85.7	70.3	65.2	53.8	45.6	39.2	20.0	20.0	17.5	13.9	15.6	11.0	0.6
	東	461	84.8	63.6	51.8	56.4	46.2	33.2	14.5	32.1	14.3	14.8	10.2	7.4	2.0
	中央	491	81.9	61.9	66.4	42.8	44.2	51.3	17.7	15.5	17.9	12.0	17.1	8.8	0.6
	さつき	480	79.2	70.6	61.5	61.5	50.8	38.3	22.5	25.0	29.8	14.6	16.5	10.8	0.6
	国分寺台	509	80.2	69.4	61.1	43.4	36.5	47.0	22.0	13.8	16.5	20.0	10.6	8.3	0.4
	南	472	79.2	68.4	54.7	58.5	48.3	37.5	19.7	15.7	16.5	16.5	13.8	9.1	1.7
外出頻度別	ほとんど外出しない	275	38.9	79.3	18.2	23.3	26.9	9.8	10.2	2.5	1.5	1.5	1.1	5.5	4.4
	週1回	589	65.5	82.0	42.3	41.3	39.9	29.0	19.5	11.9	5.1	12.7	6.5	6.8	2.0
	週2～4回	1,895	81.1	76.1	55.1	49.8	44.1	39.6	21.3	18.7	14.8	16.5	12.7	6.8	1.0
	週5回以上	1,325	83.5	63.1	62.0	54.1	47.3	43.4	21.0	22.9	24.3	18.0	15.2	13.0	0.8

(14) 市内でバスなどを利用して外出する場合の許容片道料金

<市内でバスなどを利用して外出する場合の許容片道料金/>

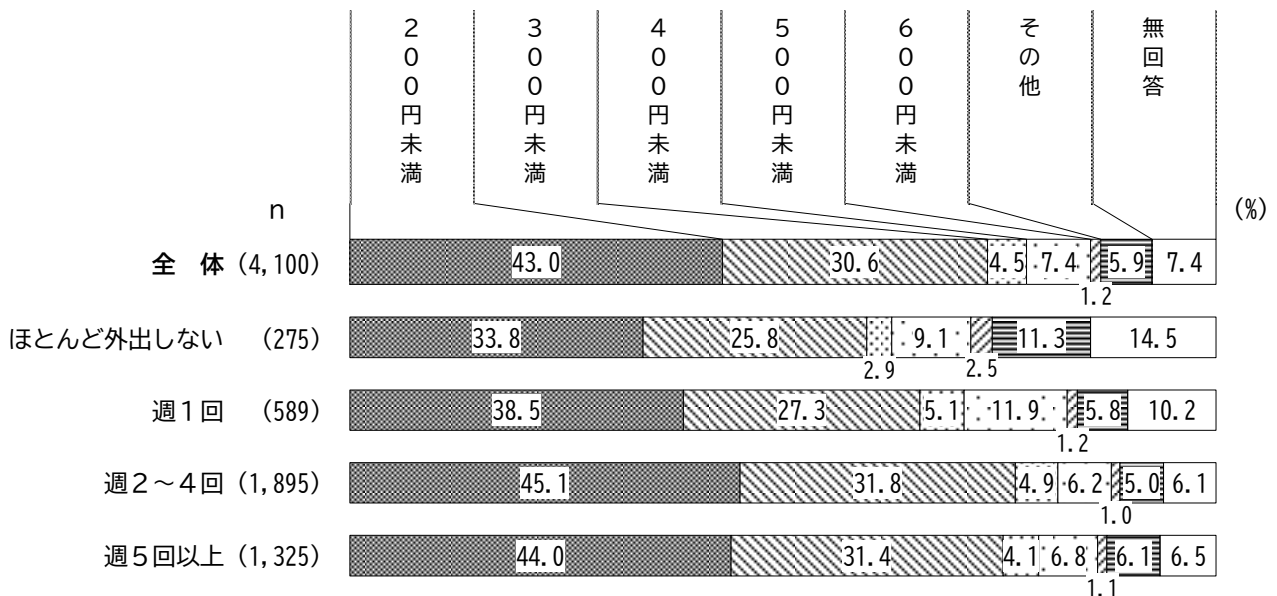
全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「200円未満」が37.8%で一般高齢者よりやや低いものの、「500円未満」は10.3%で一般高齢者よりやや高くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、いずれの圏域も「200円未満」が最も多く、40~50%台となっている。



<市内でバスなどを利用して外出する場合の許容片道料金/外出頻度別>

外出頻度別にみると、いずれの外出頻度でも「200円未満」の割合が高く、週5回と週2~4回では40%台、週1回とほとんど外出しないでは30%台となっている。



(15) 市内で外出するために必要と思うサービス

<市内で外出するために必要と思うサービス／全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「自宅から目的地まで直接行ける移動サービス(えび〜くる)」が58.7%で最も多く、次いで「バスの運賃助成」が39.7%、「バス路線の充実」が37.8%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、東、中央、国分寺台、南では「バスの運賃助成」、北、さつきでは「バス路線の充実」が最も多くなっている。

<市内で外出するために必要と思うサービス／外出頻度別>

外出頻度別にみると、外出頻度が多くなるにつれて「バスの運賃助成」の割合が高くなる。一方、外出頻度が少なくなるにつれて「1人では出かけられない高齢者の外出に、付き添うサービス」の割合が高くなる。

		調査数 (n)	バスの 運賃助成	自宅から目的地まで直接行ける移動サービス(えび〜くる)	バス路線の充実	1人では出かけられない高齢者の外出に、付き添うサービス	その他	必要ない	無回答
単位：%									
全体		4,100	51.2	49.4	47.0	22.4	5.0	5.7	3.8
要支援高齢者		1,208	39.7	58.7	37.8	28.1	6.6	3.4	5.6
一般高齢者・圏域別	北	474	52.3	44.5	59.7	16.5	6.1	6.5	2.3
	東	461	49.2	44.5	42.3	22.8	3.7	10.0	5.2
	中央	491	51.3	44.2	47.5	19.8	3.1	8.8	3.5
	さつき	480	51.3	48.8	53.1	22.1	6.0	6.0	3.1
	国分寺台	509	69.9	44.8	48.5	19.6	3.5	3.7	0.4
	南	472	60.6	46.2	53.8	18.9	3.2	4.7	4.2
外出頻度別	ほとんど外出しない	275	29.5	51.6	24.4	35.6	5.5	5.8	8.0
	週1回	589	44.7	58.4	40.9	26.0	5.9	2.9	5.1
	週2～4回	1,895	53.2	50.8	50.4	20.7	5.3	4.2	3.1
	週5回以上	1,325	55.8	42.7	49.8	20.4	4.0	9.0	3.5

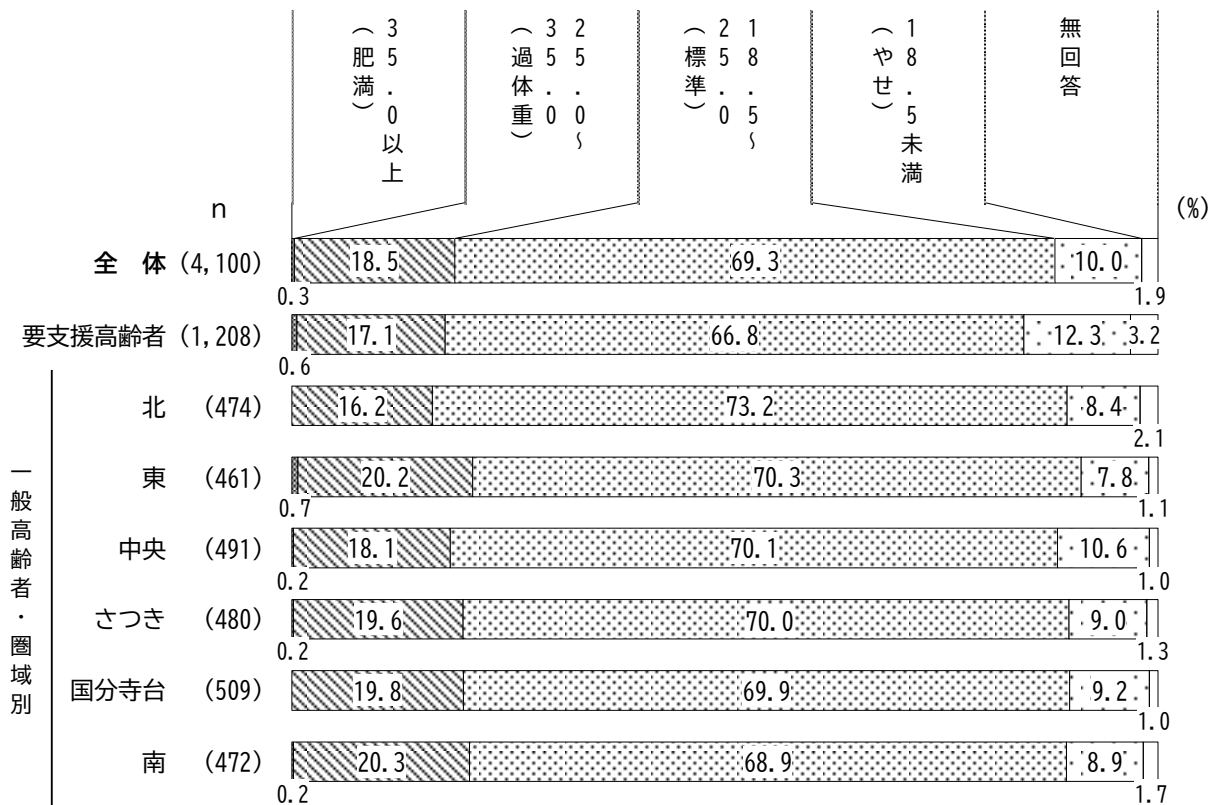
3. 食べること

(1) BMI (身長・体重)

※BMI (Body Mass Indexの略) : 体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m)) で算出される肥満指数とされています。
 18.5未満が「やせ」、18.5～25.0未満が「標準」、25.0以上が「肥満」の目安になります。

< BMI (身長・体重) / 全体、要支援高齢者、一般高齢者 (6圏域別) >

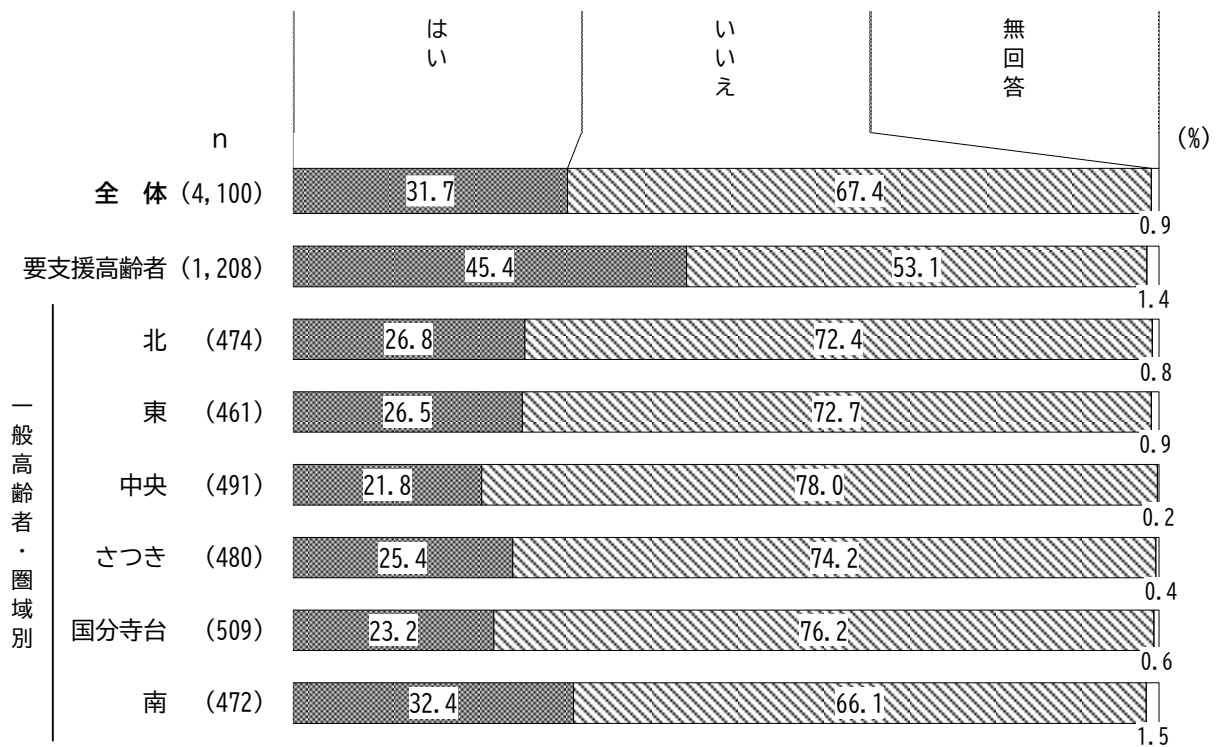
要支援高齢者では「標準」が66.8%、「肥満」が17.1%、「やせ」が12.3%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、いずれの圏域も「標準」が60～70%台となっている。



(2) 固いものの食べにくさ

<固いものの食べにくさ／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「はい」が45.4%で、一般高齢者はいずれの圏域も「はい」が20～30%台と要支援高齢者の方が割合が高くなっている。



<口腔機能低下リスク>

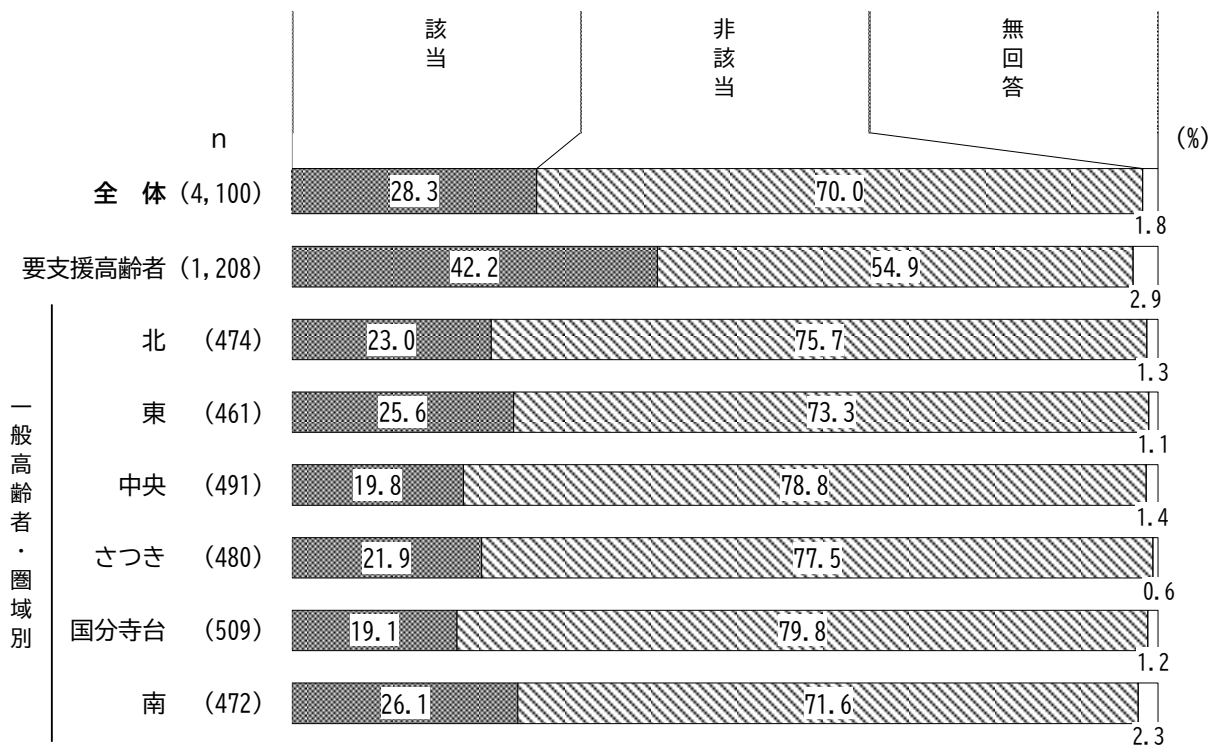
下記の3項目中、2項目以上で「はい」に該当する場合、『口腔機能の低下に該当する高齢者』（口腔機能低下リスクあり）としています。

- ・半年前に比べて固いものが食べにくくなった
- ・お茶や汁物等でむせることがある
- ・口の渇きが気になる

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月）

<口腔機能低下リスク／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「該当」が42.2%で一般高齢者よりも割合が高い。一般高齢者を圏域別にみると、東、南で「該当」が20%台後半となっている。



(3) 歯科の受診状況

< 歯科の受診状況 / 全体、要支援高齢者、一般高齢者 (6 圏域別) >

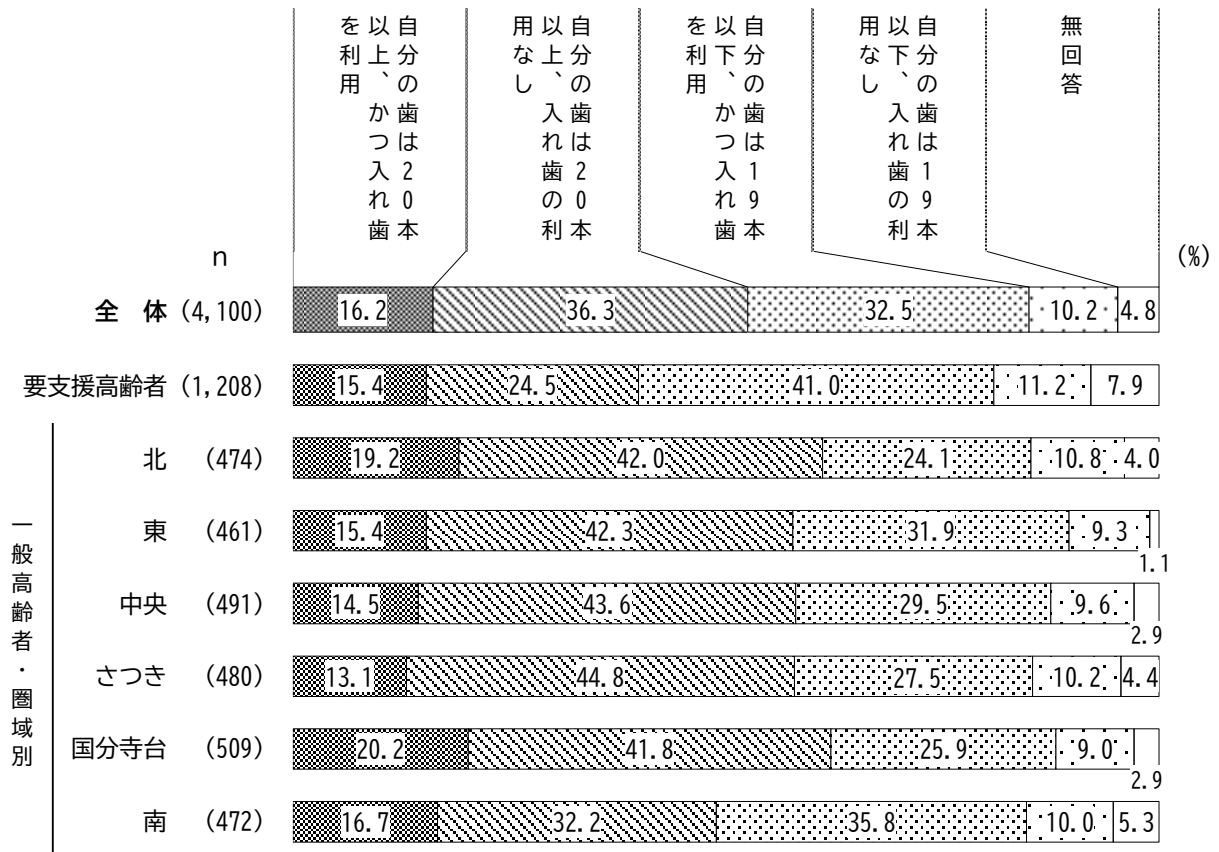
要支援高齢者では「歯科健診」が41.4%で最も多く、次いで「歯石除去・クリーニング」が34.8%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、北、東、中央、さつきでは「歯科検診」、南では「歯石除去・クリーニング」、国分寺台では前述の2項目が同率で最も多くなっている。一方で、要支援高齢者と一般高齢者のすべての圏域で「1年以上受けていない」が20%台となっている。

		調査数 (n)	歯科健診	歯石除去・クリーニング	むし歯の治療	入れ歯作成	歯周病の治療	歯磨き指導	矯正治療	その他の治療	1年以上受けていない	無回答
単位：%												
全体		4,100	45.1	42.1	19.1	16.7	10.1	8.1	1.2	5.2	23.7	3.6
要支援高齢者		1,208	41.4	34.8	18.3	21.5	11.0	7.7	2.2	5.0	25.4	5.0
一般高齢者・圏域別	北	474	43.0	41.1	21.9	18.1	9.1	9.3	0.6	5.3	22.8	3.2
	東	461	52.5	49.5	21.0	15.6	9.3	9.1	1.7	4.1	20.0	1.5
	中央	491	48.9	45.8	20.2	10.6	10.4	8.1	0.4	5.9	23.2	2.9
	さつき	480	47.9	45.4	16.0	13.3	9.4	7.5	0.4	6.0	25.0	2.7
	国分寺台	509	48.5	48.5	16.9	13.2	9.4	7.7	1.2	5.7	22.6	2.9
	南	472	39.0	40.3	20.8	18.0	10.6	8.1	0.6	4.9	23.7	4.7

(4) 歯の数と入れ歯の利用状況

<歯の数と入れ歯の利用状況／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.0%で最も多くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、南以外では「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40%台で最も多く、南では「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が35.8%で最も多くなっている。

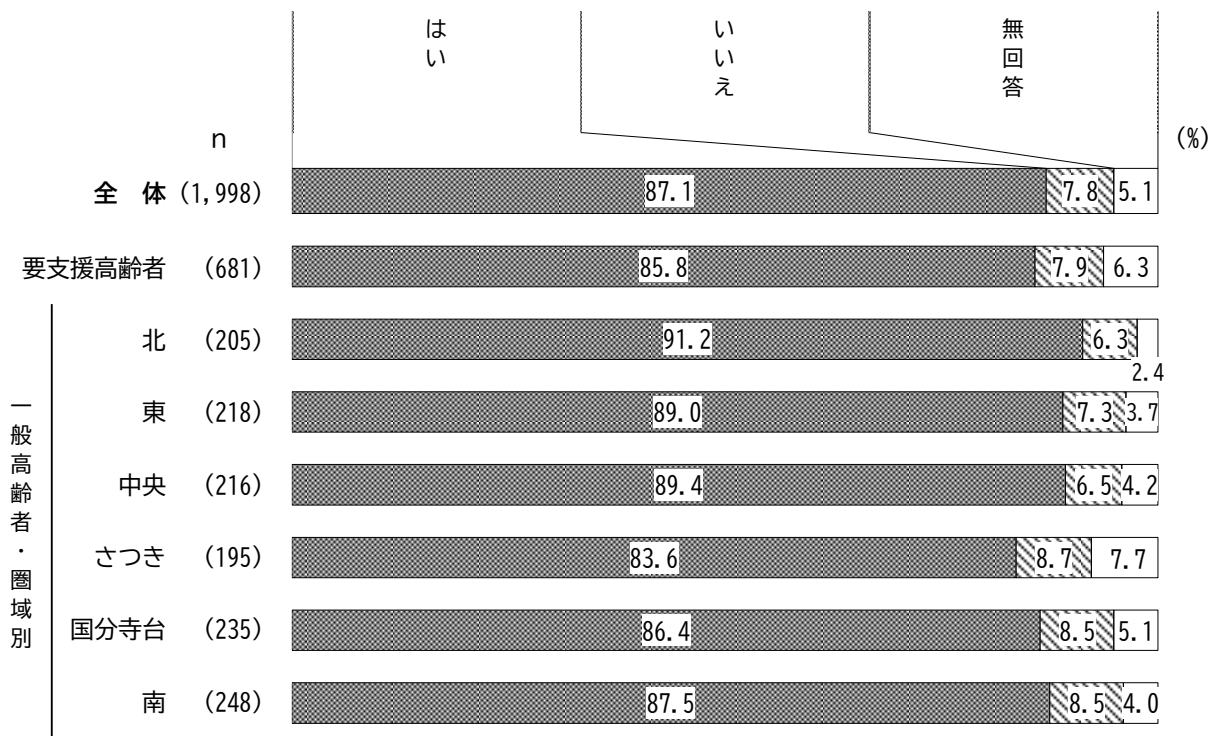


(5) 入れ歯の手入れ

【(4)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

<入れ歯の手入れ／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者、一般高齢者のすべての圏域で「はい」が80～90%台となっている。



<低栄養のリスク>

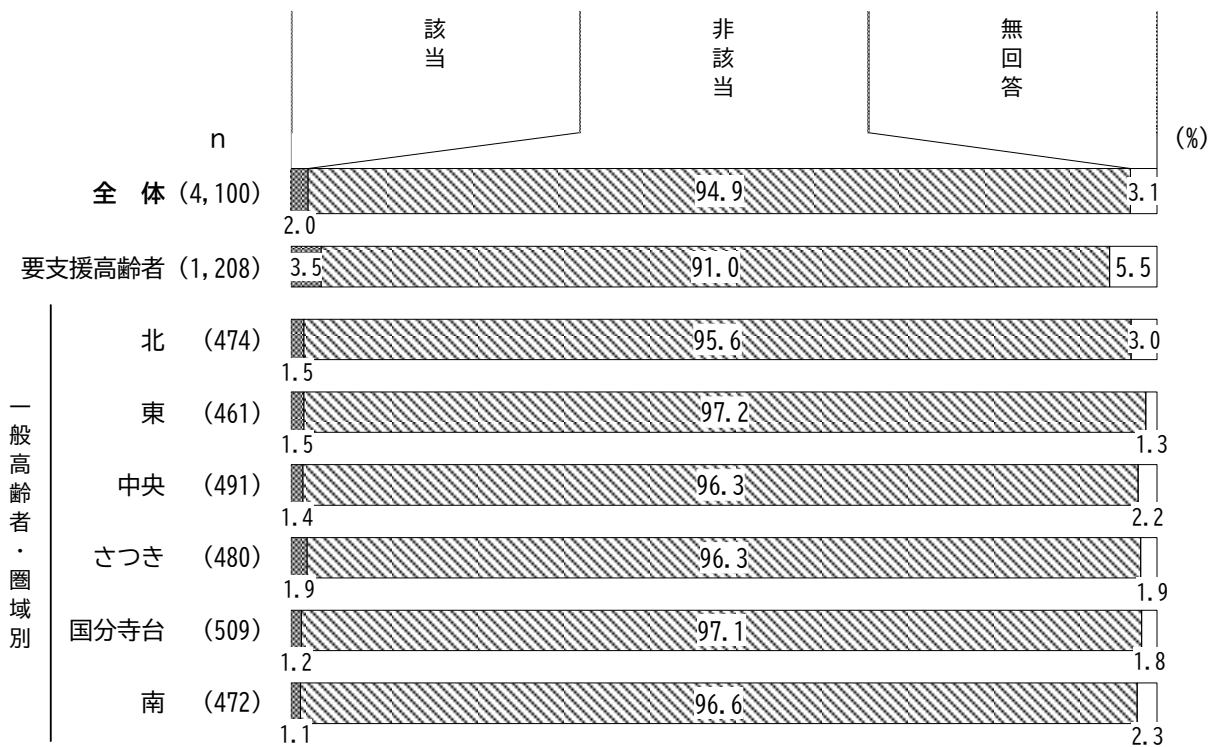
下記の2項目に該当する場合、『低栄養状態に該当する高齢者』（低栄養リスクあり）としています。

- ・身長・体重から算出されるBMIが18.5以下
- ・6か月間で2～3kg以上の体重減少

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月）

<低栄養のリスク／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

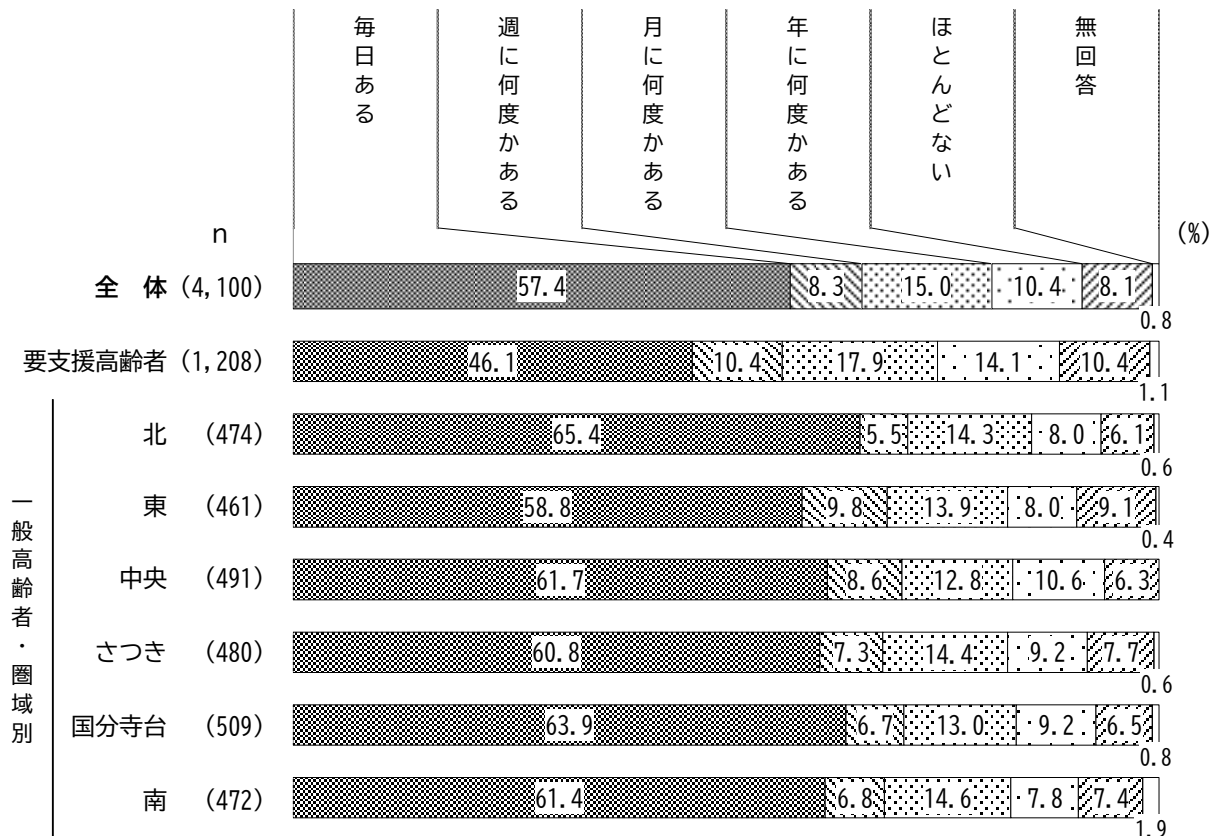
要支援高齢者では「該当」が3.5%、一般高齢者ではすべての圏域で1%台となっている。



(6) 共食の頻度

<共食の頻度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「毎日ある」が46.1%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、いずれの圏域も「毎日ある」が50~60%台で要支援高齢者よりも割合が高い。



(7) 共食相手

【(6)で「毎日ある」「週に何度かある」「月に何度かある」「年に何度かある」の方のみ】

<共食相手／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「同居家族」が61.4%で最も多く、次いで「別居している家族・親族」が37.5%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、いずれの圏域も「同居家族」が70～80%台、「友人・知人」が30～40%台となっており、要支援高齢者よりも割合が高い。

<共食相手／年齢別>

年齢別にみると、年齢が上がるほど「別居している家族・親族」、年齢が下がるほど「同居家族」の割合が高くなっている。

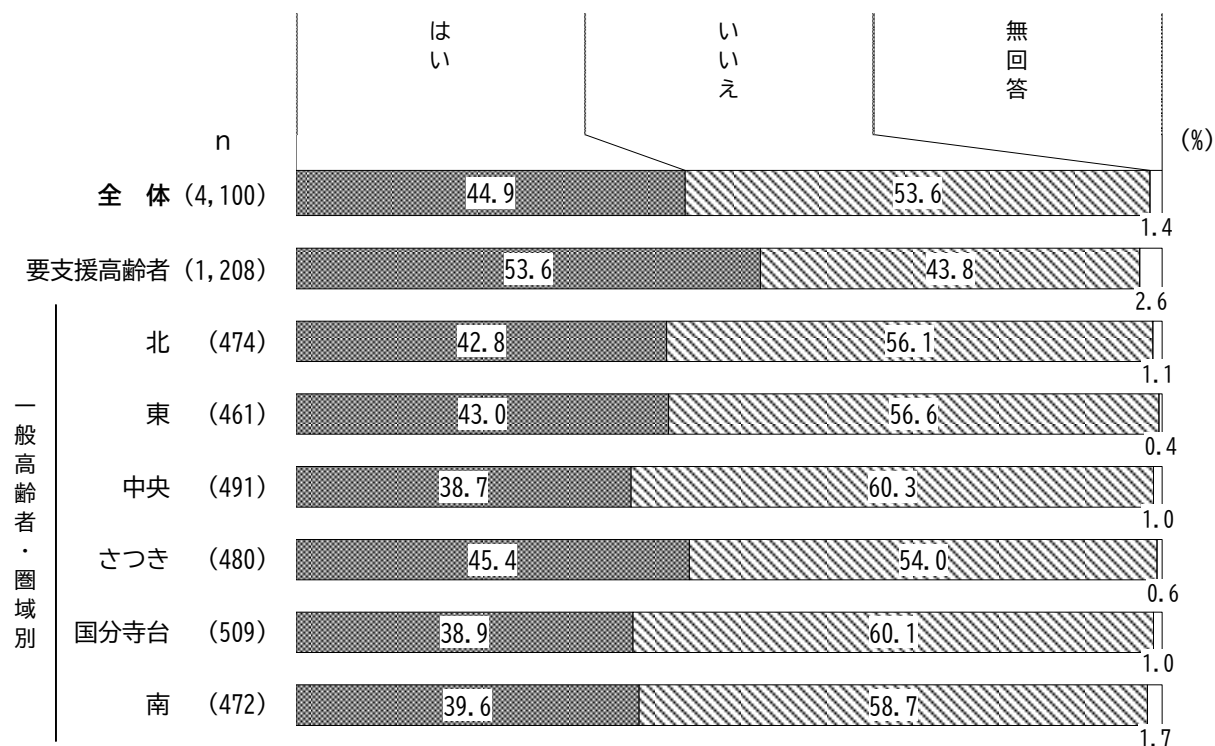
		調査数 (n)	同居家族	友人・知人	別居している家族・親族	職場の同僚	近所の人	ボランティア・民生委員など地域の支援者	その他	無回答
単位：%										
全体		3,733	71.3	34.0	32.2	5.1	4.4	0.6	2.4	0.5
要支援高齢者		1,069	61.4	25.7	37.5	0.7	4.5	0.6	3.8	0.6
一般高齢者・圏域別	北	442	74.7	34.2	32.1	4.5	3.6	0.9	2.3	1.4
	東	417	73.6	40.8	30.5	9.1	5.5	0.2	2.6	0.7
	中央	460	72.0	36.3	30.7	6.7	2.8	0.2	0.2	-
	さつき	440	76.6	40.7	31.1	7.7	3.4	0.5	2.0	0.2
	国分寺台	472	81.1	37.7	29.0	5.5	5.1	1.5	0.8	0.2
	南	428	72.7	34.6	27.1	7.7	5.8	0.5	3.5	0.7
年齢別	65～69歳	546	81.9	34.4	25.8	14.8	2.0	0.2	1.6	0.2
	70～74歳	715	79.4	35.8	27.8	6.4	3.6	1.1	1.3	0.8
	75～79歳	930	73.3	40.3	31.5	4.6	5.9	1.2	1.2	0.4
	80～84歳	807	65.9	33.0	35.7	1.7	5.7	0.4	2.9	0.5
	85～89歳	523	58.1	31.2	38.2	1.0	4.2	-	3.3	0.8
	90歳以上	207	58.9	9.7	38.6	-	1.9	-	10.6	0.5

4. 毎日の生活

(1) 物忘れの状況

<物忘れの状況／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「認知機能の低下がみられる」が53.6%で、一般高齢者はいずれの圏域も「認知機能の低下がみられる」は30~40%台であり、要支援高齢者の方が割合が高くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、さつきで「認知機能の低下がみられる」が45.4%と最も高い。



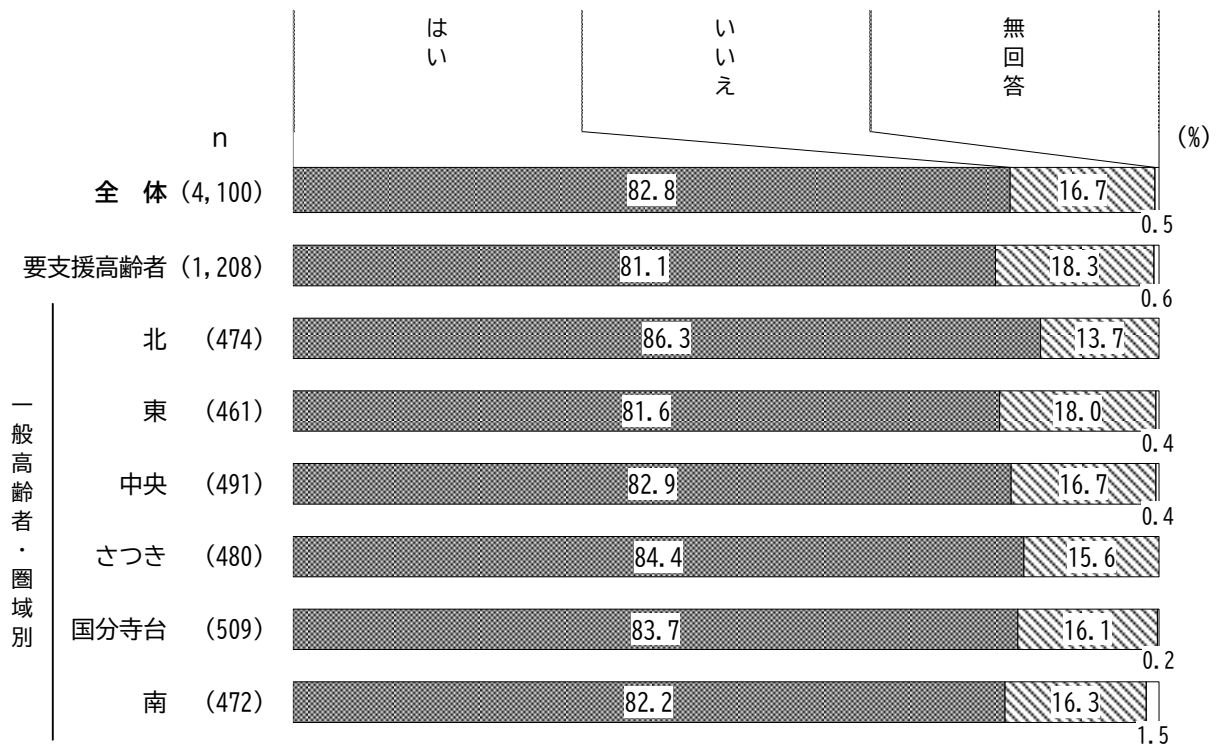
物忘れが多いと感じる（「はい」）と回答した場合、『認知機能の低下がみられる高齢者』（認知機能低下リスクあり）としています。

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月）

(2) 電話の使用

<電話の使用／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

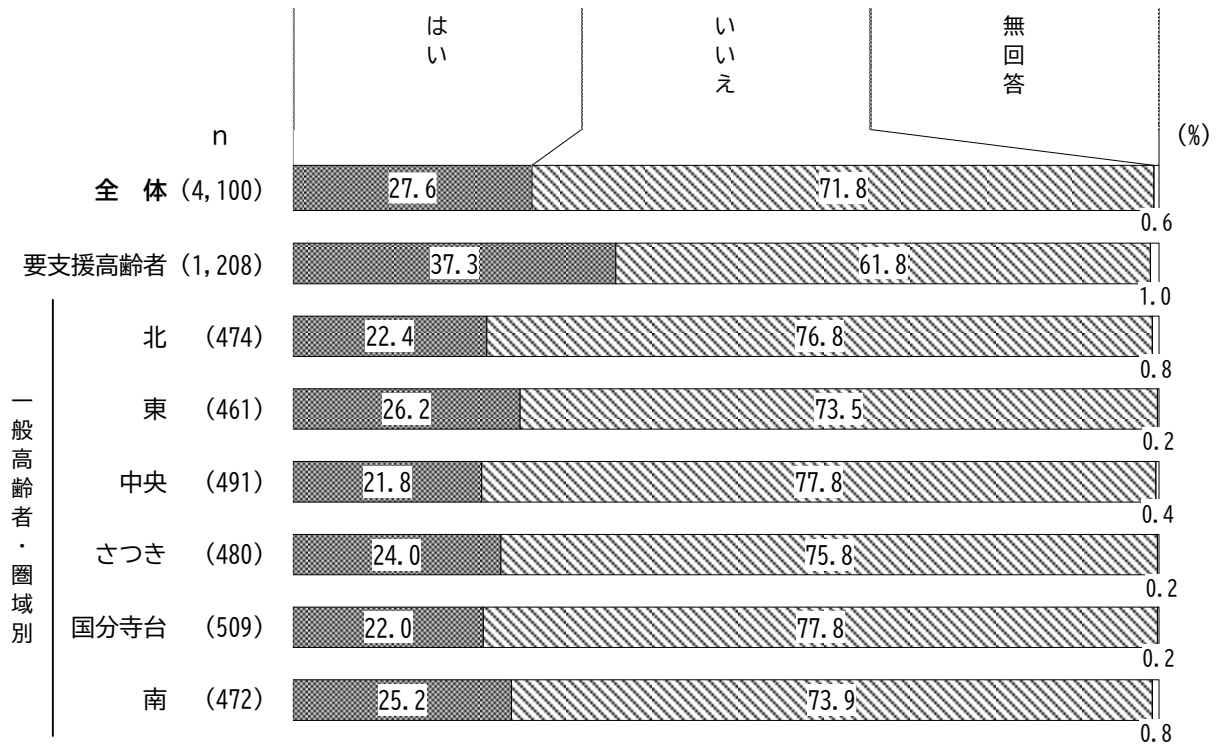
要支援高齢者および一般高齢者のすべての圏域で「はい」が80%台となっている。一般高齢者を圏域別にみると、北で「はい」が86.3%と最も高い。



(3) 日付の忘却

<日付の忘却/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「はい」が37.3%で、一般高齢者はすべての圏域で「はい」が20%台と、要支援高齢者の方が割合が高くなっている。



<IADL※リスク>

※「IADL」とは、手段的日常生活動作のことで、「掃除・料理・洗濯・買い物などの家事や交通機関の利用、電話対応などのコミュニケーション、スケジュール調整、服薬管理、金銭管理、趣味」などの複雑な動作を指す。

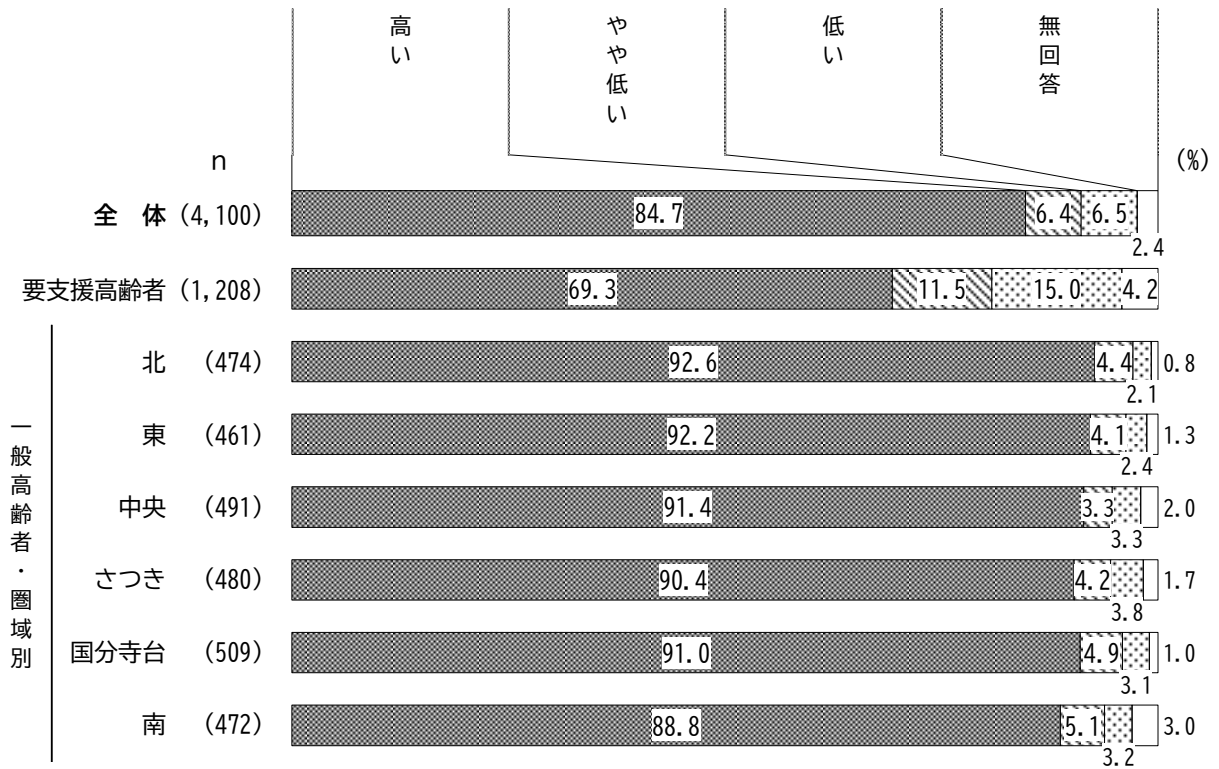
下記の5項目の回答について、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価した。4点以下の方を、本調査において『IADL機能低下リスクがある高齢者』としている。

- ・バスや電車を使って1人で外出
- ・自分で食品・日用品の買い物
- ・自分で食事の用意
- ・自分で請求書の支払い
- ・自分で預貯金の出し入れ

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月）

<IADLリスク／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者ではリスク該当者が26.5%で、一般高齢者よりも割合が高い。「高い」は要支援高齢者で69.3%、一般高齢者で80~90%台となっている。



<知的能動性の低下リスク>

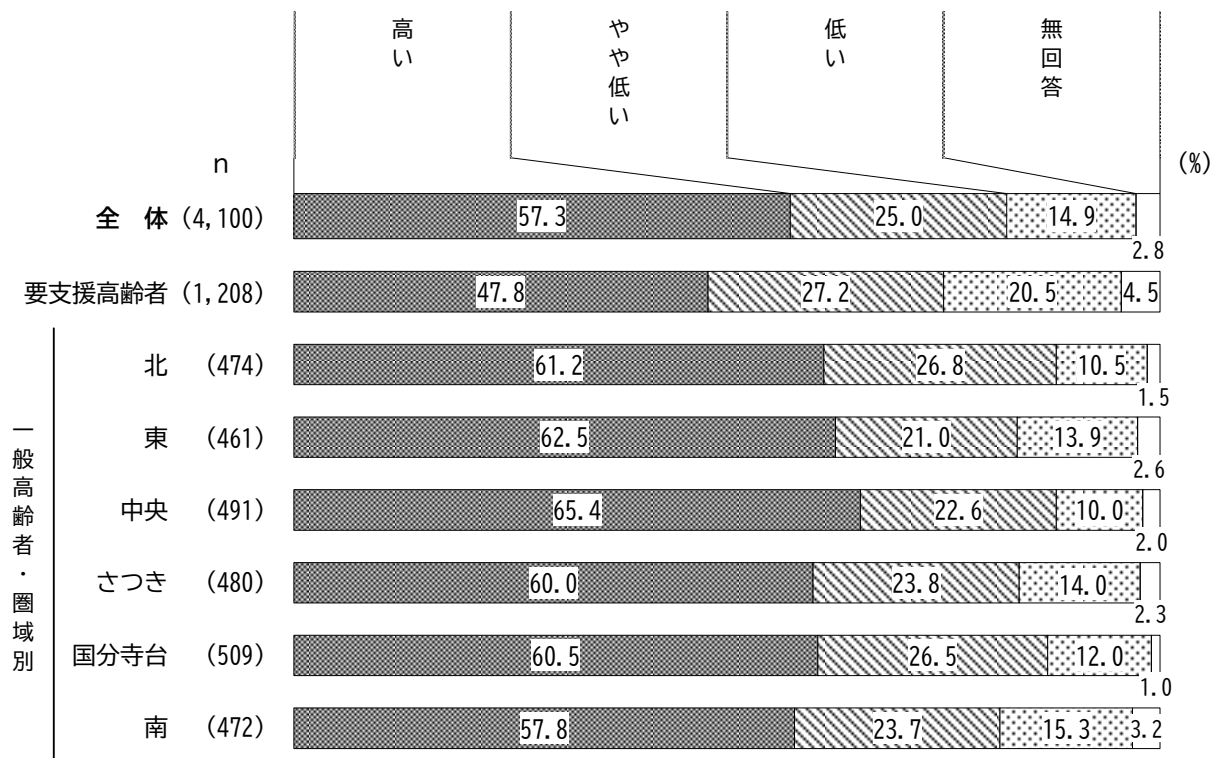
下記の4項目の回答について、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価した。3点以下の方を、本調査において『知的能動性の低下リスクがある高齢者』としている。

- ・書類の記入
- ・新聞閲読
- ・本や雑誌の閲読
- ・健康記事、番組への関心

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月）

<知的能動性の低下リスク／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

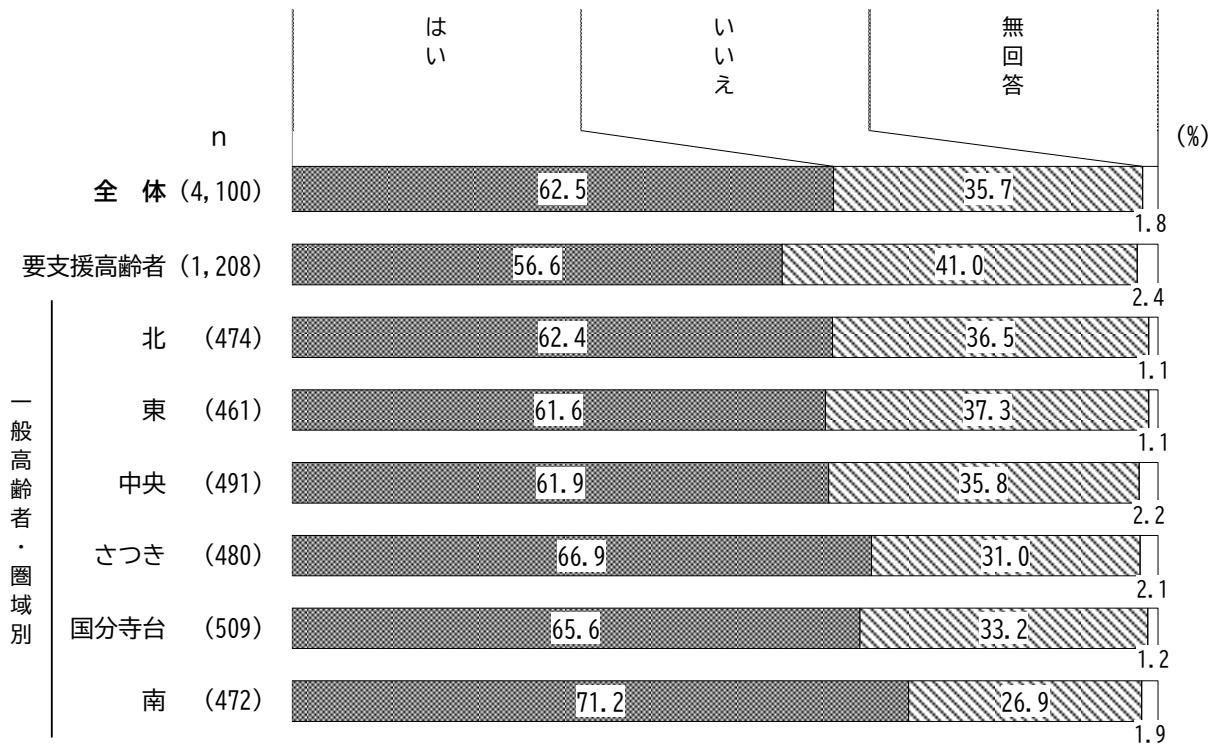
要支援高齢者では低下リスク該当者が47.7%で、一般高齢者よりも割合が高い。一般高齢者では「高い」が50～60%台で要支援高齢者よりも割合が高い。



(4) 若い人への話しかけ

<若い人への話しかけ／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

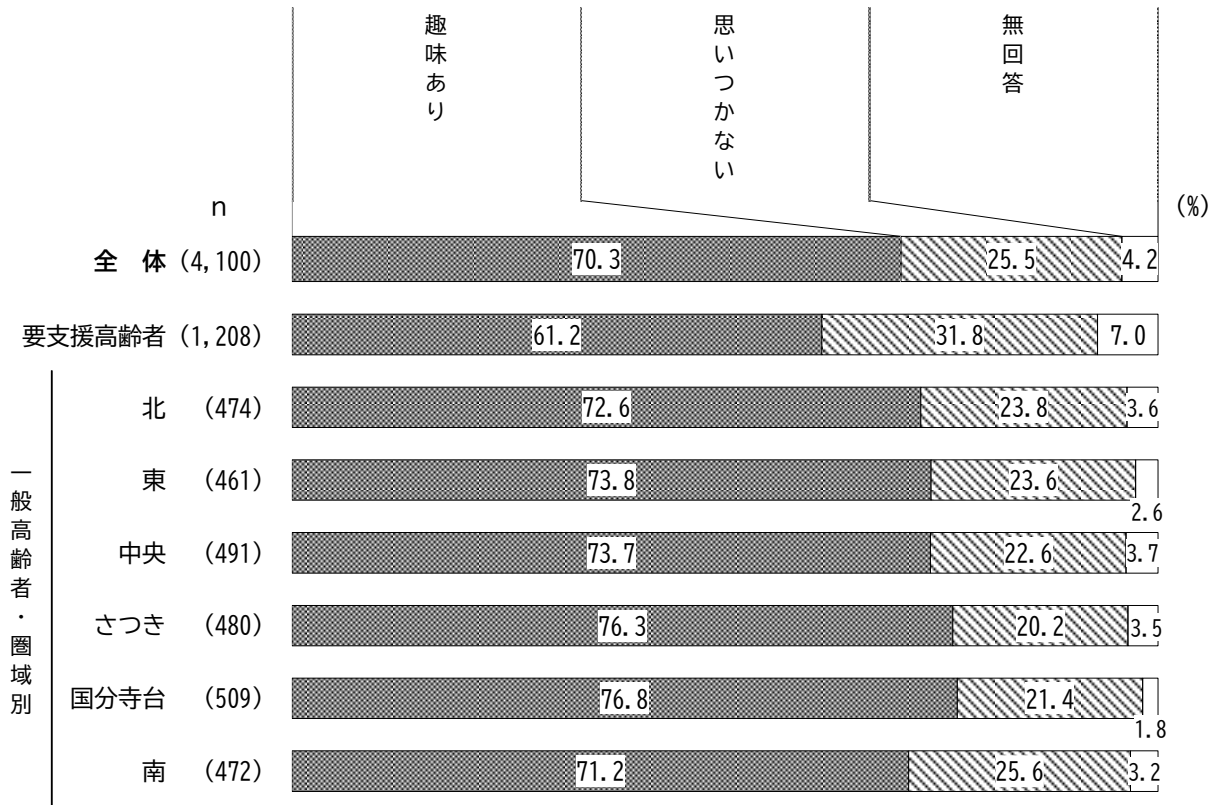
要支援高齢者では「はい」が56.6%で、一般高齢者はいずれの圏域も「はい」が60～70%台と、一般高齢者の方が割合が高くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、南で「はい」が71.2%と最も高い。



(5) 趣味の有無

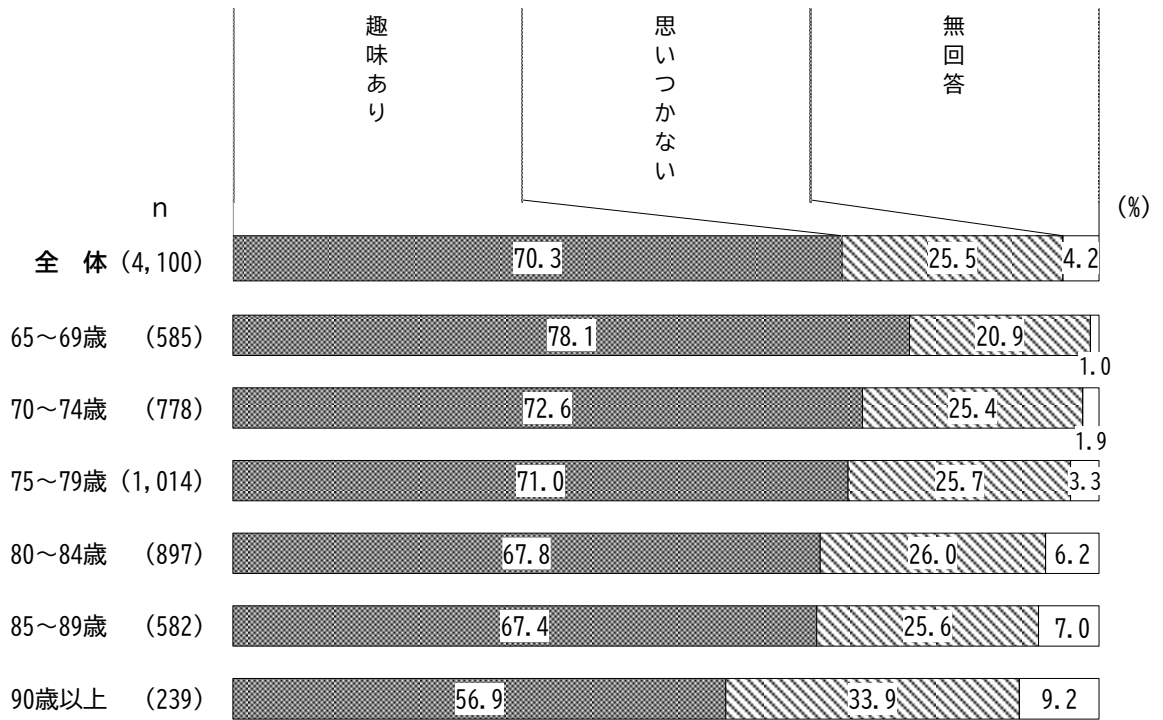
<趣味の有無/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「趣味あり」が61.2%で、一般高齢者はすべての圏域で「はい」が70%台と、一般高齢者の方が割合が高くなっている。



<趣味の有無/年齢別>

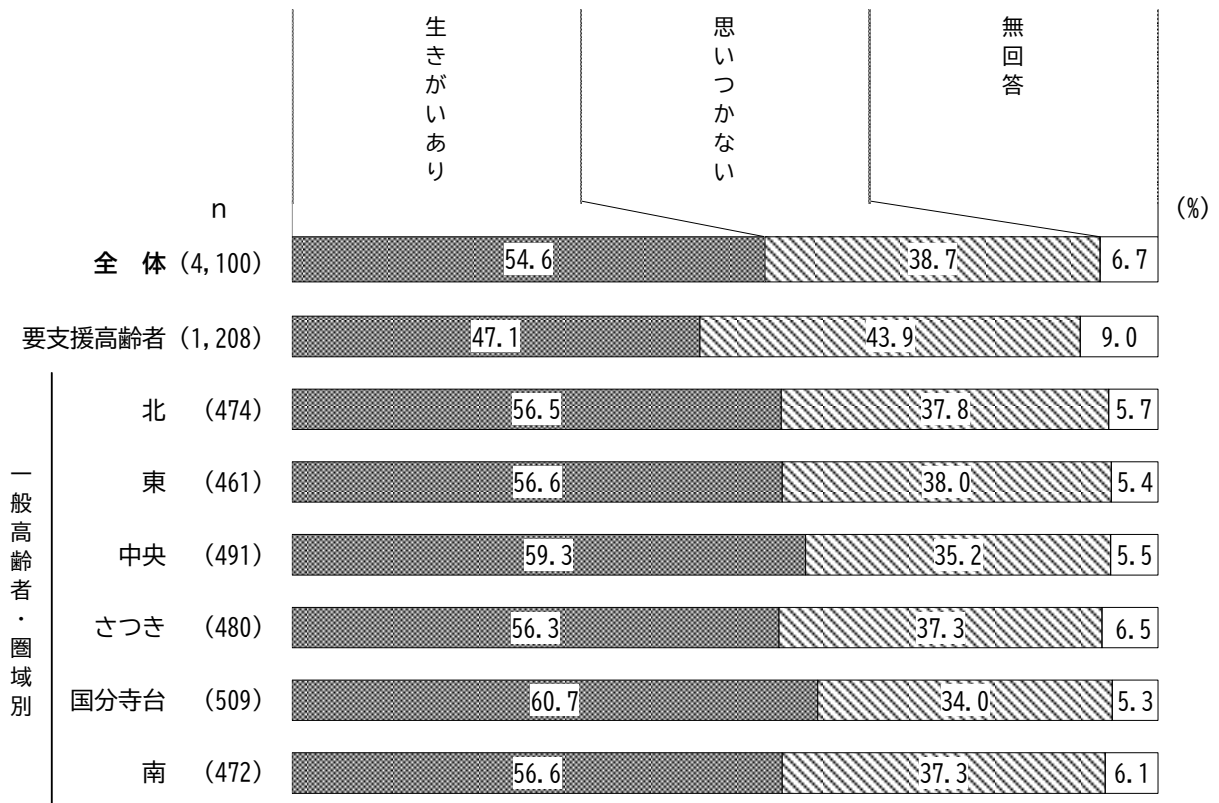
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「趣味あり」の割合が低くなっている。



(6) 生きがいの有無

<生きがいの有無／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「生きがいあり」が47.1%で、一般高齢者はいずれの圏域も「生きがいあり」が50～60%台と、一般高齢者の方が割合が高くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、国分寺台で「生きがいあり」が60.7%と最も高い。



(7) 携帯電話やスマートフォン、パソコンの利用用途

<携帯電話やスマートフォン、パソコンの利用用途/>

全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では、すべての項目で一般高齢者よりも割合が低く、「通話（電話機能）」以外の項目は一般高齢者と比べて大きな差がみられる。一般高齢者を圏域別にみると、すべての圏域で「通話（電話機能）」が80%台となっている。「LINEなどのメッセージングアプリ」「インターネット検索」もすべての圏域で半数以上となっている。

<携帯電話やスマートフォン、パソコンの利用用途/年齢別>

年齢別にみると、すべての項目で、年齢が下がるにつれて割合が高くなっている。一方で、年齢が上がるにつれて「あてはまるものはない」の割合が高く、85～89歳と90歳以上で10%以上となっている。

		調査数 (n)	通話 (電話機能)	メールの閲覧・送受信	ニュース・天気予報の閲覧	写真・動画撮影	LINEなどのメッセージングアプリ	インターネット検索	SMS/MMS (ショートメール)の閲覧・送受信	地図・ナビの利用	動画視聴 (YouTubeなど)	Amazon、楽天市場など	インターネットショッピング (Amazon、楽天市場など)	健康・体調管理 (体重、カロリー、血圧など)	Instagram	X (旧Twitter)	TikTok	あてはまるものはない	無回答
単位: %																			
全体		4,100	84.0	71.5	58.2	56.8	53.1	47.7	43.3	41.3	33.1	22.5	20.9	6.2	4.3	3.5	4.7	4.9	
要支援高齢者		1,208	76.7	53.1	37.0	35.9	31.5	21.5	25.0	16.3	14.3	7.5	17.8	1.5	1.2	1.3	8.1	7.9	
一般高齢者・圏域別	北	474	88.6	78.5	67.5	65.0	67.1	62.2	53.0	53.8	39.9	30.2	24.9	9.9	7.4	4.6	3.0	3.8	
	東	461	85.2	80.5	67.5	65.5	60.1	55.5	47.7	47.9	41.6	28.0	20.8	7.8	5.4	5.2	3.9	3.5	
	中央	491	86.8	80.4	72.1	67.0	63.7	63.5	54.8	56.0	43.4	33.2	25.1	9.6	7.3	2.4	3.7	3.5	
	さつき	480	87.3	78.3	65.8	63.8	60.6	57.7	47.9	50.2	40.4	30.8	20.6	7.7	4.6	4.8	2.7	4.2	
	国分寺台	509	88.6	81.5	66.2	64.0	62.5	61.1	54.4	51.9	42.2	27.7	22.8	8.1	4.9	4.1	2.9	2.6	
	南	472	85.8	75.8	62.5	67.8	58.1	51.3	46.8	50.0	37.9	22.7	19.3	6.1	4.0	5.1	3.8	4.7	
年齢別	65～69歳	585	92.8	90.6	84.8	80.0	83.6	85.0	68.0	75.4	66.8	54.5	28.4	20.3	13.3	9.9	0.7	0.5	
	70～74歳	778	90.2	86.0	74.3	69.0	70.1	67.2	55.9	57.3	48.5	34.4	22.6	8.9	6.3	4.6	2.6	1.7	
	75～79歳	1,014	88.2	79.0	62.6	63.7	58.6	49.6	48.6	44.7	32.9	19.3	20.3	4.5	2.7	3.0	2.6	3.1	
	80～84歳	897	81.2	64.3	45.8	47.4	40.7	31.1	32.1	26.6	19.2	9.7	17.8	1.8	2.2	1.3	5.0	7.0	
	85～89歳	582	73.0	46.9	34.5	35.6	25.3	20.8	22.2	16.3	11.2	6.2	19.8	0.5	0.3	1.0	10.0	10.5	
	90歳以上	239	61.9	32.6	24.7	17.6	13.0	12.6	11.3	6.3	6.7	6.3	14.6	0.8	0.4	-	17.2	13.0	

(8) 今後の生活で心配なこと

<今後の生活で心配なこと／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「自分の健康に関すること」が71.2%で一般高齢者よりも割合が高い。一方、一般高齢者ではすべての圏域で「家族の健康に関すること」が40%台で要支援高齢者よりも割合が高い。

<今後の生活で心配なこと／性別>

性別にみると、男女ともに「自分の健康に関すること」が最も多く、次いで男性では「家族の健康に関すること」、女性では「自分が認知症になること」となっている。また、男性は女性よりも「家族の健康に関すること」が8.5ポイント、「経済的なこと」が8.1ポイント高くなっている。一方、女性は男性よりも「自分が認知症になること」が10ポイント以上高くなっている。

<今後の生活で心配なこと／現在の生活の満足度別>

現在の満足度別にみると、現在の生活の満足度が高いほど、「自分が認知症になること」、「家族の健康に関すること」の割合がおおむね高くなる。一方、満足度が低いほど「経済的なこと」、「住まいに関すること」の割合が高くなる。

		調査数 (n)	自分の健康に関すること	自分が認知症になること	家族の健康に関すること	経済的なこと	家族が認知症になること	将来、一人で生活することになった ときのこと	住まいに関すること	お金の管理のこと	何かあつたときにどこへ相談していいかわからない	頼れる親族・知人がいないこと	家族との不和	近所との付き合い	その他	特に心配していることはない	無回答
単位：%																	
全体		4,100	65.1	41.0	40.3	32.7	14.2	12.8	6.5	6.0	5.4	2.4	1.7	1.7	0.9	6.4	1.8
要支援高齢者		1,208	71.2	44.3	33.4	29.5	11.4	12.1	6.7	6.2	6.5	2.4	2.7	2.4	1.0	3.8	2.7
一般高齢者・圏域別	北	474	62.4	41.1	42.8	34.0	18.8	13.5	7.0	3.8	4.9	1.7	1.3	3.0	0.6	6.1	0.8
	東	461	63.3	41.9	40.1	37.3	14.3	12.8	5.0	8.0	6.1	1.1	1.3	0.9	0.9	6.7	1.1
	中央	491	62.1	37.1	44.8	30.5	12.8	12.2	7.5	6.9	4.5	3.5	1.4	1.0	1.0	9.4	1.6
	さつき	480	60.2	42.9	41.3	36.0	17.7	15.2	4.8	8.1	6.3	3.5	1.5	1.3	1.0	6.0	1.9
	国分寺台	509	64.4	39.7	42.8	32.0	15.9	13.8	6.9	4.7	4.1	1.8	0.8	0.8	1.2	8.1	1.4
	南	472	62.5	35.8	46.4	34.7	12.1	10.8	7.6	3.6	3.8	2.8	1.3	1.9	0.4	8.3	1.7
性別	男性	1,746	63.3	35.1	45.1	37.3	16.3	14.3	6.5	6.6	4.9	3.0	1.9	1.8	0.9	5.7	1.8
	女性	2,349	66.4	45.6	36.6	29.2	12.6	11.7	6.6	5.4	5.8	1.9	1.5	1.7	0.9	6.9	1.8
現在の生活の満足度別	満足している	819	61.4	39.6	42.2	16.7	14.5	13.3	3.1	3.8	2.4	0.5	0.5	0.9	0.7	12.9	1.3
	まあ満足している	2,140	67.3	43.6	42.3	30.0	15.4	12.8	5.7	6.0	4.6	1.5	1.2	1.5	0.7	6.4	0.6
	どちらともいえない	806	64.9	38.8	37.1	48.5	11.7	12.4	10.4	8.3	9.3	5.3	2.6	3.0	1.6	2.2	0.9
	やや不満である	144	72.9	36.8	36.8	57.6	12.5	16.7	12.5	4.2	7.6	5.6	5.6	2.1	1.4	0.7	1.4
	不満である	101	60.4	27.7	25.7	65.3	8.9	12.9	16.8	6.9	13.9	7.9	8.9	4.0	-	-	2.0

<今後の生活で心配なこと／家族構成別>

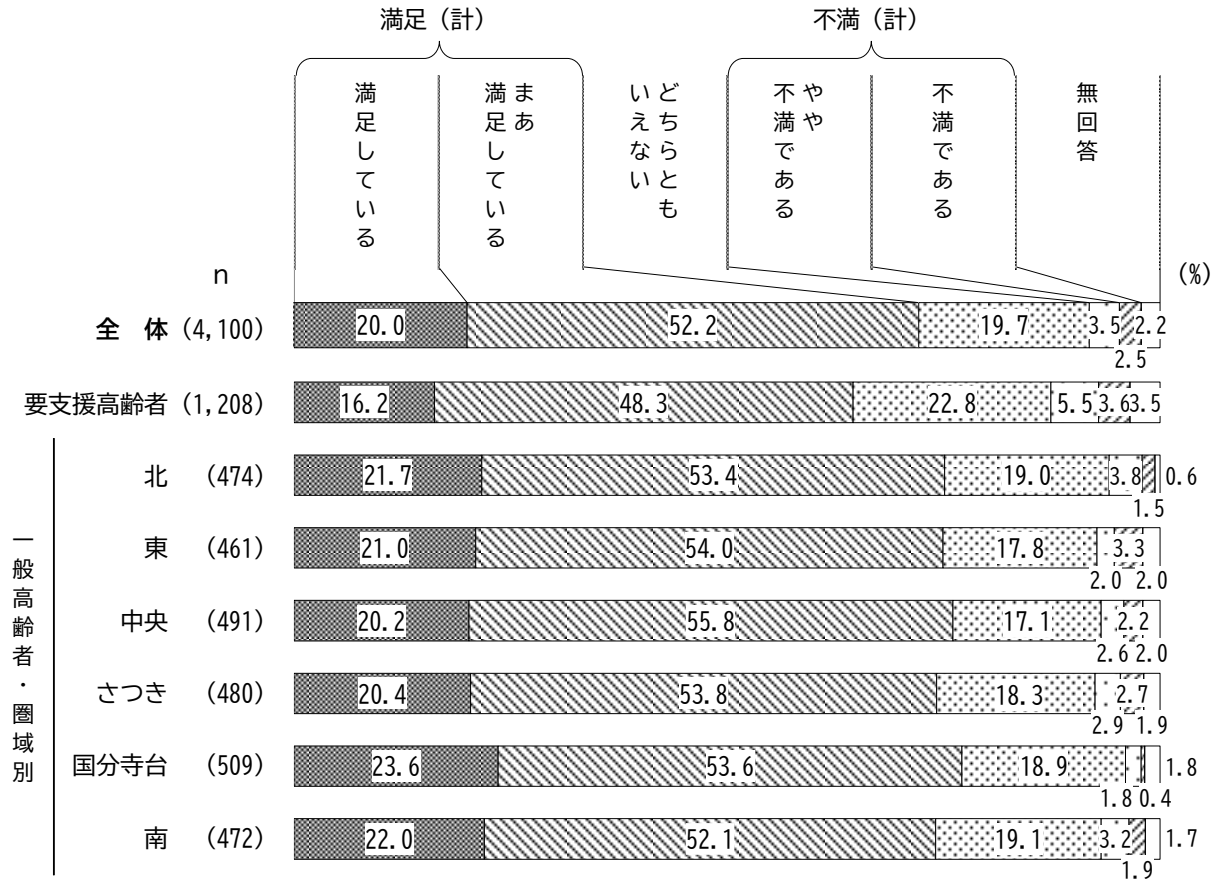
家族構成別にみると、1人暮らしでは「自分の健康に関すること」、「自分が認知症になること」、「住まいに関すること」の割合が他の家族構成に比べて高く、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では、「経済的なこと」の割合が他の家族構成に比べて高い。

		調査数（n）	自分の健康に関すること	自分が認知症になること	家族の健康に関すること	経済的なこと	家族が認知症になること	将来、一人で生活することになったときのこと	住まいに関すること	お金の管理のこと	何かあったときにどこへ相談していいかわからない	頼れる親族・知人がいないこと	家族との不和	近所との付き合い	その他	特に心配していることはない	無回答
単位：%																	
全体		4,100	65.1	41.0	40.3	32.7	14.2	12.8	6.5	6.0	5.4	2.4	1.7	1.7	0.9	6.4	1.8
家族構成別	1人暮らし	920	72.7	49.3	11.7	33.7	0.9	6.4	12.2	7.9	8.7	5.7	2.0	2.7	1.4	5.4	2.5
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	1,616	60.8	35.9	53.8	30.4	22.0	22.3	3.9	4.0	4.9	1.7	1.2	1.1	0.6	6.1	1.7
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	163	63.8	34.4	47.9	41.7	17.8	15.3	6.1	6.1	2.5	0.6	0.6	1.2	0.6	5.5	0.6
	息子・娘との2世帯	685	65.8	42.2	42.6	31.5	14.7	4.4	4.4	8.5	4.4	0.7	1.5	2.3	0.4	8.3	1.8
	その他	665	65.1	40.9	42.3	36.7	11.7	6.6	7.7	5.4	3.6	1.7	2.7	1.5	1.4	6.9	1.4

(9) 現在の生活の満足度

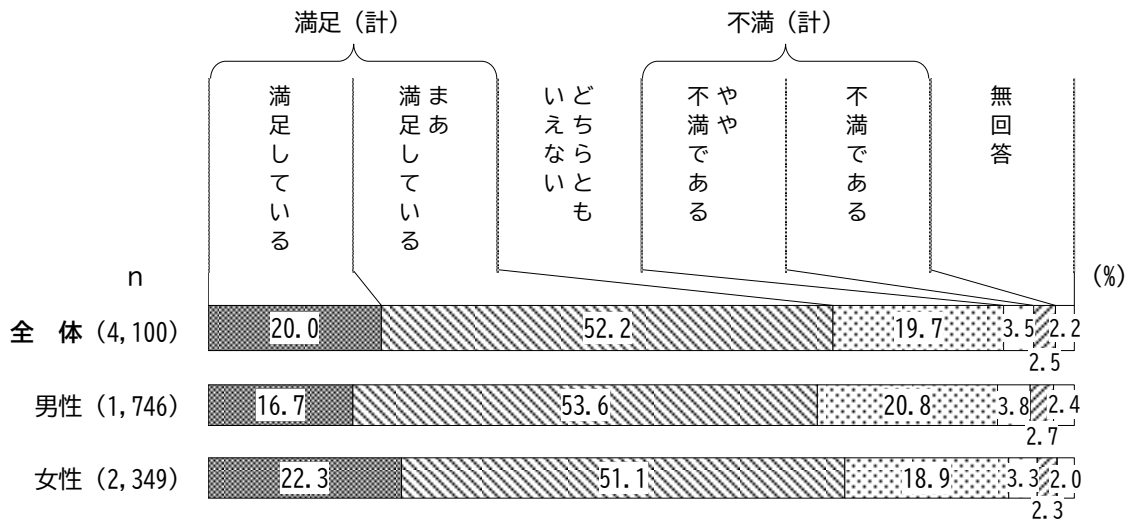
<現在の生活の満足度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では『満足（計）』の割合が64.5%で、一般高齢者ではすべての圏域で『満足（計）』が70%台と、一般高齢者の方が満足度の割合が高い。



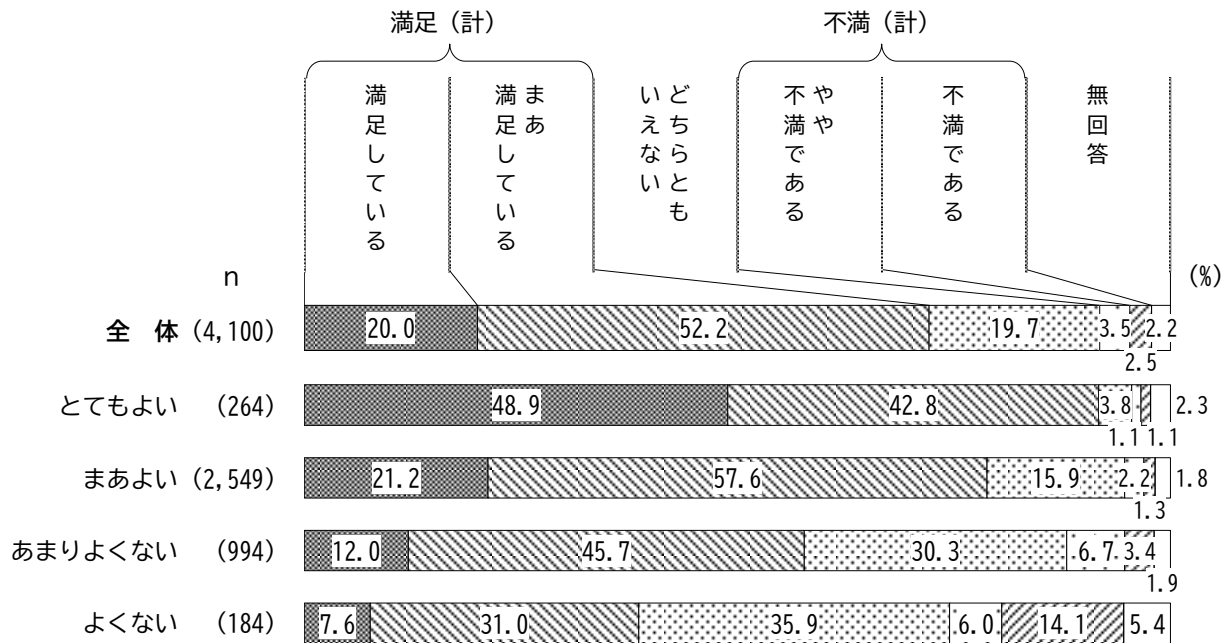
<現在の生活の満足度／性別>

性別にみると、女性では『満足（計）』の割合が73.4%、男性では70.3%で、女性の方が割合がやや高い。



<現在の生活の満足度／健康状態別>

健康状態別にみると、健康状態がよいほど『満足 (計)』の割合が高くなり、健康状態が「とてもよい」では『満足 (計)』が91.7%となっている。

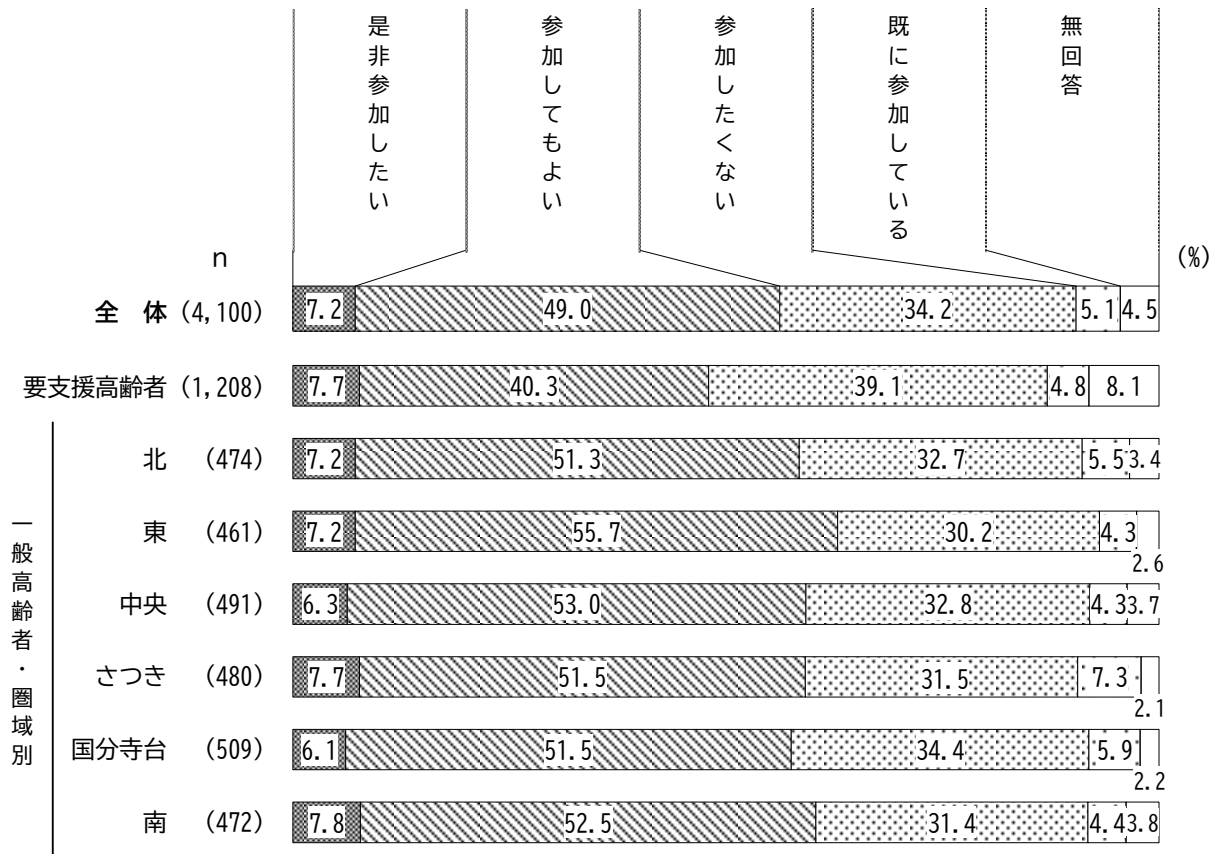


5. 地域での活動

(1) 地域づくりの参加意向：参加者として

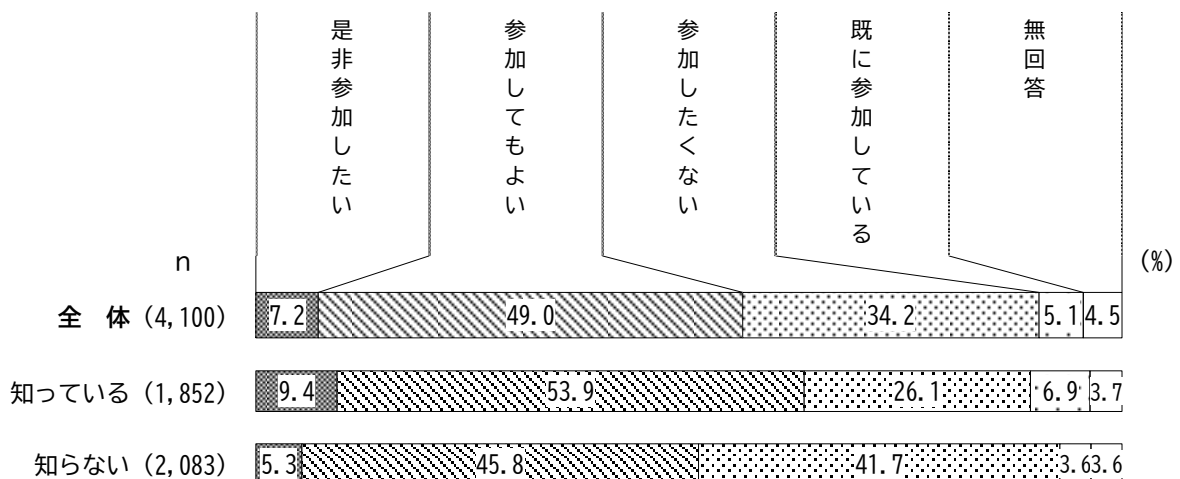
<地域づくりの参加意向：参加者として／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「参加してもよい」が40.3%、一般高齢者ではすべての年齢で50%台となっており、一般高齢者の方が「参加してもよい」の割合が高くなっている。



<地域づくりの参加意向：参加者として／フレイルの認知度別>

フレイルの認知度別にみると、フレイルを知っているでは「参加してもよい」が53.9%で、知らない(45.8%)よりも8.1ポイント高くなっている。

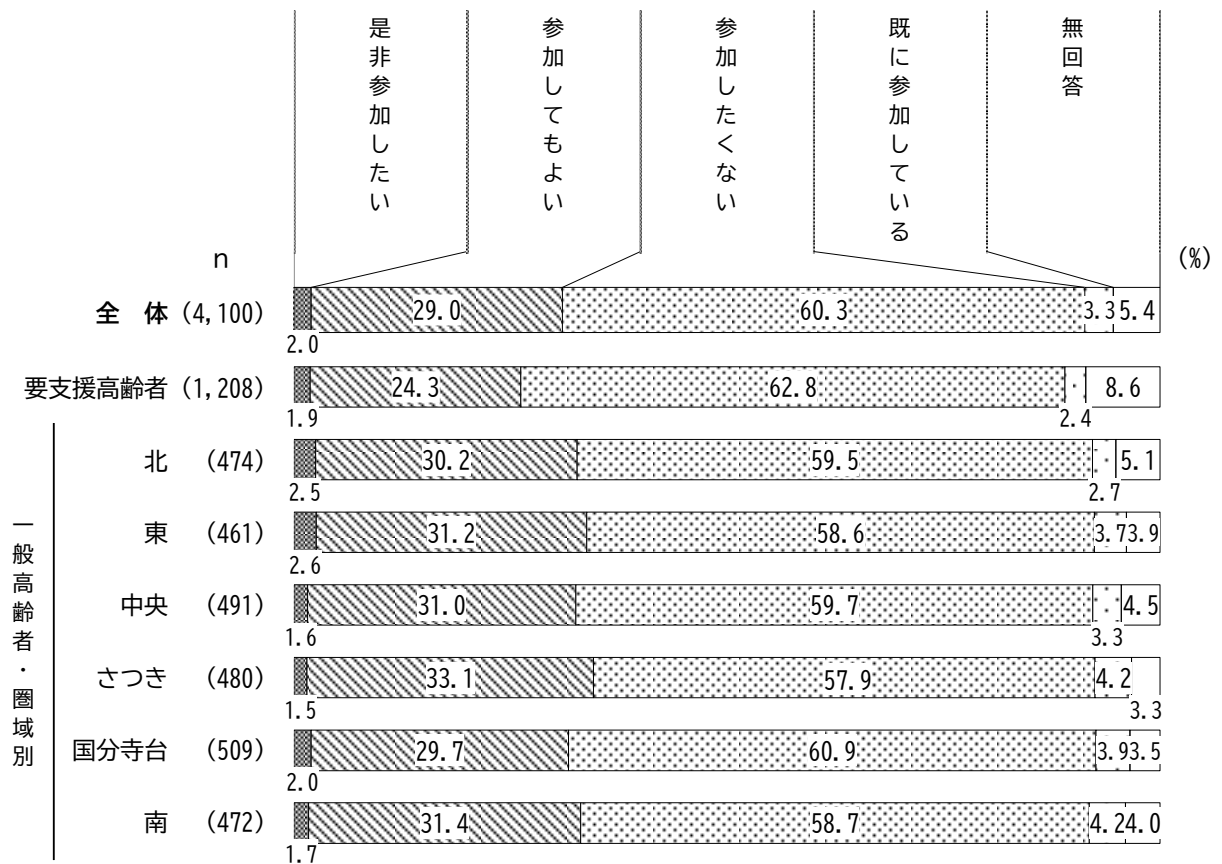


(2) 地域づくりの参加意向：企画・運営（お世話役）として

<地域づくりの参加意向：企画・運営（お世話役）として／

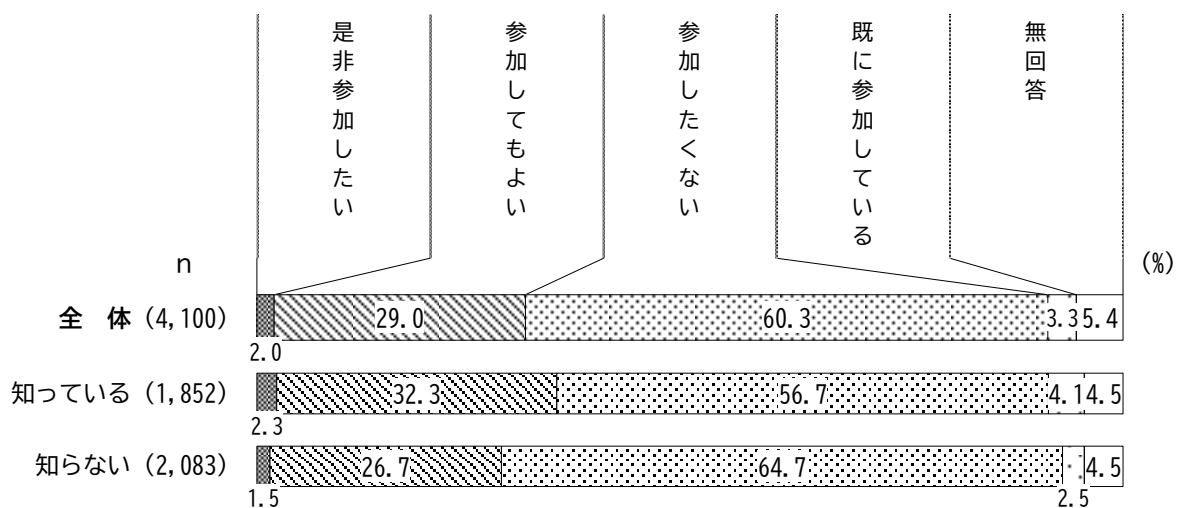
全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者および一般高齢者のすべての圏域で「参加してもよい」は20～30%台となっている。



<地域づくりの参加意向：企画・運営（お世話役）として／フレイルの認知度別>

フレイルの認知度別にみると、フレイルを知っているでは「参加してもよい」が32.3%で、知らない（26.7%）よりも5.6ポイント高くなっている。



6. たすけあい

(1) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

<心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者は「配偶者」が32.6%、「友人」が35.0%で一般高齢者よりも割合が低い。

<心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人/性別>

性別にみると、「配偶者」以外は女性の方が割合が高く、特に「友人」は女性が男性よりも28ポイント高い。また、男性では「そのような人はいない」が10.5%で女性よりも7.8ポイント高い。

<心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人/家族構成別>

家族構成別にみると、1人暮らしでは「友人」が最も多く、次いで「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」となっている。また、「そのような人はいない」(14.1%)の割合は他の家族構成に比べて高い。

夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上・未満)では、いずれも「配偶者」が80%台と最も高くなっている。

		調査数(n)	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
単位：%											
全体		4,100	50.4	42.9	39.8	29.5	20.5	10.9	2.8	6.0	1.4
要支援高齢者		1,208	32.6	35.0	41.7	27.6	22.7	13.2	3.8	6.9	1.9
一般高齢者・圏域別	北	474	59.3	45.1	42.2	31.0	14.1	10.3	1.7	5.5	1.3
	東	461	54.9	47.5	37.5	29.9	20.2	8.5	3.0	5.9	0.7
	中央	491	57.8	43.8	36.0	28.9	16.7	9.8	2.4	7.5	1.6
	さつき	480	58.8	47.9	42.3	31.0	20.4	7.7	2.7	5.8	1.3
	国分寺台	509	59.5	45.8	42.2	26.3	22.4	11.2	2.0	5.3	0.6
	南	472	56.1	47.0	33.3	34.7	22.9	12.3	2.3	4.2	1.7
性別	男性	1,746	66.6	26.8	30.4	20.2	14.4	5.6	2.6	10.5	1.2
	女性	2,349	38.3	54.8	46.7	36.4	24.9	14.9	2.9	2.7	1.5
家族構成別	1人暮らし	920	2.1	51.8	47.3	35.0	0.8	15.9	3.6	14.1	1.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	1,616	81.7	41.9	47.0	25.9	2.4	10.1	1.7	3.2	0.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	163	82.2	33.1	31.3	20.9	5.5	7.4	4.3	3.7	1.8
	息子・娘との2世帯	685	42.3	36.4	28.5	30.7	63.6	8.6	2.0	3.1	1.3
	その他	665	42.7	42.0	26.8	31.7	48.4	9.3	4.8	5.6	2.7

(2) 心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

<心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者は「配偶者」が30.9%、「友人」が35.8%で一般高齢者よりも割合が低い。

		調査数 (n)	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
単位：%											
全体		4,100	48.3	43.6	34.7	29.2	17.0	13.1	2.0	8.2	2.6
要支援高齢者		1,208	30.9	35.8	30.5	24.7	16.2	14.3	1.7	11.6	4.7
一般 高齢者 ・ 圏域別	北	474	57.4	45.8	40.5	30.8	13.5	12.4	1.5	6.5	2.1
	東	461	54.4	48.4	35.1	31.2	15.0	11.3	1.5	7.4	2.2
	中央	491	55.6	45.0	37.3	30.1	14.7	10.8	2.9	6.9	1.8
	さつき	480	54.6	48.3	39.0	32.5	18.3	11.3	2.9	8.8	1.9
	国分寺台	509	58.2	46.2	37.5	28.3	21.8	15.1	1.6	5.1	0.8
	南	472	53.0	47.5	29.4	33.9	19.9	15.0	1.9	6.4	1.3

(3) 看病や世話をしてくれる人

<看病や世話をしてくれる人／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「配偶者」が35.8%で一般高齢者よりも割合が低い、「別居の子ども」は44.4%で一般高齢者よりも割合が高い。一般高齢者を圏域別にみると、東、さつき、国分寺台、南では「同居の子ども」が20%台で他の圏域に比べると割合が高い。

<看病や世話をしてくれる人／性別>

性別にみると、「配偶者」以外は女性の方が割合が高く、特に「別居の子ども」「同居の子ども」は女性の方が10ポイント以上高い。

		調査数 (n)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
単位：%											
全体		4,100	55.5	37.1	25.3	11.3	5.4	2.6	2.0	8.0	1.3
要支援高齢者		1,208	35.8	44.4	29.1	12.3	5.7	3.1	2.6	9.0	2.2
一般 高齢者 ・ 圏域別	北	474	63.9	31.6	19.0	10.8	4.9	2.1	1.7	7.6	0.8
	東	461	62.9	35.1	25.6	12.1	5.0	2.2	2.0	7.8	0.9
	中央	491	64.0	31.4	19.8	10.4	5.1	2.6	1.4	7.9	1.0
	さつき	480	63.1	38.5	24.2	11.3	7.3	2.9	2.7	7.5	1.3
	国分寺台	509	65.8	35.2	25.9	9.2	4.1	2.2	1.2	8.1	0.4
	南	472	62.1	32.8	27.1	11.7	5.3	2.3	1.9	7.0	1.5
性別	男性	1,746	71.5	29.7	18.0	8.6	2.3	0.5	1.2	9.9	0.9
	女性	2,349	43.5	42.7	30.6	13.3	7.7	4.2	2.6	6.7	1.7

(4) 看病や世話をしている人

<看病や世話をしている人／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「配偶者」が40.3%、「別居の子ども」が18.5%で一般高齢者よりも割合が低い。一般高齢者を圏域別にみると、東、さつき、国分寺台、南で「同居の子ども」が20%台で他の圏域に比べると割合が高い。

		調査数 (n)	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
単位：%											
全体		4,100	58.2	26.9	21.8	16.2	7.0	3.5	2.4	15.4	3.3
要支援高齢者		1,208	40.3	18.5	18.2	11.3	6.0	3.1	4.2	24.9	7.0
一般 高齢者 ・ 圏域別	北	474	68.1	31.0	18.6	17.1	5.7	3.8	1.3	11.0	2.3
	東	461	62.0	31.9	24.7	20.2	10.4	3.0	1.7	12.1	2.0
	中央	491	65.6	28.5	19.6	16.3	5.7	3.3	1.4	12.8	1.8
	さつき	480	65.8	32.7	23.3	18.5	9.8	3.1	1.7	11.5	1.3
	国分寺台	509	68.6	31.0	25.5	17.1	7.3	3.9	1.6	8.6	1.0
	南	472	63.3	27.1	27.8	20.3	6.4	4.4	1.9	12.5	2.5

(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

<家族や友人・知人以外の相談相手／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者は「地域包括支援センター・ケアマネジャー」が62.6%で一般高齢者に比べると割合が高いが、「そのような人はいない」は17.4%で一般高齢者よりも割合が低い。一般高齢者を圏域にみると、国分寺台では「医師・歯科医師・看護師」が31.0%で他の圏域に比べて割合が高い。

<家族や友人・知人以外の相談相手／性別>

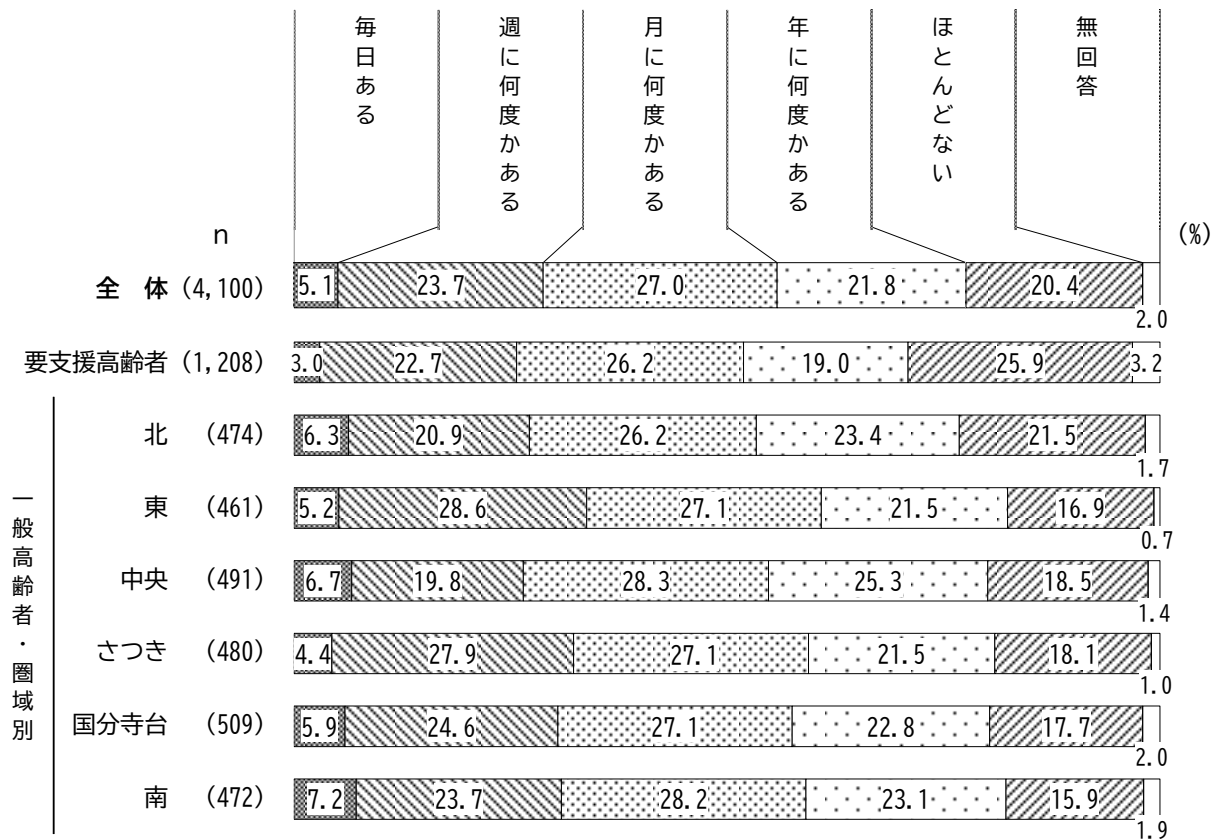
性別にみると、男性では「医師・歯科医師・看護師」が女性よりも5.4ポイント、「そのような人はいない」が7.3ポイント高い。一方、女性は「地域包括支援センター・ケアマネジャー」が男性よりも12.7ポイント高い。

		調査数 (n)	地域包括支援センター・ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	役所	民生委員・主任児童委員	生活支援コーディネーター	その他	そのような人はいない	無回答
単位：%										
全体		4,100	31.5	25.4	19.2	11.5	1.7	3.8	34.6	5.2
要支援高齢者		1,208	62.6	22.8	13.8	16.1	2.2	3.2	17.4	5.0
一般高齢者・圏域別	北	474	16.5	23.4	19.2	10.1	1.5	3.0	45.4	4.6
	東	461	19.1	26.7	18.7	10.4	2.0	5.4	41.9	5.4
	中央	491	16.5	24.8	23.6	9.0	0.2	2.0	43.8	4.7
	さつき	480	22.3	26.9	22.5	9.6	2.1	4.4	38.5	6.5
	国分寺台	509	20.6	31.0	22.4	9.8	1.8	3.5	40.7	4.5
	南	472	16.3	25.8	22.0	8.9	1.3	6.1	40.7	5.7
性別	男性	1,746	24.3	28.5	20.7	10.6	2.0	3.2	38.8	3.7
	女性	2,349	37.0	23.1	18.1	12.2	1.4	4.3	31.5	6.3

(6) 友人・知人と会う頻度

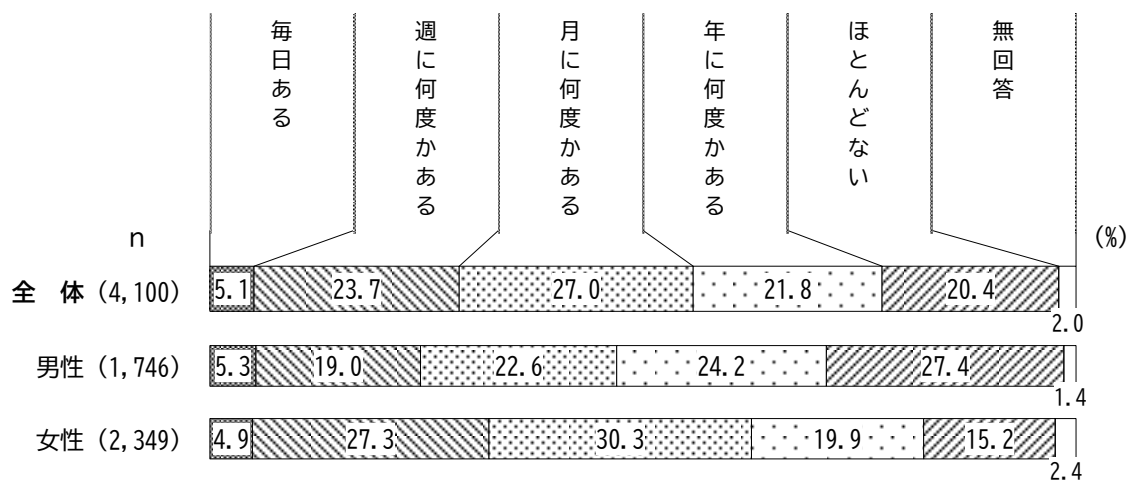
<友人・知人と会う頻度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者は「ほとんどない」が25.9%で一般高齢者に比べると割合が高い。一般高齢者を圏域別にみると、北で「ほとんどない」が21.5%で、他の圏域に比べて割合がやや高い。



<友人・知人と会う頻度／性別>

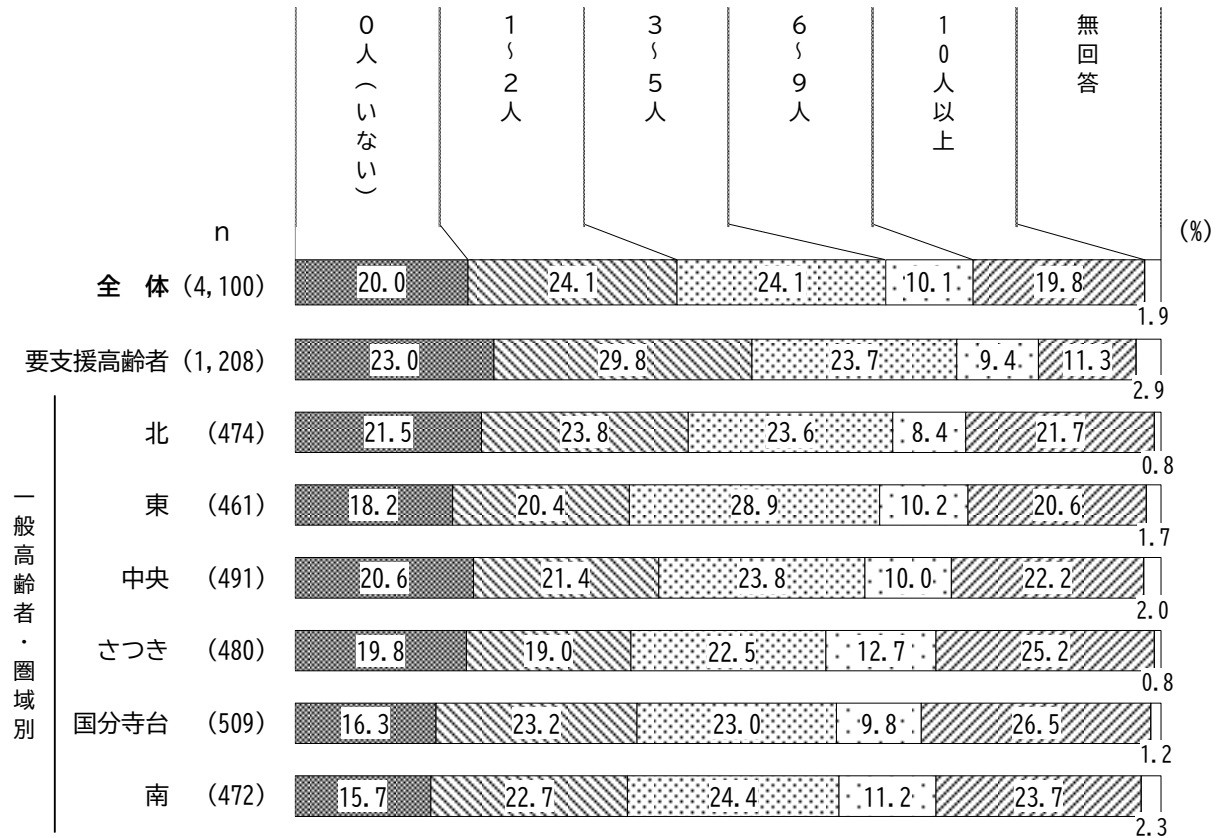
性別にみると、女性は「週に何度かある」、「月に何度かある」の割合が男性よりも7ポイント以上高い。一方、男性は「ほとんどない」が27.4%で女性よりも12.2ポイント高い。



(7) 1か月に会った友人・知人の数

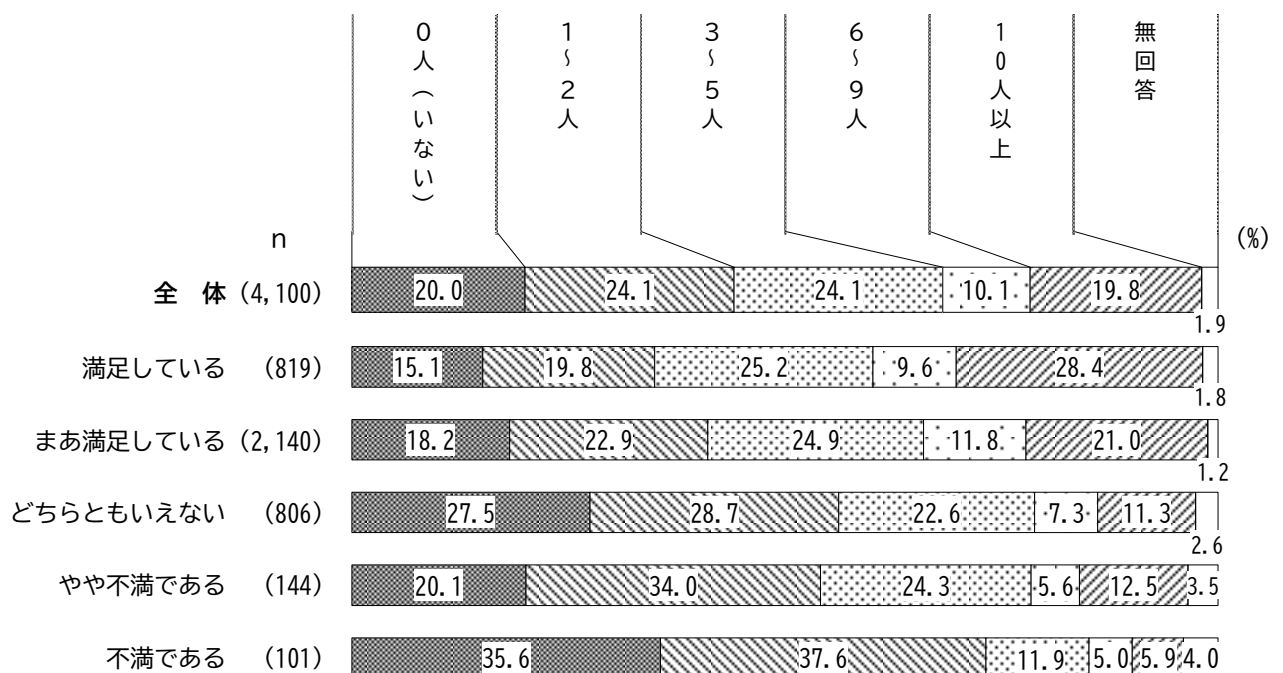
< 1か月に会った友人・知人の数/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別) >

要支援高齢者では「1~2人」が29.8%で一般高齢者に比べて割合が高い。一般高齢者ではすべての圏域で「10人以上」が20%台で要支援高齢者よりも割合が高い。



< 1か月に会った友人・知人の数/現在の生活の満足度別 >

現在の生活の満足度別にみると、現在の生活の満足度が低いほど「0人(いない)」、「1~2人」の割合がおおむね高くなる。



(8) よく会う友人・知人との関係

<よく会う友人・知人との関係/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「近所・同じ地域の人」が50.3%で一般高齢者に比べると割合が高い。一方、「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」「学生時代の友人」は一般高齢者の方が割合が高い。

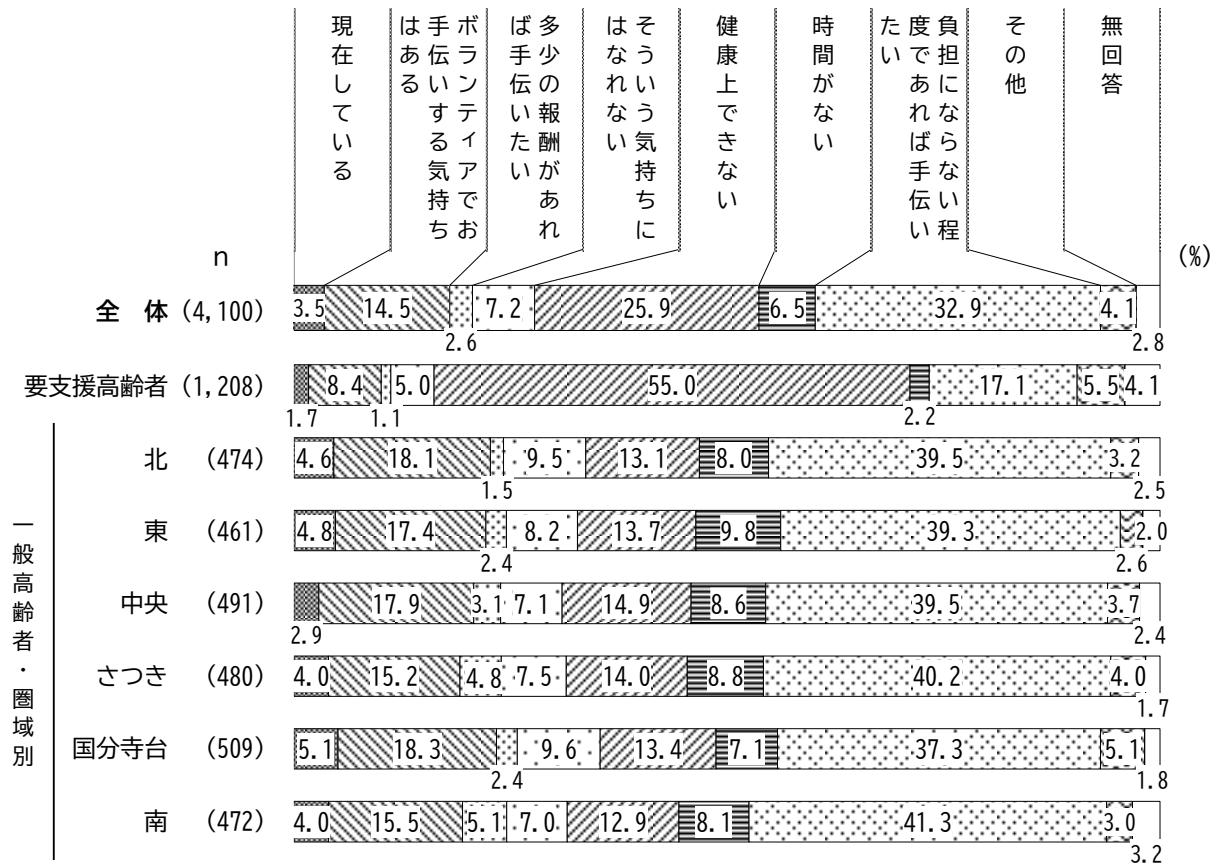
		調査数 (n)	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	ボランティア等の活動での友人	幼なじみ	その他	いない	無回答
単位：%											
全体		4,100	43.7	34.4	28.8	14.6	7.7	4.8	5.5	12.9	3.2
要支援高齢者		1,208	50.3	28.5	13.4	7.3	6.5	4.0	7.1	15.6	5.0
一般高齢者・圏域別	北	474	39.2	33.8	32.9	16.9	8.0	5.1	6.3	13.1	4.0
	東	461	39.9	33.8	36.2	17.8	8.2	5.6	5.6	10.6	2.4
	中央	491	36.5	37.3	35.4	20.8	6.5	5.3	4.3	11.4	3.5
	さつき	480	41.5	39.4	34.2	19.0	9.0	3.5	5.4	13.3	1.5
	国分寺台	509	42.8	41.1	32.8	17.9	10.4	5.1	3.3	11.2	1.6
	南	472	45.3	35.6	39.8	13.8	6.8	6.4	4.0	10.8	2.3

(9) 地域で困っている高齢者がいた時のお手伝い

<地域で困っている高齢者がいた時のお手伝い/>

全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「健康上できない」が55.0%で半数以上を占めている。一般高齢者ではいずれの圏域も「負担にならない程度であれば手伝いたい」が30~40%台となっている。

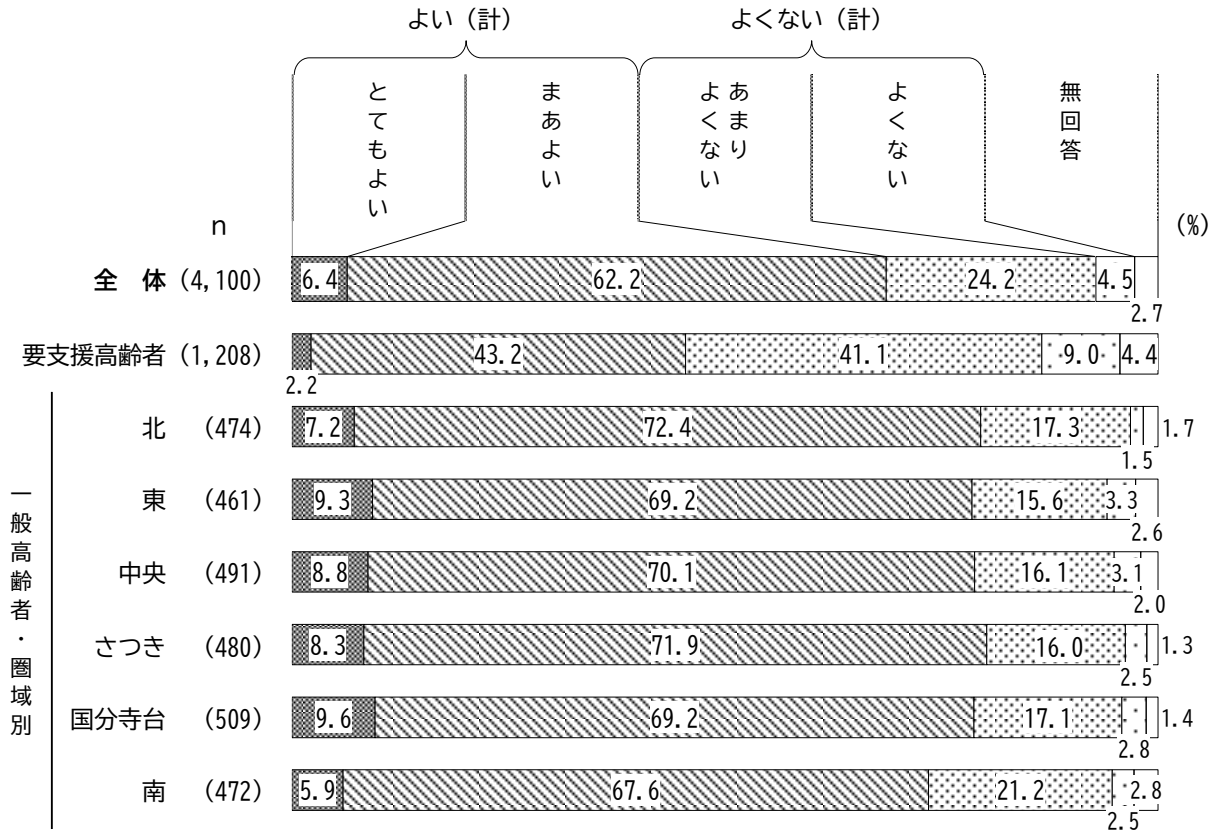


7. 健康

(1) 健康状態

<健康状態／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では健康状態が『よい』は45.4%で一般高齢者に比べると割合が低い。一般高齢者を圏域別にみると、南では健康状態が『よくない』が23.7%と他の圏域に比べて割合が高い。



(2) 幸福度

【「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点で採点】

<幸福度/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

幸福度の平均点は、要支援高齢者では6.5点、一般高齢者ではすべての圏域で7点台となっている。

<幸福度/性別>

性別にみると、幸福度の平均点は男性で6.7点、女性で7.1点と、女性の方が0.4点高くなっている。

<幸福度/外出頻度別>

外出頻度別にみると、外出頻度が多いほど幸福度の平均点が高くなり、《ほとんど外出しない》では6.4点、《週5回以上》では7.3点と0.9点の差がある。

<幸福度/認知症相談窓口の認知度別>

認知症相談窓口の認知度別にみると、幸福度の平均点は、認知症の相談窓口を知っている人で7.2点、知らない人で6.9点と0.3点の差がある。

<幸福度/高齢者に関する相談窓口の認知度別>※知っている/知らない2区分

高齢者に関する相談窓口の認知度別にみると、幸福度の平均点は、高齢者に関する相談窓口を1つでも知っている人で7.0点、1つも知らない人で6.7点と0.3点の差がある。認知症相談窓口の認知度別と同様に、相談窓口を知っている人の方が幸福度の平均点がやや高い。

		調査数 (n)	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答	平均点
単位：%															
全体		4,100	0.7	0.3	0.9	2.7	3.1	20.3	9.2	16.0	23.7	8.5	11.1	3.7	6.9
要支援高齢者		1,208	1.2	0.8	1.0	3.9	3.7	26.3	9.1	13.7	18.5	5.6	10.1	6.0	6.5
一般高齢者・ 圏域別	北	474	0.2	0.2	0.6	2.5	2.3	21.1	8.4	17.1	26.8	9.3	9.7	1.7	7.0
	東	461	1.3	0.4	1.3	1.5	2.4	15.4	10.0	17.4	26.9	8.7	11.9	2.8	7.1
	中央	491	0.4	0.2	0.6	2.6	2.2	17.5	9.6	17.5	23.8	12.8	9.4	3.3	7.1
	さつき	480	0.4	-	1.0	2.5	2.9	18.3	9.0	16.5	26.0	8.8	12.5	2.1	7.1
	国分寺台	509	-	-	0.6	2.6	2.9	16.1	8.4	15.9	27.5	9.4	13.9	2.6	7.3
	南	472	0.4	-	0.8	1.3	4.2	18.2	9.5	17.2	23.9	8.9	11.7	3.8	7.1
性別	男性	1,746	0.6	0.4	1.2	3.4	4.0	22.1	10.1	16.9	22.9	6.8	8.7	3.0	6.7
	女性	2,349	0.7	0.3	0.6	2.2	2.5	18.9	8.4	15.3	24.3	9.7	12.9	4.2	7.1
外出状況の 頻度別	ほとんど外出しない	275	1.5	1.1	2.5	6.9	2.5	27.3	6.5	12.0	16.4	3.6	13.8	5.8	6.4
	週1回	589	1.4	0.8	1.0	3.2	4.1	25.1	9.5	14.8	20.5	5.1	10.4	4.1	6.6
	週2～4回	1,895	0.4	0.2	0.8	2.3	3.5	21.6	10.0	16.4	23.7	7.8	9.6	3.9	6.9
	週5回以上	1,325	0.5	0.2	0.5	1.8	2.2	14.8	8.5	16.8	26.7	12.2	13.1	2.7	7.3
認知症相談窓 口の認知度別	はい	891	0.6	-	0.6	2.5	2.6	16.8	8.6	17.5	24.2	10.0	13.4	3.3	7.2
	いいえ	3,123	0.7	0.4	0.9	2.7	3.2	21.2	9.4	15.7	23.9	8.2	10.5	3.2	6.9
高齢者相談窓 口の認知度別	1つでも知っている	3,274	0.5	0.4	0.6	2.4	3.0	19.5	9.3	16.0	24.7	8.8	11.2	3.5	7.0
	1つも知らない	642	1.2	0.2	1.6	3.7	3.4	24.1	9.0	16.5	20.7	7.3	10.3	1.9	6.7

<うつ傾向のリスク>

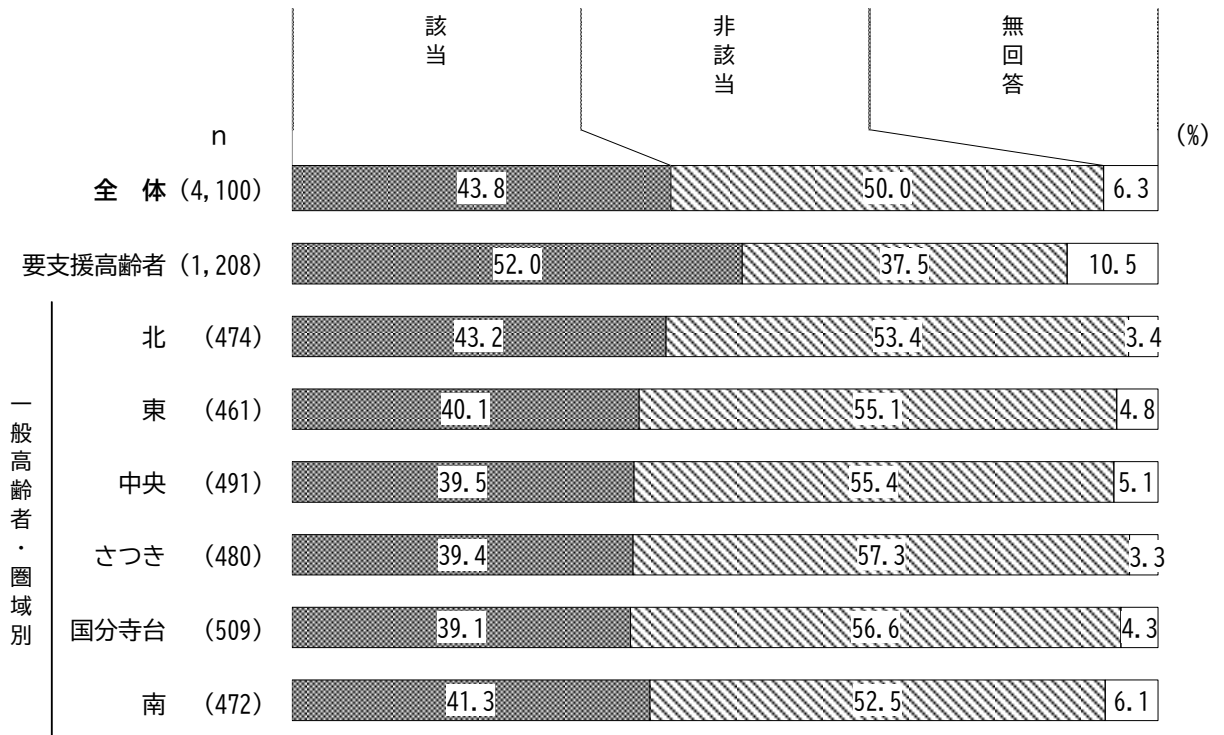
下記の2項目中、どちらかにでも該当する場合、『うつ傾向のリスクがある高齢者』としています。

- ・この1か月間に、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりしたことがある
- ・この1か月間に、どうしても物事に興味がわからない、心から楽しめない感じがある

※参考：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き（令和7年8月）

<うつ傾向のリスク／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

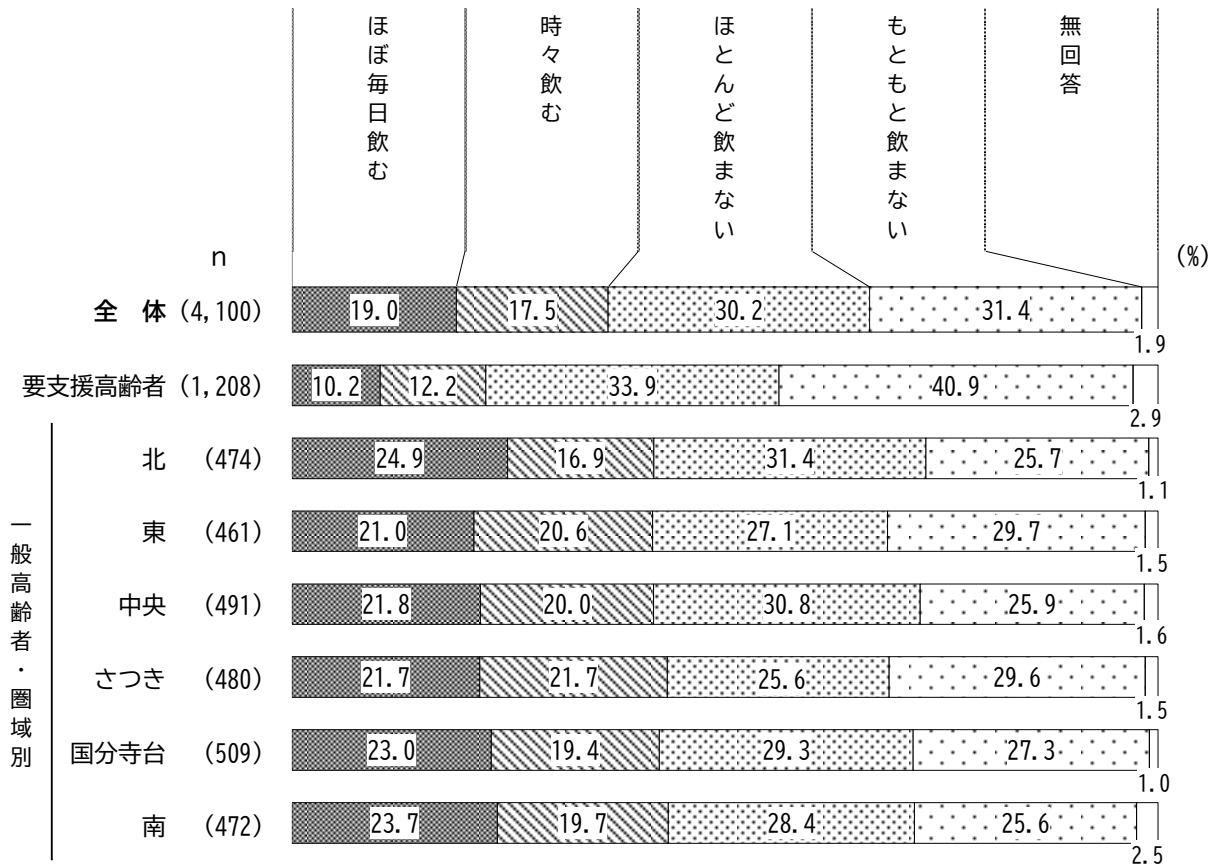
要支援高齢者、一般高齢者ともに「該当」が30～50%台となっている。



(3) 飲酒頻度

<飲酒頻度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

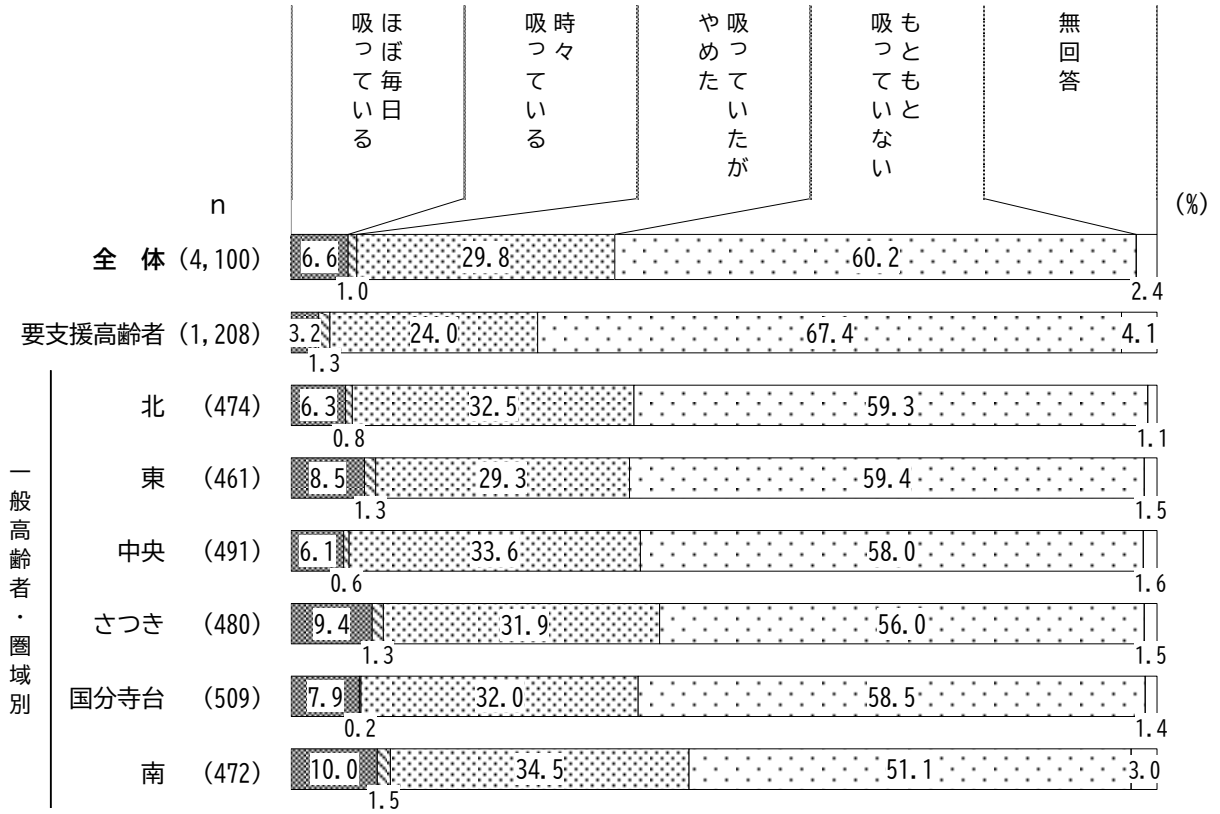
要支援高齢者では「ほぼ毎日飲む」が10.2%で、一般高齢者はすべての圏域で「ほぼ毎日飲む」が20%台と、一般高齢者の方が割合が高くなっている。一方、「もともと飲まない」は要支援高齢者で40.9%で、一般高齢者はすべての圏域で20%台と、要支援高齢者の方が割合が高い。



(4) 喫煙頻度

<喫煙頻度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「吸っていたがやめた」が24.0%で、一般高齢者はいずれの圏域も20~30%台と、一般高齢者の方が割合が高い。一方、「もともと吸っていない」は要支援高齢者で67.4%で、一般高齢者はずべての圏域で50%台と、要支援高齢者の方が割合が高い。



(5) 治療中や後遺症のある病気

<治療中や後遺症のある病気/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者と一般高齢者を比べると、要支援高齢者の方が割合が高い項目が多く、「ない」は一般高齢者の方が割合が高い。

		調査数 (n)	高血圧	目の病気	高脂血症 (脂質異常)	糖尿病	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	耳の病気	外傷 (転倒・骨折等)
単位：%												
全体		4,100	43.9	20.0	16.0	15.0	15.0	11.8	9.3	7.9	6.9	5.9
要支援高齢者		1,208	50.2	25.8	12.4	17.2	24.8	16.6	11.8	11.8	10.7	12.0
一般高齢者・圏域別	北	474	42.0	18.8	16.5	13.9	12.0	10.8	9.7	6.1	4.2	4.2
	東	461	43.4	20.8	19.7	16.1	9.3	7.4	7.8	5.4	5.2	3.7
	中央	491	38.5	17.1	14.9	14.5	10.4	8.8	7.3	6.7	6.3	3.1
	さつき	480	39.0	16.5	17.9	14.6	12.7	10.0	7.3	8.1	5.8	2.7
	国分寺台	509	43.0	16.9	18.5	11.8	11.2	11.8	8.4	5.7	3.9	4.5
	南	472	41.5	15.5	17.4	14.2	9.7	10.0	8.9	5.9	6.6	1.7

		調査数 (n)	がん (悪性新生物)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	その他	ない	無回答
単位：%												
全体		4,100	5.8	5.7	5.3	2.4	1.5	1.3	0.9	9.1	12.2	4.5
要支援高齢者		1,208	5.7	7.9	10.7	2.9	2.6	2.5	2.2	11.1	2.7	4.6
一般高齢者・圏域別	北	474	5.5	4.9	3.2	2.5	0.8	0.2	0.6	8.4	17.5	3.6
	東	461	5.2	3.5	3.5	2.8	0.9	2.4	0.4	7.8	17.4	3.7
	中央	491	6.3	5.7	3.7	2.0	1.0	0.4	0.2	7.1	17.5	4.9
	さつき	480	6.3	4.0	2.5	2.7	1.7	1.3	0.2	8.3	16.0	4.2
	国分寺台	509	5.3	4.9	3.3	1.4	0.6	0.2	0.6	9.0	15.3	4.3
	南	472	5.9	5.7	2.1	1.5	0.8	0.8	0.2	9.3	13.3	6.1

8. 介護予防・認知症施策

(1) 介護予防への意識

<介護予防への意識／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「意識して取り組んでいる」が73.5%で、一般高齢者に比べると割合が高い。一般高齢者を圏域別にみると、北、東、南で「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」の割合が他の3圏域に比べるとやや高い。

<介護予防への意識／性別>

性別にみると、女性では「意識して取り組んでいる」が71.9%で男性よりも10.8ポイント高い。一方、男性では「もう少し歳をとってから取り組みたい」が8.6%で女性よりも5.0ポイント高い。

単位：%		調査数（n）	意識して取り組んでいる	興味があるが、具体的な取り組み方がわからない	体力が落ちてきたら取り組みたい	きっかけがあれば取り組みたい	もう少し歳をとってから取り組みたい	その他	興味・関心がない	無回答
全体		4,100	67.2	22.6	9.3	7.9	5.8	2.5	3.4	2.7
要支援高齢者		1,208	73.5	22.3	6.4	8.1	2.2	3.7	3.6	4.2
一般高齢者・圏域別	北	474	63.1	25.3	10.1	6.3	8.6	1.7	3.0	2.7
	東	461	61.8	25.4	11.5	6.9	8.0	1.7	2.8	1.7
	中央	491	64.8	21.4	10.2	9.0	7.3	1.6	4.5	1.8
	さつき	480	67.1	20.8	11.3	7.5	6.7	2.5	2.9	2.1
	国分寺台	509	69.4	19.3	8.8	7.7	6.9	2.2	2.8	1.4
	南	472	61.2	24.4	11.7	9.5	5.9	1.9	4.0	2.5
性別	男性	1,746	61.1	23.9	12.0	7.5	8.6	1.8	4.6	2.8
	女性	2,349	71.9	21.6	7.3	8.2	3.6	2.9	2.6	2.6

第3章 分析編 (①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

<介護予防への意識／幸福度別>

幸福度別にみると、幸福度0点～6点では「意識して取り組んでいる」が50～60%台となっているが、7点以上では70%台となっており、幸福度が高いほど介護予防に取り組む割合がおおむね高くなる。一方、幸福度が低いほど「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」の割合がおおむね高くなる。

幸福度		調査数 (n)	意識して取り組んでいる	興味があるが、具体的な取り組み方がわからない	体力が落ちてきたら取り組みたい	きっかけがあれば取り組みたい	もう少し歳をとってから取り組みたい	その他	興味・関心がない	無回答
	0点 (とても不幸)	27	63.0	18.5	14.8	18.5	14.8	7.4	3.7	-
	1点	14	50.0	42.9	7.1	-	14.3	14.3	-	7.1
	2点	36	55.6	27.8	5.6	5.6	2.8	8.3	13.9	2.8
	3点	110	59.1	31.8	13.6	7.3	4.5	4.5	6.4	0.9
	4点	127	59.8	35.4	8.7	12.6	5.5	4.7	0.8	1.6
	5点	831	60.4	30.3	10.1	9.5	4.6	2.4	5.1	2.2
	6点	376	66.0	26.6	9.6	8.8	4.8	3.5	2.7	0.5
	7点	654	70.3	21.1	9.3	8.4	5.7	2.1	3.5	0.6
	8点	972	73.7	18.6	9.5	7.0	6.8	1.6	2.8	0.2
	9点	348	71.0	18.1	9.2	6.6	8.3	1.4	2.3	0.6
	10点 (とても幸せ)	455	74.5	16.5	7.9	5.7	5.3	2.4	2.9	1.8

(2) 介護予防として取り組んでいる内容

【(1)で「意識して取り組んでいる」の方のみ】

<介護予防として取り組んでいる内容／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている」が61.7%で最も多く、次いで「ウォーキングや体操など、定期的に体を動かしている」が60.8%となっている。一般高齢者ではすべての圏域で「ウォーキングや体操など、定期的に体を動かしている」が最も多くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、南で「口の中の健康を保つように心がけている」が40.1%で他の圏域に比べて割合が低い。

単位：%		調査数 (n)	ウォーキングや体操など、定期的に体を動かしている	食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている	口の中の健康を保つように心がけている	時間がある時にストレッチなどをして	人と話すようにしている	飲酒回数や飲酒量を減らしている (もしくは禁酒した)	喫煙回数や喫煙本数を減らしている (もしくは禁煙した)	その他	無回答
全体		2,756	72.0	66.7	46.2	46.1	43.4	9.0	6.1	4.9	0.6
要支援高齢者		888	60.8	61.7	43.1	43.2	44.1	7.9	5.3	5.9	0.9
一般高齢者・圏域別	北	299	79.6	69.6	50.2	47.8	42.5	11.0	6.4	5.7	0.3
	東	285	74.7	70.5	46.0	47.0	44.9	7.4	7.4	2.5	1.1
	中央	318	76.4	67.6	50.6	48.7	41.5	9.1	5.0	3.8	0.3
	さつき	322	78.3	71.1	49.4	50.0	41.3	9.0	8.1	6.2	0.3
	国分寺台	353	76.2	71.1	49.0	46.2	43.1	11.0	7.6	5.4	0.3
	南	289	78.5	64.4	40.1	45.3	45.3	9.7	3.8	2.8	0.3

(3) 介護予防や健康づくりに取り組むとして興味があること

<介護予防や健康づくりに取り組むとして興味があること/>

全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者、一般高齢者ともに「自宅で手軽にできる運動や健康づくり」が最も多くなっている。また、要支援高齢者では「転倒予防のための運動」が38.2%で一般高齢者に比べて割合が高い。

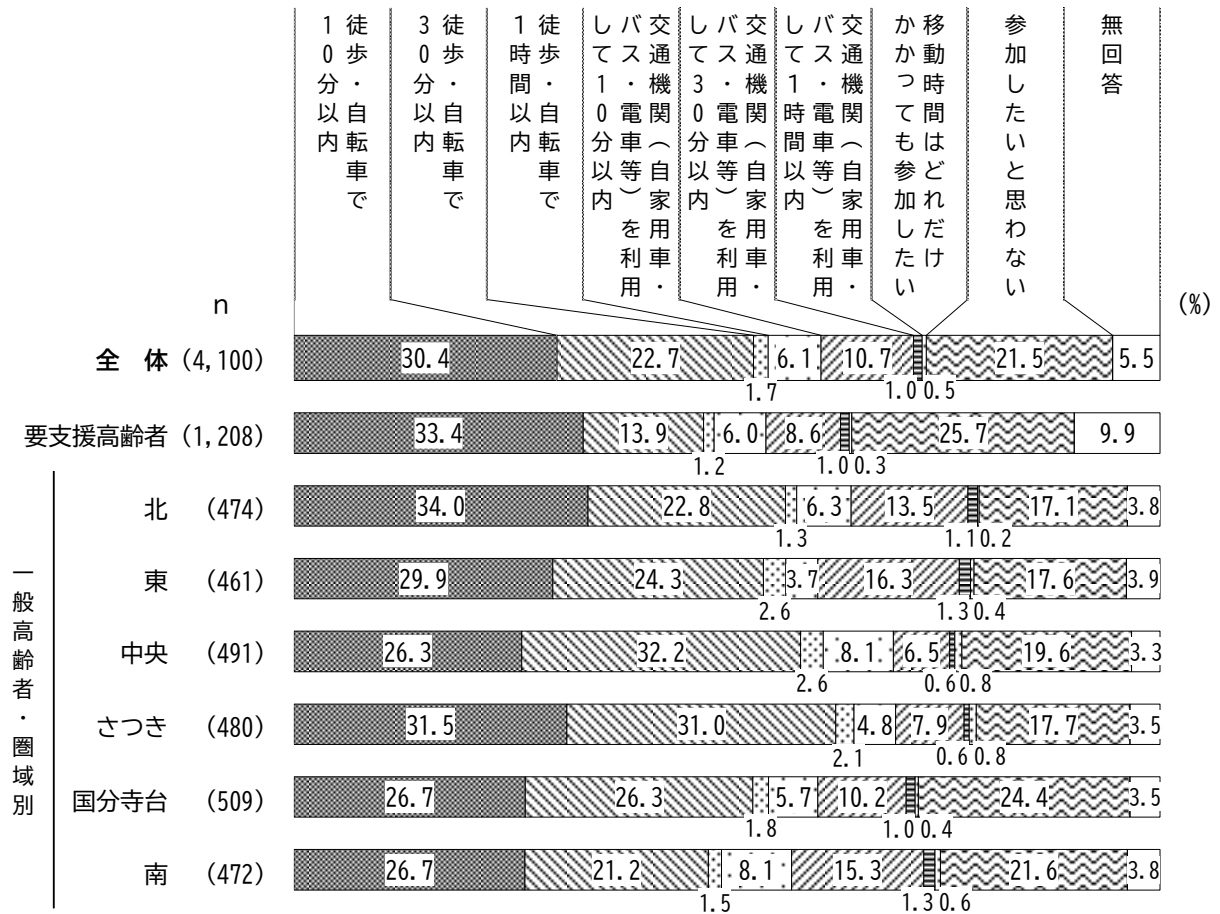
		調査数 (n)	自宅で手軽にできる運動や健康づくり	転倒予防のための運動	認知症予防についての学習	トレーニングマシンを使った運動	地域の住民主体の体操グループへの参加	バランスのよい食事をとるための栄養に関する講座への参加	加齢に関するテーマにした講演会への参加	歯の手入れに関する講座や教室への参加	自分で食事を続けられるよう、口や歯の手入れに関する講座や教室への参加	介護予防をテーマにした講演会への参加	地域のサロンに通う	支援を必要としている方や介護施設等へのボランティア活動	その他	特に取り組んでみたいものはない	無回答
単位：%																	
全体		4,100	67.4	32.7	22.6	16.6	13.6	13.6	9.1	7.5	7.1	6.8	3.0	2.8	10.0	4.8	
要支援高齢者		1,208	62.9	38.2	18.5	16.6	11.7	12.3	8.6	8.6	6.0	11.4	1.7	4.1	10.3	6.9	
一般高齢者・圏域別	北	474	70.3	31.2	20.7	17.7	13.3	13.5	11.2	8.6	7.4	4.6	3.4	1.5	9.1	4.4	
	東	461	68.1	31.9	27.3	16.5	15.4	19.1	9.1	7.8	8.2	5.2	4.1	2.0	9.5	3.5	
	中央	491	69.0	28.7	26.5	15.5	12.8	11.8	11.8	6.1	10.0	4.5	3.1	1.6	11.8	3.5	
	さつき	480	68.5	31.7	24.6	18.3	16.5	15.8	9.0	7.5	7.3	7.1	4.4	2.1	9.4	4.2	
	国分寺台	509	70.7	32.2	24.2	17.5	13.4	12.8	9.0	6.3	6.9	3.9	3.3	3.1	10.4	2.8	
	南	472	68.6	26.5	22.5	13.8	15.0	11.9	5.9	5.9	5.3	4.0	3.2	3.0	8.9	5.7	

(4) 介護予防や健康づくりに関する活動・自宅からの許容移動時間

<介護予防や健康づくりに関する活動・自宅からの許容移動時間/>

全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「参加したいと思わない」が25.7%で、一般高齢者に比べると割合が高い。一方、「徒歩・自転車で30分以内」は13.9%で、一般高齢者に比べると割合が低い。一般高齢者を圏域別にみると、北で「徒歩・自転車で10分以内」、中央、さつきで「徒歩・自転車で30分以内」、国分寺台で「参加したいと思わない」の割合が高い。

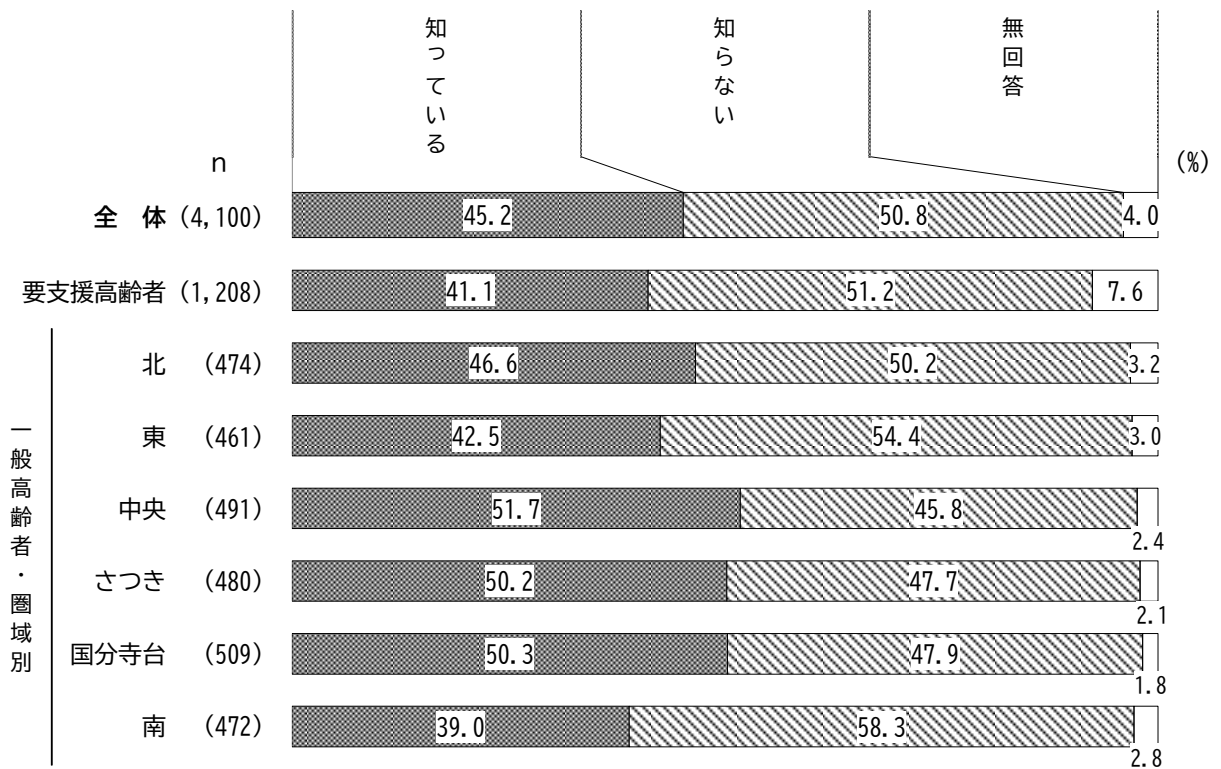


(5) フレイルの認知度

※フレイルとは、「虚弱」を意味し、心身の活力（筋力・認知機能・社会とのつながりなど）が低下した状態のことで、健康と要介護状態の間の状態を指す。

<フレイルの認知度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

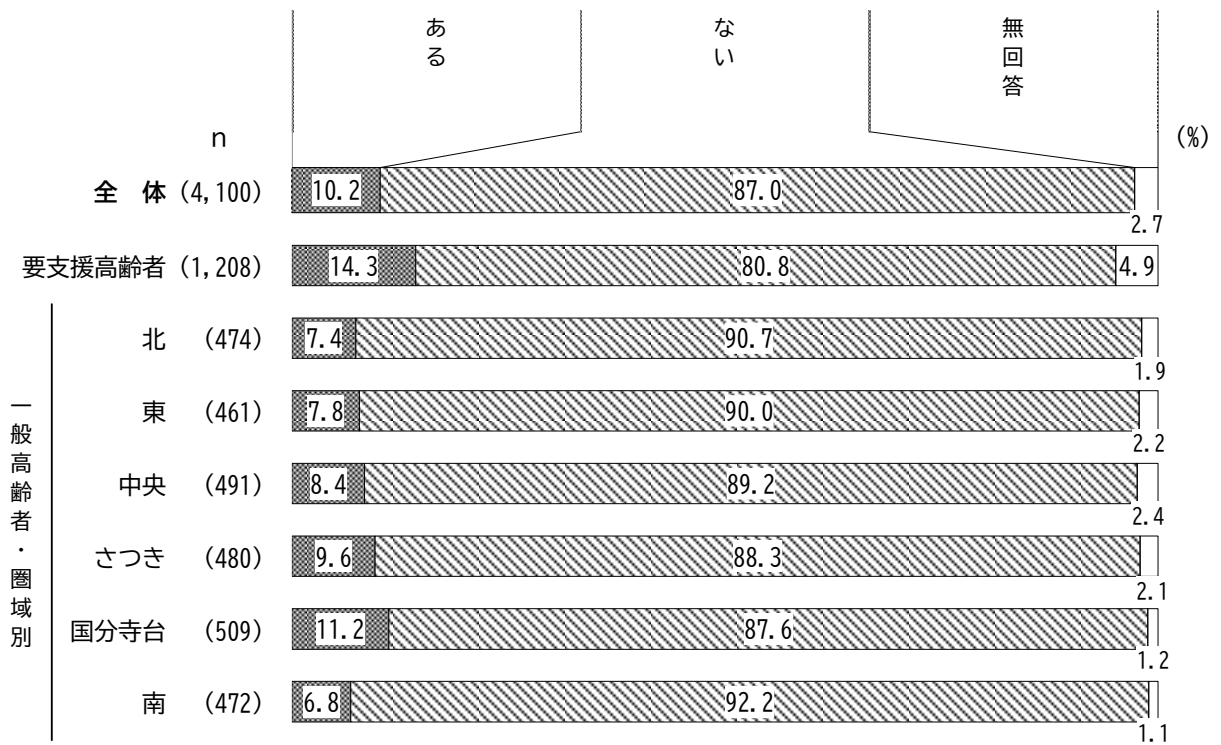
要支援高齢者では「知らない」が51.2%と半数を超えている。一般高齢者を圏域別にみると、中央、さつき、国分寺台で「知っている」が半数を超えている。



(6) フレイルチェックを受けた経験有無

※フレイルチェックとは、身体やこころ、生活の変化といったフレイルの兆候に早く気付くことを目的に、
 東京大学高齢社会研究機構が監修した質問票と測定を行うもの。

<フレイルチェックを受けた経験有無／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>
 要支援高齢者では「ある」が14.3%で、一般高齢者に比べると割合が高い。

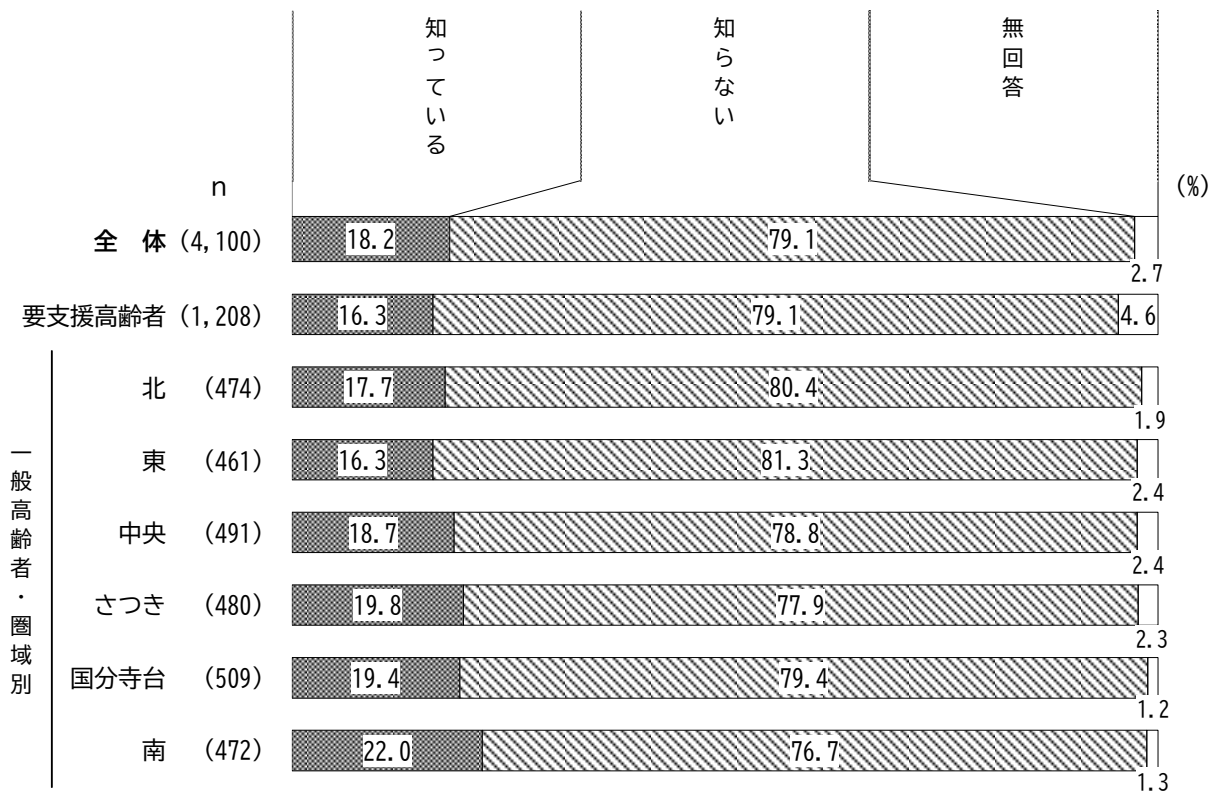


(7) 認知症サポーターの認知度

※認知症サポーターは特別なことをするものではなく、講座を通じて認知症についての正しい知識やつきあいを理解し、自分でできる範囲で認知症の方や家族を応援するもの。

<認知症サポーターの認知度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

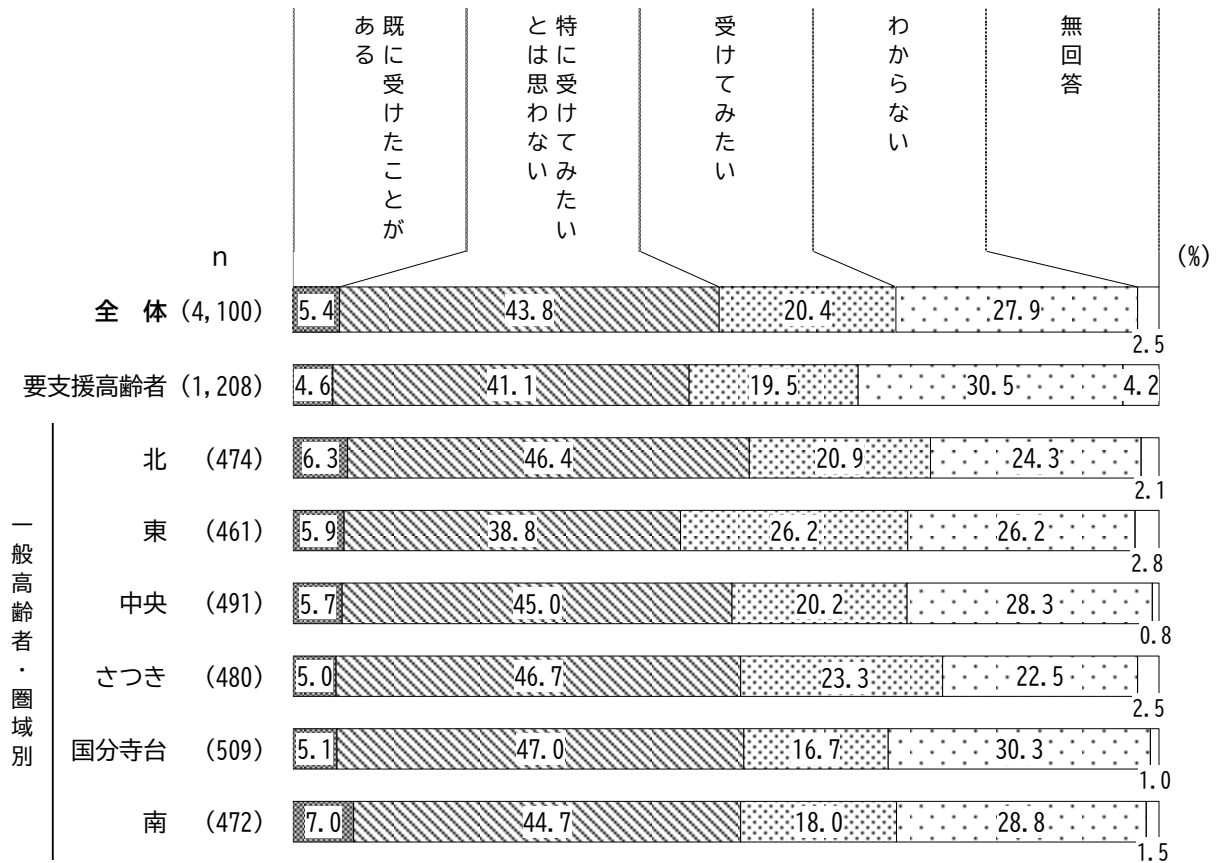
要支援高齢者では「知っている」が16.3%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、南で「知っている」が22.0%と他の圏域に比べて割合がやや高い。



(8) 認知症サポーター養成講座の受講意向

<認知症サポーター養成講座の受講意向／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

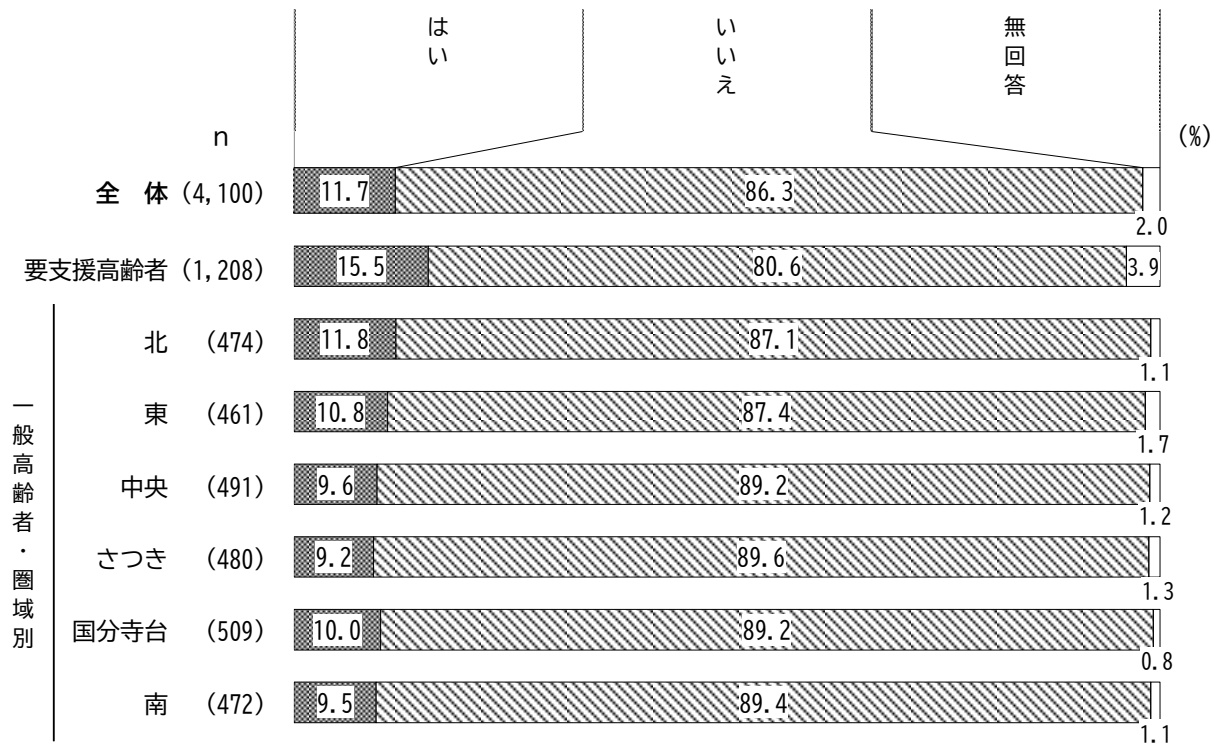
要支援高齢者では「特に受けてみたいとは思わない」が41.1%で、一般高齢者はいずれの圏域も30~40%台となっている。一般高齢者を圏域別にみると、東で「特に受けてみたいとは思わない」が38.8%と他の圏域に比べて割合が低く、「受けてみたい」が26.2%でやや高い。



(9) 家族の認知症症状の有無

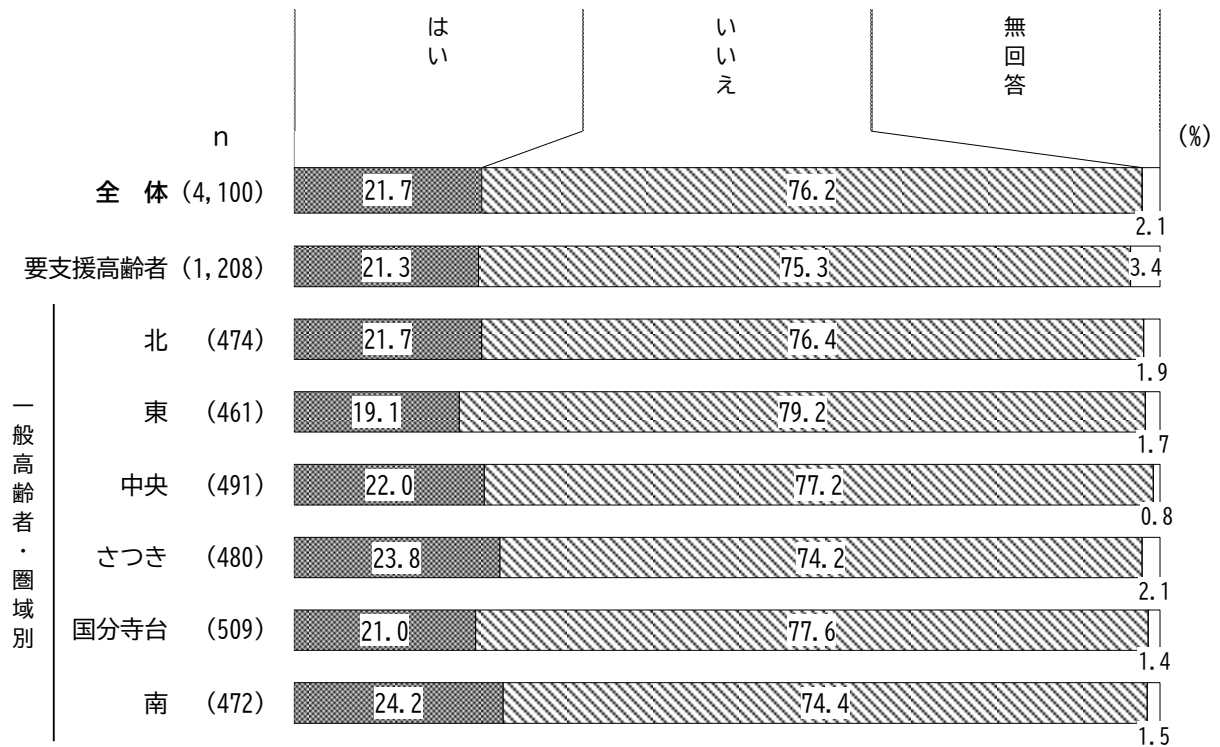
<家族の認知症症状の有無/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「はい」が15.5%で、一般高齢者に比べると割合がやや高い。



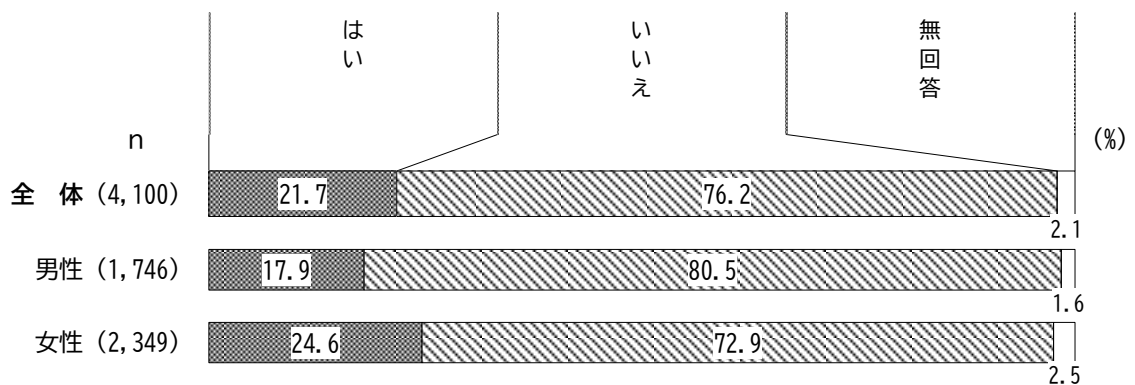
(10) 認知症相談窓口の認知度

<認知症相談窓口の認知度／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>
 要支援高齢者、一般高齢者ともに「はい」が10～20%台となっている。



<認知症相談窓口の認知度／性別>

性別にみると、女性は「はい」が24.6%で、男性よりも6.7ポイント高くなっている。



(11) 認知症の疑いがあるときの相談先

<認知症の疑いがあるときの相談先／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「地域包括支援センター」「ケアマネジャー・ホームヘルプ・デイサービスなど介護保険サービス事業者」の割合が一般高齢者に比べると高い。一般高齢者を圏域別にみると、国分寺台、南で「同居家族」が40%台と高い。

<認知症の疑いがあるときの相談先／認知症相談窓口の認知度別>

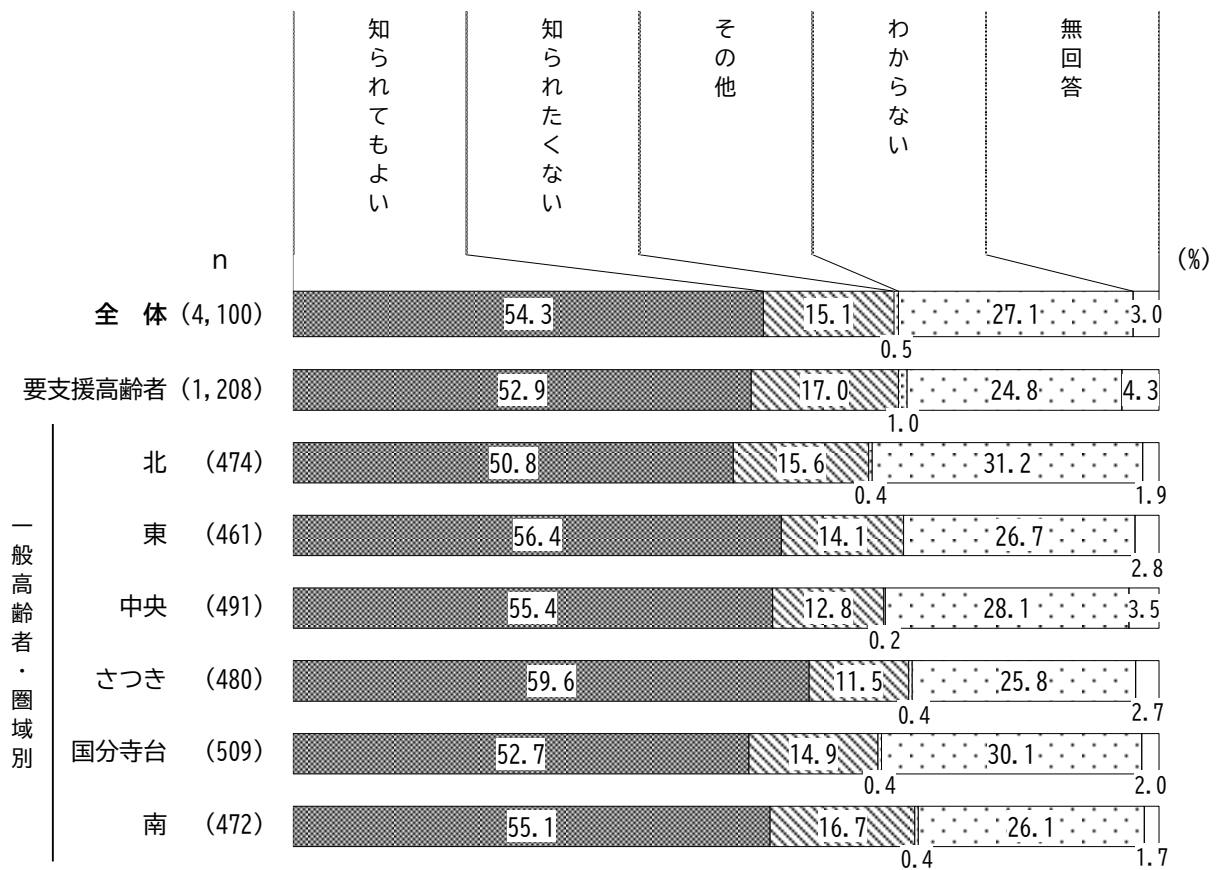
認知症相談窓口の認知度別にみると、ほとんどの項目で、認知症の相談窓口を知っている人の割合が知らない人の割合を上回っており、特に「地域包括支援センター」が27.2ポイント、「ケアマネジャー・ホームヘルプ・デイサービスなど介護保険サービス事業者」が11.1ポイント、「専門の医療機関（精神科・心療内科等）」が10.1ポイントの差がある。

		調査数（n）	かかりつけの医師や看護師等	同居家族	専門の医療機関（精神科・心療内科等）	別居の家族	市役所などの公的機関	地域包括支援センター	ケアマネジャー・ホームヘルプ・デイサービスなど介護保険サービス事業者	近隣の人や友人	民生委員	社会福祉協議会	その他	どこに相談していいかわからない	どこにも相談したくない	無回答
単位：%																
全体		4,100	53.6	37.6	33.6	30.5	28.2	27.8	17.7	7.0	5.5	2.8	0.6	3.7	0.6	1.6
要支援高齢者		1,208	53.1	31.8	27.6	30.0	19.1	38.6	31.4	4.8	7.2	2.5	0.5	3.6	0.7	2.6
一般高齢者・圏域別	北	474	51.9	38.4	38.2	35.0	29.1	22.4	12.0	9.3	4.9	3.0	1.1	3.4	0.6	1.9
	東	461	55.3	39.5	31.9	28.2	28.0	23.0	14.1	9.3	6.9	3.0	0.4	4.3	0.2	1.3
	中央	491	50.3	38.1	37.9	29.3	35.4	20.4	10.2	5.1	4.3	1.8	0.4	4.1	0.6	0.8
	さつき	480	57.1	37.7	38.3	34.0	35.6	27.1	11.9	7.9	3.5	4.4	1.0	3.5	0.6	1.3
	国分寺台	509	54.2	42.8	35.2	31.4	31.0	25.0	11.8	8.3	4.5	3.5	0.6	3.7	0.6	0.8
	南	472	54.4	43.2	34.5	26.5	32.8	22.0	12.1	8.1	4.9	2.1	0.6	3.2	0.2	0.8
認知症相談窓口の認知度別	はい	891	58.8	37.9	41.9	31.5	34.5	49.2	26.4	7.6	7.6	5.4	0.7	0.2	0.2	0.4
	いいえ	3,123	52.9	37.9	31.8	30.7	26.9	22.0	15.3	7.0	5.0	2.1	0.6	4.7	0.6	0.5

(12) 認知症になった場合の周囲の認知

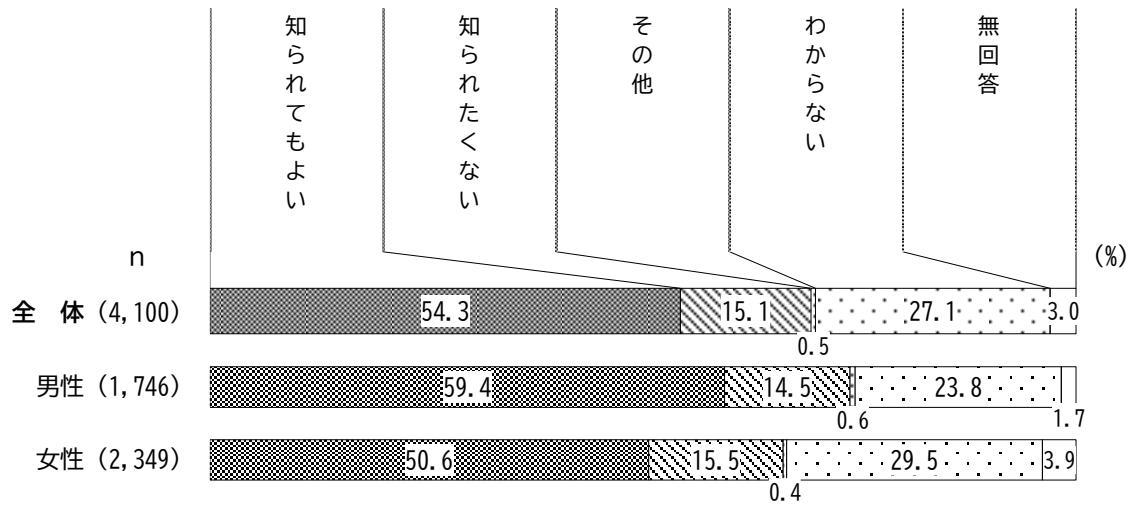
<認知症になった場合の周囲の認知/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者、一般高齢者ともに「知られてもよい」が50%台と半数を超えている。一般高齢者を圏域別にみると、さつきで「知られてもよい」が59.6%と他の圏域に比べて割合がやや高い。



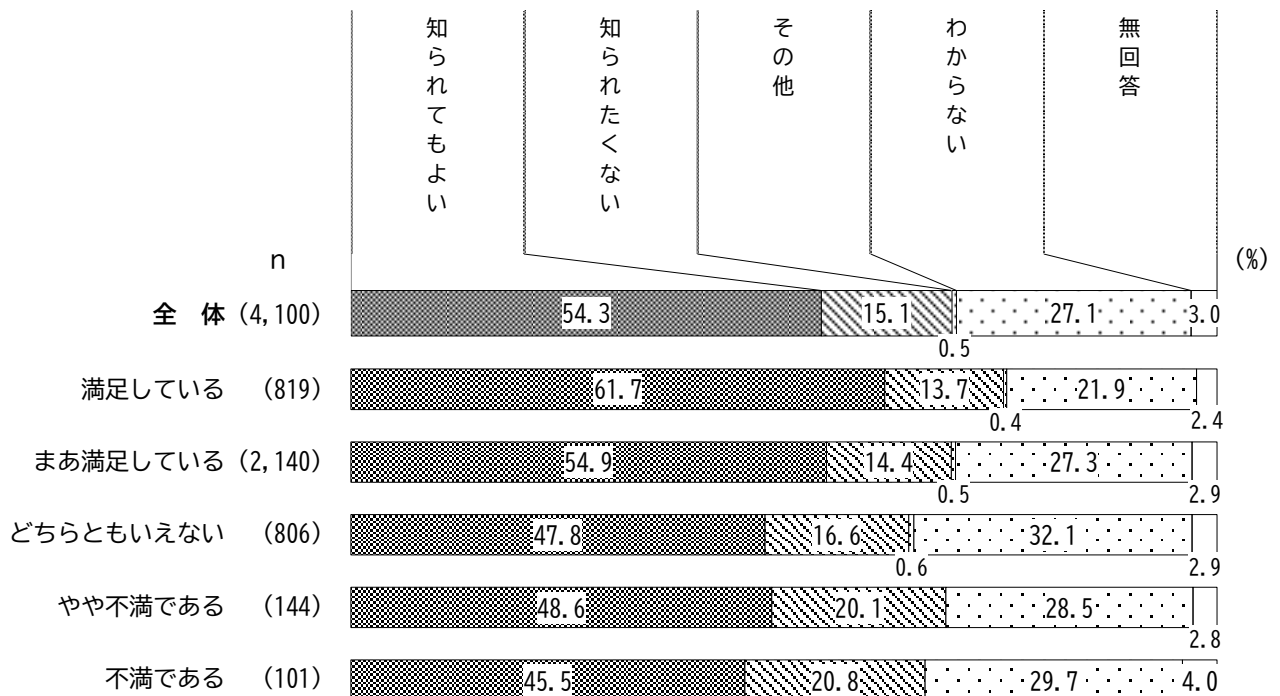
<認知症になった場合の周囲の認知/性別>

性別にみると、男性では「知られてもよい」が59.4%で、女性よりも8.8ポイント高くなっている。一方、女性では「わからない」が29.5%で、男性よりも5.7ポイント高くなっている。



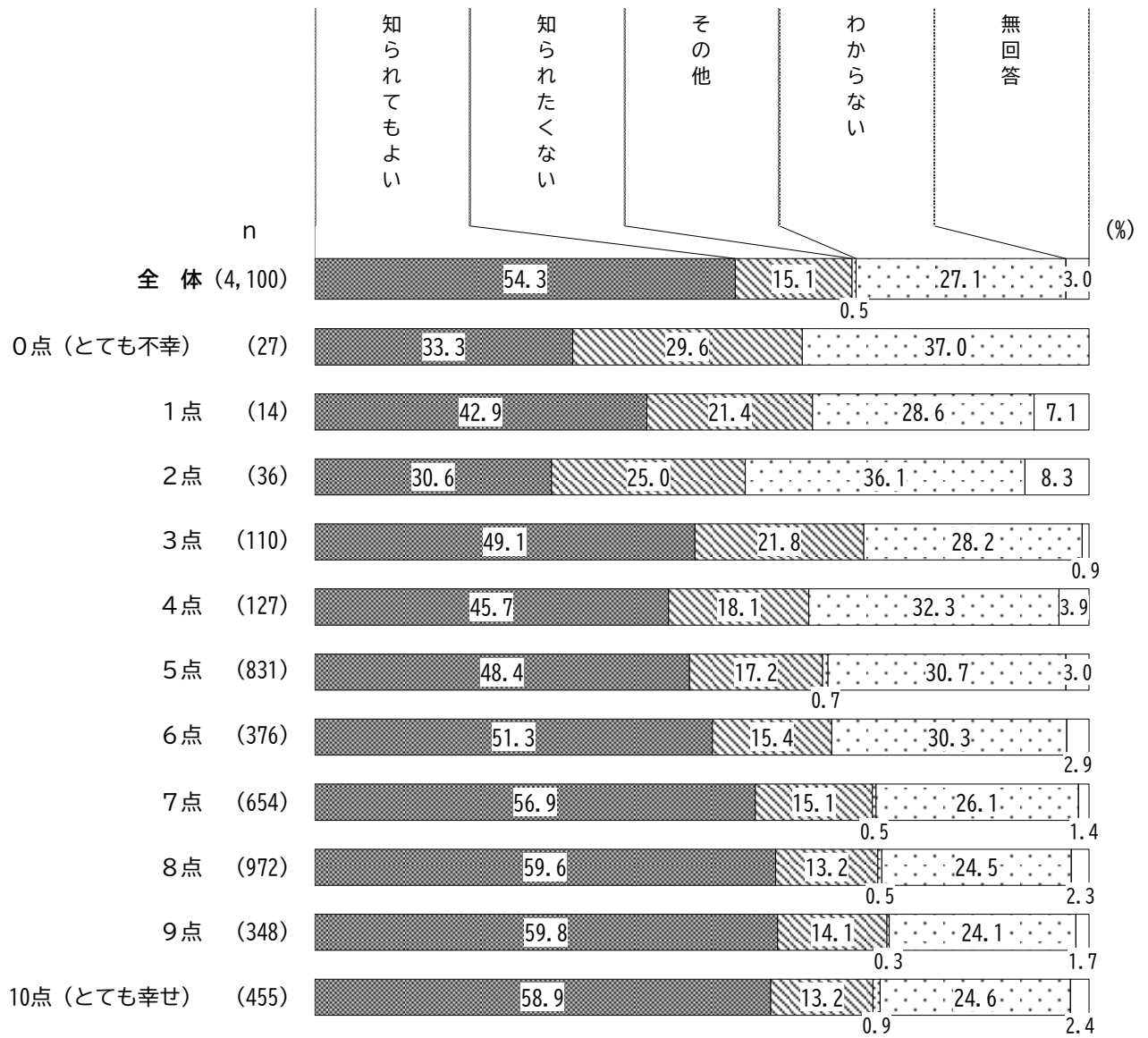
<認知症になった場合の周囲の認知/現在の生活の満足度別>

現在の生活の満足度別にみると、生活の満足度が高いほど「知られてもよい」の割合が高くなる。一方、生活の満足度が低いほど「知られたくない」の割合が高くなる。



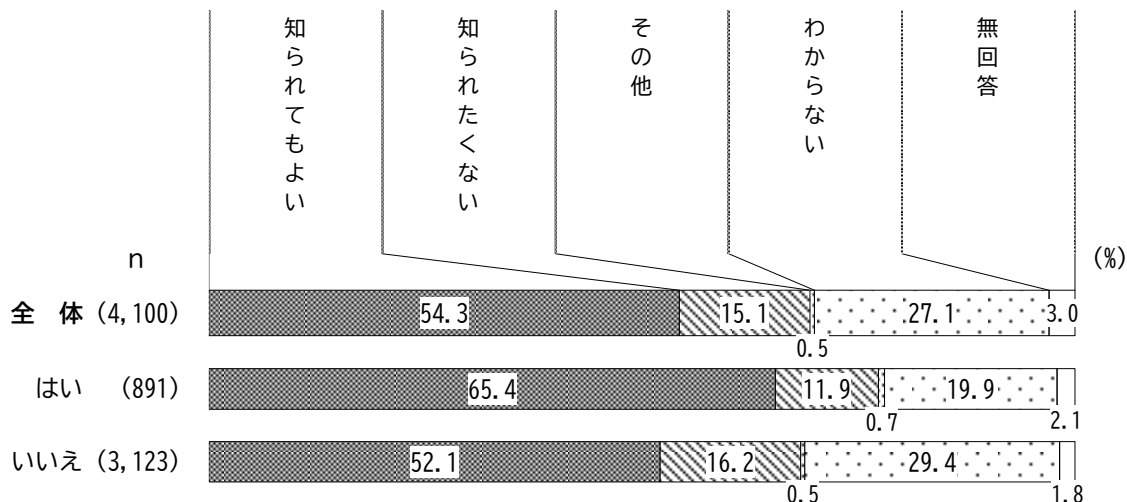
<認知症になった場合の周囲の認知／幸福度別>

幸福度別にみると、幸福度が0点から5点では「知られてもよい」が30~40%、6点以上ではすべて50%台となっており、幸福度が高いほど「知られてもよい」の割合が高くなる。



<認知症になった場合の周囲の認知／認知症相談窓口の認知度別>

認知症相談窓口の認知度別にみると、認知症の相談窓口を知っている人で「知られてもよい」が65.4%で、相談窓口を知らない人よりも13.3ポイント高くなっている。



(13) 認知症の人にとって安心して暮らせるまち

<認知症の人にとって安心して暮らせるまち／全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者、一般高齢者ともに「その人に合ったサポート（医療や福祉サービスなど）を受けることができる」が最も多い。一般高齢者を圏域別にみると、国分寺台で「認知症について偏見がなく、正しい理解が普及されている」が63.7%で他の圏域に比べて割合がやや高い。

単位：%		調査数 (n)	その人に合ったサポートを受けられること	認知症について正しい理解が普及されている	認知症の人にとって安心して暮らせること	不安や困りごとを相談できる体制がある	地域で暮らせること	自分のできることは自分で行い、できる限り住み慣れた地域で暮らせること	見守りや声かけなど地域における支え合いがある	認知症の人が社会で活躍する機会や場所がある	その他	特にない	無回答
全体		4,100	63.2	58.2	48.6	46.7	18.6	15.7	0.6	2.3	2.7		
要支援高齢者		1,208	58.9	57.2	44.7	46.7	19.4	12.9	0.8	2.8	4.2		
一般高齢者・圏域別	北	474	63.9	52.7	53.4	47.3	18.6	20.0	0.6	1.9	3.0		
	東	461	65.3	57.5	51.8	45.3	17.8	17.4	0.7	1.7	2.4		
	中央	491	66.8	58.7	49.5	44.8	17.3	16.7	0.2	2.4	1.6		
	さつき	480	65.0	60.4	49.4	47.3	19.0	15.6	0.6	2.3	2.3		
	国分寺台	509	64.6	63.7	49.5	49.1	19.4	14.3	0.4	1.6	1.4		
	南	472	64.4	58.3	48.1	45.8	17.6	17.6	0.4	2.5	1.9		

9. 市の施策・事業、介護保険制度

(1) 市の高齢者福祉、介護保険の情報入手先

<市の高齢者福祉、介護保険の情報入手先／全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「地域包括支援センター」が45.2%で最も多く、一般高齢者に比べて割合が高い。一方、「市の広報誌(広報えびな)」は要支援高齢者で43.8%で、一般高齢者はいずれの圏域も50~60%台と、一般高齢者の方が割合が高い。一般高齢者を圏域別にみると、さつきで「地域包括支援センター」(14.4%)、国分寺台で「自治会等の回覧」(20.0%)が他の圏域に比べて割合がやや高い。

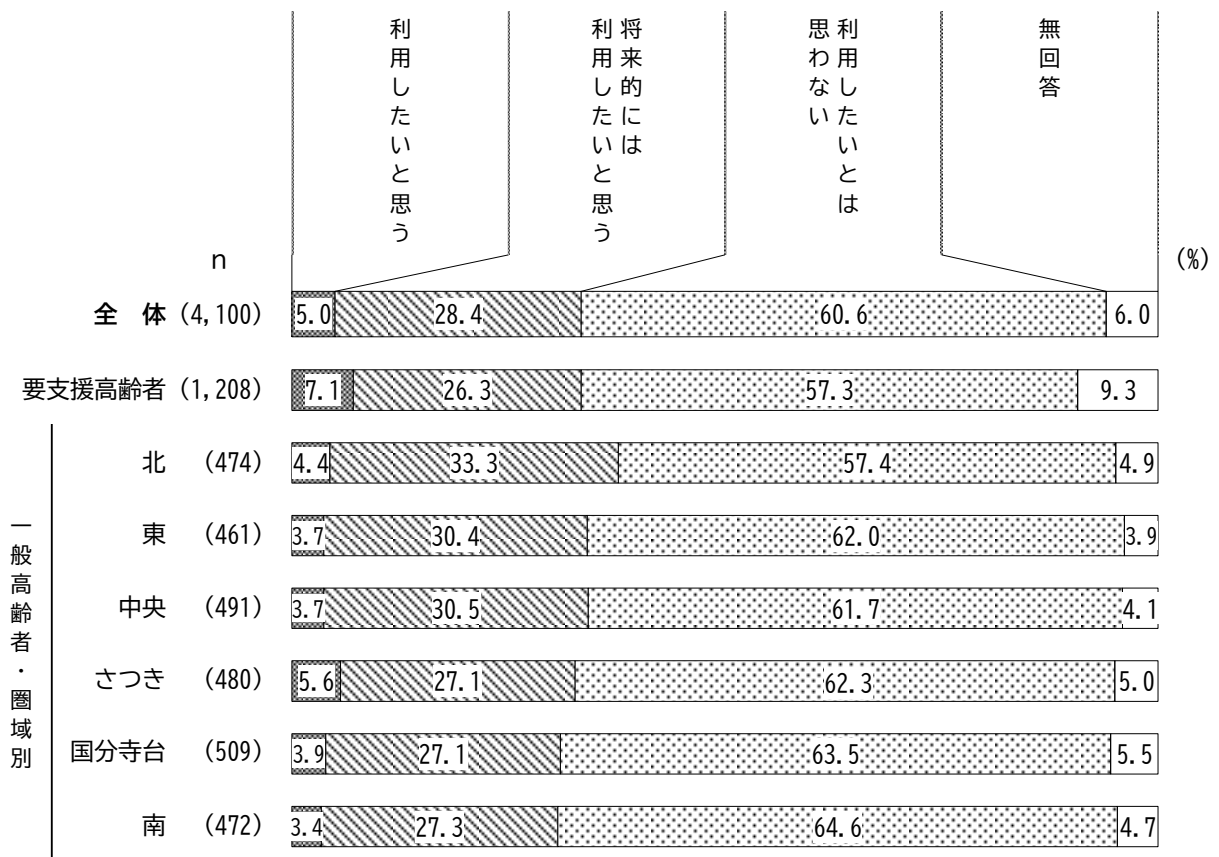
		調査数(n)	市の広報紙(広報えびな)	市が発行するパンフレット類	市役所等の窓口	地域包括支援センター	友人・知人・家族	自治会等の回覧	市のホームページ	ケアマネジャー、ホームヘルパー等	民生委員・児童委員	メールやSNS(LINE・Facebook・X(旧Twitter)等)	社会福祉協議会	その他	どこからも得ていない	無回答
単位:%																
全体		4,100	56.0	22.3	21.1	20.7	15.4	14.8	9.1	8.9	4.0	2.2	1.9	1.0	10.6	5.4
要支援高齢者		1,208	43.8	17.3	24.7	45.2	18.3	10.3	3.1	20.4	6.3	0.5	2.0	1.1	4.1	7.4
一般高齢者・圏域別	北	474	61.4	21.9	18.1	9.3	15.0	15.2	11.2	4.0	3.6	2.5	1.7	0.2	13.5	5.3
	東	461	61.6	26.9	17.6	9.3	16.5	15.2	12.4	3.7	3.7	2.4	0.4	1.7	14.3	2.8
	中央	491	61.7	27.1	18.7	6.9	10.8	15.5	13.4	3.9	2.2	2.9	1.6	0.6	14.9	3.9
	さつき	480	62.9	22.5	21.0	14.4	15.0	17.9	13.8	4.8	2.3	3.3	2.7	1.0	12.9	4.8
	国分寺台	509	62.3	24.4	19.6	10.4	13.2	20.0	9.4	3.5	2.6	2.2	3.3	1.4	11.8	6.3
	南	472	57.0	23.3	22.9	12.3	15.5	15.3	9.7	4.4	3.8	4.4	1.5	1.3	12.3	4.7

(2) 成年後見制度の利用意向

※成年後見制度とは、認知症等により判断能力が十分でない方に代わって、法的に権限が与えられた成年後見人等が、財産管理や生活や健康の維持、療養等に関する事を行い、本人が安心して生活できるよう保護・支援する民法に基づく制度。

<成年後見制度の利用意向／全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者、一般高齢者ともに「将来的には利用したいと思う」が20～30%台となっている。一般高齢者を圏域別にみると、北、東、中央で「将来的には利用したいと思う」が30%を超えており他の圏域に比べて割合が高い。



(3) 成年後見制度が必要な場面

【(2)で「利用したいと思う」「将来的には利用したい」の方のみ】

<成年後見制度が必要な場面／全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「預貯金などの管理・解約」が57.4%で最も多く、次いで「契約行為（介護に関することや施設入所、入院など）」が55.4%となっている。一般高齢者を圏域別にみると、北、さつきでは「契約行為（介護に関することや施設入所、入院など）」、南では「相続手続き」、北、東、国分寺台では「不動産の処分」、東では「保険金の受け取り」が他の圏域に比べて割合がやや高い。

		調査数 (n)	預貯金などの管理・解約	契約行為（介護に関することや施設入所、入院など）	相続手続き	不動産の処分	保険金の受け取り	訴訟手続き等	その他	無回答
単位：%										
全体		1,368	64.3	63.1	45.8	40.6	29.8	5.9	1.9	5.1
要支援高齢者		404	57.4	55.4	41.3	39.6	29.5	7.9	2.7	7.7
一般高齢者・圏域別	北	179	65.4	70.4	47.5	45.8	26.3	3.4	1.7	3.9
	東	157	68.8	67.5	48.4	44.6	35.7	7.0	0.6	2.5
	中央	168	69.6	61.9	41.7	33.9	29.2	2.4	2.4	6.0
	さつき	157	69.4	72.0	46.5	36.3	32.5	4.5	2.5	2.5
	国分寺台	158	66.5	67.1	50.0	46.2	30.4	9.5	0.6	3.8
	南	145	62.8	57.9	53.1	39.3	26.2	4.1	1.4	5.5

(4) 成年後見制度を利用したいと思わない理由

【(2)で「利用したいと思わない」の方のみ】

<成年後見制度を利用したいと思わない理由／全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者、一般高齢者ともに「親族等に協力を得られるから」が60%台と最も多くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、中央で「誰が後見人等を選任されるか不安であるから」が23.8%で他の圏域に比べてやや割合が高い。

		調査数 (n)	親族等に協力を得られるから	成年後見制度についてよく分からないから	後見人等に生活や健康の維持、療養等に関する事や金銭管理を委ねることが心配だから	誰が後見人等を選任されるか不安であるから	他人に財産状況や生活状況を知られたくないから	金銭的な負担があるから	利用の手続きがよく分からないから	利用のタイミングが分からないから	成年後見制度そのものに反対であるから	その他	無回答
単位：%													
全体		2,485	63.6	27.6	19.6	17.0	12.5	10.5	10.1	7.1	1.5	3.4	4.2
要支援高齢者		692	61.4	29.9	16.8	14.9	11.7	11.6	11.7	6.4	1.7	3.2	7.4
一般高齢者・圏域別	北	272	68.0	27.6	20.6	15.8	15.1	7.0	9.6	6.3	0.4	1.1	1.1
	東	286	61.9	32.2	19.6	15.0	12.9	10.1	10.5	10.5	2.4	4.2	3.1
	中央	303	62.7	22.1	23.8	23.8	12.5	12.5	7.9	7.6	1.7	3.6	3.0
	さつき	299	60.2	27.8	22.1	18.1	11.0	12.4	8.7	6.4	2.0	5.0	4.0
	国分寺台	323	68.7	27.2	18.9	17.6	13.3	8.7	11.5	5.0	0.9	2.8	1.5
	南	305	65.2	23.9	19.7	16.4	12.1	9.5	8.9	8.5	1.0	3.6	4.9

(5) 地域で生活し続けるために必要と思うこと

<地域で生活し続けるために必要と思うこと／全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者、一般高齢者ともに「外出に関する支援(通院、買い物等)」が50%台と最も多くなっている。一般高齢者を圏域別にみると、北、東、中央、国分寺台では「家事に関する支援(掃除、ゴミ出し、洗濯等)」、さつきでは「見守りに関する支援(定期的な訪問や安否確認など)」が他の圏域に比べて割合がやや高い。

<地域で生活し続けるために必要と思うこと／現在の生活の満足度別>

現在の生活の満足度別にみると、生活の満足度が低いほど「相談や話し相手に関する支援」の割合がおおむね高くなる。

		調査数(n)	等)外出に関する支援(通院、買い物)	し、家事に関する支援(掃除、ゴミ出し、洗濯等)	見守りに関する支援(定期的な訪問や安否確認など)	食事に関する支援(調理、食事の準備等)	相談や話し相手に関する支援	近所づくりに関する支援(近所づくりに関する支援)	その他	無回答
単位：%										
全体		4,100	54.8	42.9	36.6	34.7	20.6	19.4	5.1	12.5
要支援高齢者		1,208	53.8	44.7	34.4	33.1	19.2	19.5	4.5	15.3
一般高齢者・圏域別	北	474	57.6	43.7	37.3	38.4	21.5	21.5	4.9	11.6
	東	461	51.0	42.7	37.3	34.3	22.1	20.0	5.2	10.2
	中央	491	54.8	42.8	38.3	34.4	21.0	17.7	5.3	10.4
	さつき	480	57.3	38.1	42.3	34.4	21.7	21.0	5.4	11.7
	国分寺台	509	53.8	44.8	34.0	35.2	19.4	16.7	6.3	11.2
	南	472	56.8	39.8	35.6	35.0	21.2	19.5	5.1	12.7
現在の生活の満足度別	満足している	819	50.4	39.2	34.7	31.9	17.9	22.0	8.3	12.3
	まあ満足している	2,140	55.7	43.5	38.9	34.7	20.3	20.1	4.6	11.9
	どちらともいえない	806	57.3	45.4	33.7	38.3	21.5	15.5	3.6	12.3
	やや不満である	144	56.9	49.3	36.1	37.5	31.3	19.4	4.2	11.8
	不満である	101	56.4	40.6	32.7	33.7	25.7	15.8	5.0	16.8

(6) 医療に関して困っていること

<医療に関して困っていること／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者では「診療所、病院に通うことが難しい（交通手段があれば通院できる）」が17.2%で、一般高齢者はすべての圏域で10%未満となっており、要支援高齢者の方が割合が高い。「今は困っていることはない」は一般高齢者の方が割合が高く、特に東、中央、国分寺台で他の圏域に比べて割合が高い。

<医療に関して困っていること／家族構成別>

家族構成別にみると、1人暮らしでは「診療所、病院に通うことが難しい（交通手段があれば通院できる）」、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）では「どこの診療所、病院に受診すればいいかわからない」の割合が他の家族構成に比べてやや高い。

		調査数 (n)	診療所、病院に通うことが難しい (交通手段があれば通院できる)	どこの診療所、病院に受診すればいいかわからない	医療に関する情報が少ない	病気のことを相談できる場所がない	その他	今は困っていることはない	無回答
単位：%									
全体		4,100	8.5	8.4	8.0	6.2	2.7	67.5	9.3
要支援高齢者		1,208	17.2	9.1	8.8	8.0	3.3	53.6	15.1
一般高齢者・圏域別	北	474	5.7	9.9	8.2	4.9	3.0	70.9	7.0
	東	461	3.5	7.6	9.5	6.7	2.2	75.1	5.9
	中央	491	3.1	8.6	5.7	6.5	1.4	75.6	6.5
	さつき	480	4.4	8.3	7.5	5.4	4.2	71.7	6.3
	国分寺台	509	4.3	7.9	7.3	4.9	1.8	74.5	8.1
	南	472	8.3	6.8	8.5	4.7	2.3	71.6	7.8
家族構成別	1人暮らし	920	10.3	8.9	9.0	7.7	3.4	64.1	9.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	1,616	7.1	8.4	8.2	5.7	2.1	68.9	9.0
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	163	8.6	13.5	7.4	7.4	3.1	64.4	8.6
	息子・娘との2世帯	685	8.2	6.0	6.6	5.0	2.6	68.8	10.9
	その他	665	9.3	9.3	7.8	6.3	3.3	69.3	8.0

(7) 高齢者に関する相談窓口としての認知

<高齢者に関する相談窓口としての認知/全体、要支援高齢者、一般高齢者(6圏域別)>

要支援高齢者では「地域包括支援センター」「ケアマネジャー」の割合が一般高齢者よりも高い。一般高齢者を圏域別にみると、さつき、国分寺台で「地域包括支援センター」、さつき、南で「市役所」が他の圏域に比べて割合が高い。

		調査数(n)	地域包括支援センター	市役所	民生委員・児童委員	ケアマネジャー	シルバー人材センター	社会福祉協議会	自治会	えびな在宅医療相談室	老人クラブ	生活支援コーディネーター	えびな成年後見・総合相談センター	認知症初期集中支援チーム	その他	知らない	無回答
単位：%																	
全体		4,100	55.0	50.2	30.8	25.8	11.8	10.7	6.9	3.8	3.5	2.2	1.8	0.9	0.4	15.7	4.5
要支援高齢者		1,208	74.4	43.7	34.4	40.2	9.8	8.6	5.4	3.5	3.7	2.6	1.6	0.6	0.6	6.2	5.5
一般高齢者・圏域別	北	474	43.0	51.7	30.0	19.2	13.7	11.8	6.8	4.9	2.7	2.3	1.9	0.6	0.2	21.3	2.5
	東	461	43.8	49.0	28.2	18.9	11.9	9.3	8.5	2.2	5.9	0.9	1.5	0.2	0.2	23.0	4.1
	中央	491	43.4	51.5	29.1	18.3	12.2	11.2	6.1	3.3	2.2	2.2	1.4	0.8	0.4	22.0	4.5
	さつき	480	52.5	56.3	29.4	22.1	12.3	13.1	6.0	5.6	2.3	2.7	1.9	1.7	0.2	16.5	3.5
	国分寺台	509	52.5	51.5	30.6	22.4	13.8	13.8	11.2	3.7	4.1	1.6	2.2	1.4	0.4	17.7	3.9
	南	472	45.3	58.1	28.6	17.6	11.9	10.0	6.4	3.8	3.4	2.8	2.3	1.7	0.4	17.4	5.9

(8) 介護が必要になった時の生活の場などの考え

<介護が必要になった時の生活の場などの考え／全体、要支援高齢者、一般高齢者（6圏域別）>

要支援高齢者、一般高齢者ともに「自宅で介護サービスを利用し、重症化したときは入院したい」が30%台で最も多い。一般高齢者を圏域別にみると、中央では「施設で暮らしたい（特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど）」、国分寺台では「自宅で、主に介護サービス等を利用し家族と暮らしたい」が他の圏域に比べて割合が高い。

